UTSUNOMIYA UNIVERSITY

国立大学法人
宇都宮大学
入学案内 2022

地域デザイン科学部 | 国際学部 | 共同教育学部 | 工学部 | 農学部

GUIDE BOOK for 2022

土があう
陽がさす
水をえる

樹木からこぼれた小さな種は、
環境が整えば、
みずから芽を出し伸びていきます。

種から芽を出したばかりの植物のことを
実生（みしょう）と呼びます。

宇都宮大学のキャンパスでは
さまざまな樹々から生まれた実生の緑に、
陽の光がさしています。

みずからを育むことができる環境と
そこで広がる可能性について、
このガイドブックでお伝えしたいと思います。

在学生も実感！ 宇都宮大学の魅力 11

1 Perfect size and location

最高にちょうどいい！ そんな距離感と規模感の総合大学

東京へも自然豊かな地方へもアクセスがよく、
２つのキャンパスも自転車で15分の距離。
５つの学部と大学院で合計5000人弱が学んでいます。
ほどよくコンパクトな総合大学ですから
学生同士も繋がりやすく、教員ともほどよい近さで、
豊かな関係が築きやすい環境です。

峰キャンパス「フランス式庭園」で。池田 宰学長と「宇大生の走り方」チームの学生たち。
池田学長のメッセージは P114 を、学生たちの活動は P80 からのキャンパスライフ特集をご覧ください。

どこでどう伸びていく？
これからを考えるキミへ

宇都宮大学 入学案内ガイドブック 2022

UU.Advantage

宇都宮大学には、どんな強みや魅力がありますか？

02 特集 1
在学生も実感！宇都宮大学の魅力 11

10 特集 2
研究や活動の現場から｜行動的知性で未来を拓く
innovation × global × local

宇都宮大学で 何をどう学べますか？

25 宇都宮大学の学び
3C精神をモットーに行動的知性を育む

29 基盤教育

32 地域デザイン科学部｜陽東キャンパス

40 国際学部｜峰キャンパス

46 共同教育学部｜峰キャンパス

54 工学部｜陽東キャンパス

62 農学部｜峰キャンパス

75 大学院｜峰／陽東キャンパス

UU.Realdays

宇大生は、どんな日々をおくっていますか？

78 在学生が語るキャンパスライフ特集
「宇大生の走り方」
あこがれのひとり暮らし。週末や夏休みの過ごし方。
サークル活動やアルバイト、インターン体験。
１年生から４年生まで、
先輩たちのリアルな声を届けます。

98 卒業生から、キミへ

102 キャリア教育・就職支援

104 入試情報

UU.History

112 樹木と鳥が語る宇都宮大学の歴史

UU.Message

114 池田 宰 学長からキミへ

※本書に掲載されている情報は、取材時のものです。

表紙イラスト｜和良品美桜　教育学部（美術教育専攻）卒業生

2 State-of-the-art research

最先端の研究環境がある

工学、農学の分野では、観察、計測、分析、制作など、さまざまな研究の場面で、最先端の研究に対応できる設備が導入され、それらを使いこなし、研究を推進する学部生や大学院生の頼もしい姿も見られます。

もっと詳しく →P10～15

3 Rich in nature

豊かな自然環境がある

キャンパス内の自然環境も豊かな宇都宮大学ですが、キャンパスから車やバスで30分から90分のところに農学部附属農場や演習林があります。最先端の研究設備と豊かな自然環境は、学びの両輪です。

もっと詳しく →P74

4 English Shower

英語のシャワーを浴びる！

宇都宮大学では1年次から習熟度別の英語教育が行われ、その教育システムは過去に「大学英語教育学会賞」を受賞しています。教員との密なコミュニケーションで英語を使いこなす実践力が伸びていきます。

もっと詳しく →P30

5 Relaxing place

ほっとする居場所がある

建物の中にはソファや自動販売機が、屋外にはベンチやパラソル付きのテーブルセットがキャンパスのあちらこちらに設置され、学生同士が寛ぎながら対話ができ、新しい繋がりが生まれやすい環境があります。

6 Small group learning

少人数制の濃い指導！

大学では、高校までのように「クラス」はありませんが、宇都宮大学では入学直後から指導教員がつく「担任制」があります。専門教育に進んでからの研究室やゼミも少人数制なので、一貫してきめ細やかな指導が受けられます。

共同教育学部（理科）のゼミの様子。宇都宮大学は、教員ひとりあたりの入学定員 2.6人で、顔が見える関係性を大切にしています。

9 Close to community, both urban and rural

都市も農山村も！ 地域で活動できる

本学があるのは、人口50万を超える都市を対象にした「住み良さランキング」で例年上位に入る宇都宮市。栃木県のほぼ中央部に位置するので、都市部はもちろん、県内の過疎化が進む中山間地域にも学びのフィールドが広がります。

もっと詳しく →P21～24

地域デザイン科学部3年次の必修科目「地域プロジェクト演習」の様子。日光市内の北部、栗山地区にて観光客に聞き取りを。

もっと詳しく →P16～20

春休みにスリランカで活動する学生。本学と現地の NGO が連携し行う、JICA の草の根技術協力事業「スリランカ 紅茶プランテーション農園の小学校の課外活動支援事業」の一貫。

7 Door to the world

世界への窓が開く！

国際学部があることもあり、海外でのフィールドワークや国際関係に関するイベントなども多く開催されています。海外留学のサポートも厚く、アジアを中心に留学生も多いので、どの学部でも国際交流や国際貢献がしやすい環境です。

もっと詳しく →P29・P84

グループワークやプレゼンを取り入れた AL 型の授業や自主的な学修に対応し、24 時間使用できる「ラーニング・コモンズ」で。

10 Active learning method

アクティブラーニングで楽しく学ぶ！

大学での学びを机上の「知」に止めず、社会での実践や行動に繋ぐことができる「行動的知性」を培うことを重視しています。1年次と2年次に主に受講する基盤教育の授業科目すべてにアクティブラーニングの手法を取り入れています。

8 Challenges welcome

やりたいことに挑戦しやすい！

コンパクトな総合大学であり、気軽に集える共用スペースが多いので、学部を超えて繋がりやすく、やりたいことが見えてきたら協力しあって前に進む。そんな気風が育まれています。

もっと詳しく →P80～97

学生が自ら企画して主催する、学生のための学生によるトークイベントの様子。

11 High employment rate

どの学部も就職率が良い！

令和2年度の就職率は全学部平均99%です。1年生から受講できるキャリア創造科目を開講し、社会の状況に目を向けながら自分の生き方を考える機会があります。そのほか、インターンシップやセミナーの開催など充実した就職支援が受けられます。

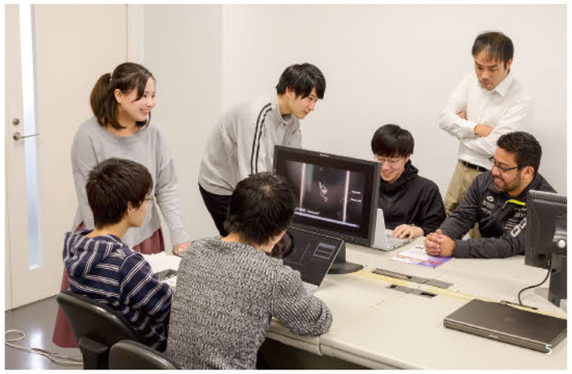
もっと詳しく →各学部学科のページ・P102

キャリアサポートの拠点となるのが、キャリアセンター。豊富な資料と気軽に毎日相談できる体制が整っています。

innovation × global × local
革新の力

行動的知性で未来を拓く

高校までの「勉強」の積み重ねの上に大学で出会う「学問」は、未来に生きるみなさんの自己実現と、より良い社会形成への推進力となります。行動する知性を育む宇都宮大学の学びの環境を、3つのキーワードで紹介します。



1. 超高強度光を生み出すフェムト秒レーザー装置の内部。 2. 定盤に配置されたレンズやミラーを用いた光学実験の様子 3. 多数の金属ミラーで構成されるオプティクス教育研究センターの外壁。そよ風に揺られたミラーが幻想的な景色を映し出す。 4. レーザーにより水中に描画された体積型ディスプレイに関する研究。 5. 研究室での学生間の議論の様子。外国の研究員を交えた英語でのディスカッション。 6.「もっと自由に」をキーワードに独創的なアイディアで研究を楽しむ。

国内唯一の施設で、最先端の光工学を学ぶ

光を扱う学問は、物理学の一領域にとどまらず、これからの時代の科学技術の基礎として、その重要性を増しています。
「Innovation／革新の力」をキーワードに、宇都宮大学オプティクス教育研究センターでの光工学の研究・教育の一端を紹介します。

The only one in Japan

| 陽東キャンパス |
オプティクス教育研究センター
CORE | Center for Optical Research and Education

光に関する教育と研究を行う国内唯一の施設です。工学部では、1年次にセンターの教員らによる講義として光工学の基礎を学ぶことができます。また、工学部から4年次に卒業研究のために所属できる研究室が12あり、大学院生や教員、研究者たちがさまざまな研究に取り組んでいます。海外の大学10校と学術連携や学生の相互派遣を行い、国際的な高度教育の拠点になっています。

21世紀は「光の時代」。実践的な光学理論と技術を

陽東キャンパスの敷地内、グラウンドに面した東のエリアに、壁一面に周囲の樹々や白い雲の動きが映り、その景色が、そよ風に揺れて波打つように動いて見える建物があります。約3万枚もある1辺95mmの正方形の金属鏡が、金属ワイヤーに吊るされ市松模様のように交互に並んでいます。朝の光、昼の光、夕方の光、そして夜。風と光が織りなす景色は、見飽きることがありません。この建物が、宇都宮大学の光工学の拠点、オプティクス教育研究センターです。センターでは、光工学のスペシャリストが主宰する研究室に，世界各国から研究者や留学生が集い、宇都宮大学の学生たちと、さまざまな研究を行っています。現在進んでいる研究としては、主に次の6つがあげられます。①大規模データセンターの省電力化を可能にする「エコロジー光メモリー」、②医療や創薬の分野に貢献する「バイオメディカル光イメージング」、③次世代のものづくりに貢献する「超高速・超精密ホログラフィックレーザー加工」、④新たな映像表現を可能にする「空中映像・体積映像・立体映像」、⑤見えない傷の発見を可能にする「工業製品の光計測」、⑥照明や工芸品、構造性光装飾の分野に貢献する「光と感性情報」。

写真で紹介しているのは、光画像技術と情報技術の融合をテーマにした早崎芳夫教授の研究室での取り組みの様子。研究室に所属する長谷川智士助教と学部生や大学院生が、フェトム秒レーザーを用いた実験を行っています。近年、フェムト秒レーザーを用いた光技術は、超高精度な距離計測、精密な穴空け加工、化学反応における分子運動といった超高速現象の観察、バイオイメージングに関連する研究に応用されています。同じく研究室に所属する熊谷幸汰助教は、そのフェムト秒レーザー技術を用いた「ホログラフィックレーザー描画型ボリュームディスプレイに関する研究」で高く評価され、博士後期課程に在籍していた平成29年に、日本学術振興会育志賞を受賞しました。

cheers you up
キミへのエール

オプティクス教育研究センター
長谷川 智士 助教

光工学は、私達の身近な現象（虹、夕焼け、シャボン玉）から最先端の技術（顕微鏡、ディスプレイ、量子コンピューター）まで分野横断的に利用されています。その分、幅広い知識が求められますが、奥が深く魅力的な学問です。新しい光技術の社会実装を通して、自己実現にチャレンジしましょう。

UU. Advantage | 特集 2

innovation × global × local

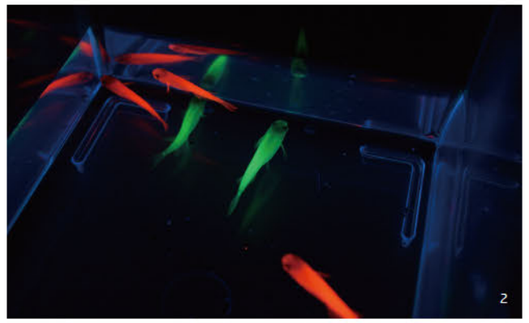
最先端の設備のもと
生命の謎に挑んでいます

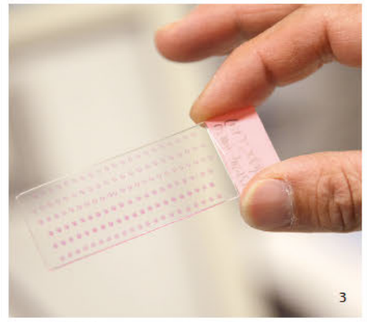
バイオサイエンス教育研究センターは「ゲノミクス研究棟」や「環境調節実験棟」を中心に活動しており、遺伝子の塩基配列やタンパク質の性質を解析できる最新機器を有し、蛍光顕微鏡や蛍光画像を三次元構築できる共焦点レーザー顕微鏡など最新の顕微鏡などを設置しています。また、遺伝子組換え植物を栽培可能な閉鎖系温室や、人工的に日照条件や温度などを制御できる人工気象室等が稼働しています。これらの実験設備は、宇都宮大学の教員・学生のみならず、他の研究機関や企業の研究者などが利用可能です。

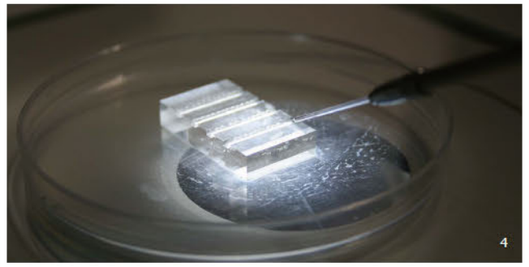
こうした充実した環境下で、教員や学生たちは、さまざまな生物を材料に先端的な研究を行っています。写真 (1〜5) で紹介している松田勝教授は、メダカを実験材料として、生物の雄と雌とができるときの遺伝子の働きの解明に挑んでいます。これに加えて、天然記念物ミヤコタナゴの保全に関する研究も行っています。写真 (6〜 9)で紹介している児玉豊教授は、光合成を担う葉緑体に注目して、植物の細胞が環境を感知する仕組みを研究しています。その研究過程で植物が低温を感じる仕組みを世界で初めて解明しました。植物の乾燥応答の研究をしている岡本昌憲准教授は、植物の気孔の開閉の制御に関わる植物ホルモンのアブシジン酸の研究において国際的に評価が高く、2020年には日本学術振興会賞を受賞しています。また、鈴木智大准教授の研究室で学ぶ大学院生の小野晶子さんは、虫に寄生するキノコを研究しており、日本きのこ学会の学生優秀発表賞を受賞しました。2019年には分子レベルの知識を農林水産分野に活かす新しい学問分野「分子農学」が始まり、大学院の博士前期課程では学位名称「分子農学」が日本で初めて使用されています。さらに、2020年には「植物分子農学研究部門」を発足させ、農作物の生産向上に貢献する分子 (DNA・タンパク質・植物ホルモンなど) を科学するユニークな研究体制を整備しました。

| 峰キャンパス |
バイオサイエンス教育研究センター
C-Bio | Center for Bioscience Research and Education

センターには、農学部生物資源学科と応用生命化学科の学生が3年次から卒業研究のために所属できる研究室が7つあり、専任教員は農学部の授業や実験・実習も担当しています。また、工学部との間で異分野融合研究、県の試験場や県内企業との連携、他大学との共同研究も盛んに行われています。小・中学生、高校生向けの体験講座や一般市民向けセミナーも開催しています。







1. 実験室での一コマ。学生さんと共に研究を楽しんでいます。　2. 光る遺伝子組換えメダカ。クラゲやサンゴの蛍光タンパク質の遺伝子導入でそのタンパク質が作られ蛍光を発するメダカができます。大学院生にもなれば自分の見たい特定の細胞を光らせて可視化したメダカを作出することも可能です。　3. スライドガラスに並んだ組織切片。それぞれの臓器内の細胞の様子を観察するためには固定した試料を薄切し観察します。　4. メダカ受精卵への顕微注入。遺伝子組換えやゲノム編集のためには核酸を細いガラス針でメダカの受精卵に顕微注入します。細胞の中に注入されたDNAがゲノムに組み込まれれば遺伝子組換えメダカを作出できます。　5. メダカ胚。透明なメダカ胚は、臓器の様子を生かしたまま観察できるので、様々な研究に利用されています。

cheers you up

キミへ のエール

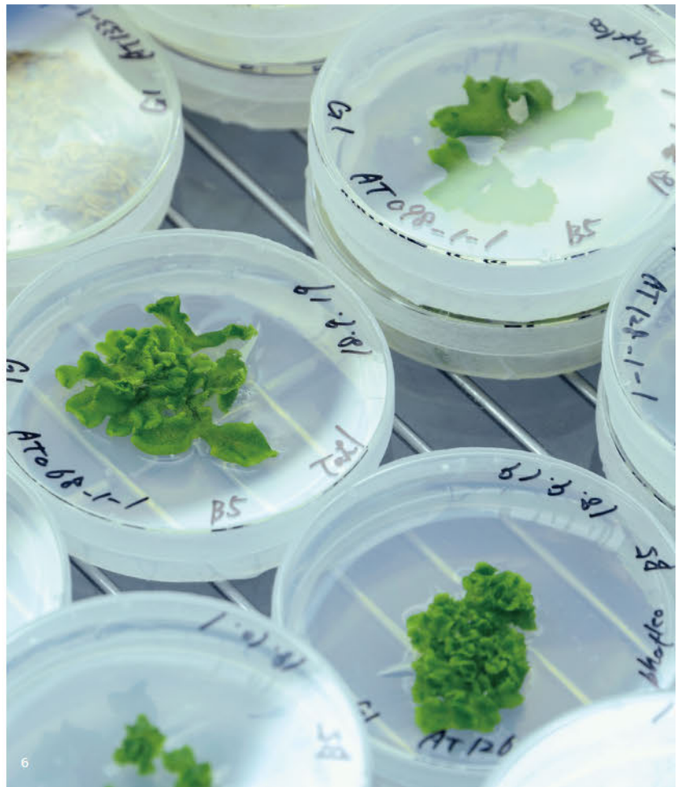
バイオサイエンス教育研究センター
松田 勝 教授

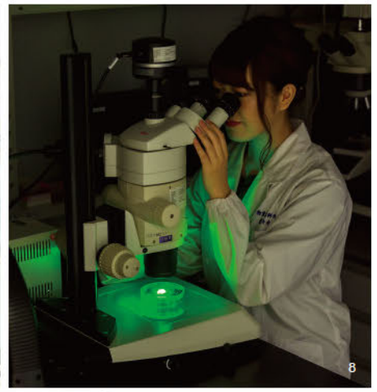
もし、あなたが理系の大学に進学したら、生命現象の解明や新技術の開発、新たな現象の発見などを研究する醍醐味をぜひ味わって欲しいと思います。そのためにも、今しか出来ないことに全力投球していきましょう。必ず新たな世界が見えてきます!

22世紀へ! 生命　を解き明かす科学を

生物学の一大転機は、ワトソンとクリックによるDNA構造の発見でした。その後飛躍的に生物学は発展してきましたが、神秘的な生命現象の解明は始まったばかりです。私たちもこの途方もない生命の謎に日々挑んでいます。

To unravel life system





児玉研究室 (植物細胞生物学) では、植物の細胞内で起こる葉緑体運動について分子レベルの研究を行っている。その研究過程で植物初の低温センサーを発見するだけでなく、最近では、分子農学として研究成果を農業へ応用する取り組みも行っている。 6. 寒天培地による植物の無菌培養。シャーレ内には遺伝子組換え技術やゲノム編集技術でつくった様々な系統が育っている。　7. 研究風景。無菌培養された植物を眺めて、児玉教授と学生が議論中。　8. 研究風景。蛍光顕微鏡を使って、学生が植物の組織や細胞を観察中。　9. 児玉研究室の集合写真。学部3年 (農学部の生物資源科学科・応用生命化学科) の時に配属され、多くの学生が大学院 (博士前期・後期課程) まで進学。

cheers you up

キミへ のエール

バイオサイエンス教育研究センター
児玉 豊 教授

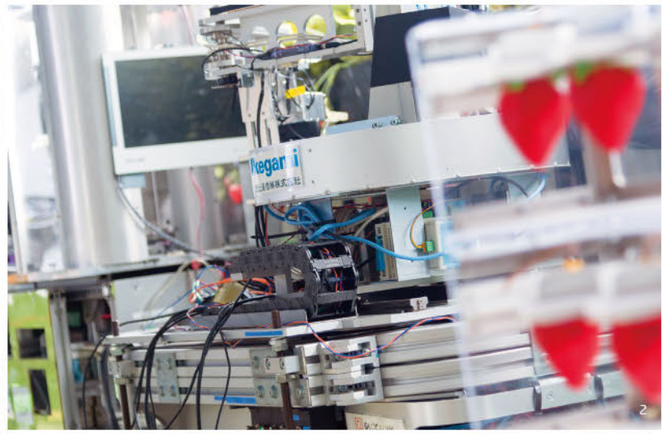
生物を構成するシステムは、とても複雑です。しかし複雑さの中には、シンプルなルールが必ずあります。私がそれを初めて感じたのは、高校で習ったメンデル遺伝でした。ぜひ一緒に、植物細胞や葉緑体の美しさに魅了されながら、シンプルな新ルールを探求しましょう。

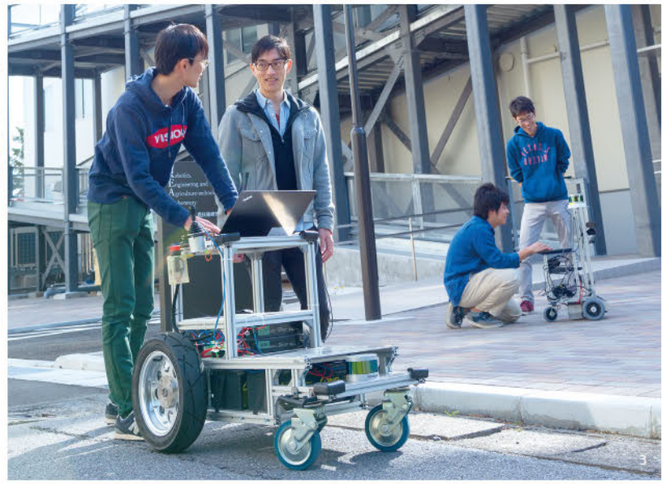
innovation × global × local

現実社会に活かす
知見と技術の新しい学び舎

工学部がある陽東キャンパスには広いビニルハウスがあり、冬から初夏にかけて中ではイチゴの葉が茂り多くの実をつけています。農家のハウスと大きく違うところは、すぐ近くに2018年7月に開所したロボティクス・工農技術研究所で試作される農業用ロボットが中で動き回っているところ。試作を重ねるロボットの稼働試験を行うイノベーションファームとして活用されています。徒歩でも20分で行き来ができる峰キャンパスの農学部と工学部の連携は、研究所ができる前から進んでいます。イチゴの非接触品質評価を研究テーマの1つにしている柏嵜勝准教授と農作業ロボットの研究開発を続ける尾崎功一教授が2015年に開発した、傷みやすい大粒の完熟イチゴを海外へ味や品質を落とさず輸出できる容器「フレシェル®」は、国際味覚審査機構で4年連続優秀味覚賞を受賞するなど国内外で注目を集めてきました。2016年には、尾崎教授の研究室が開発したイチゴ収穫ロボットが第7回ロボット大賞（文部科学大臣賞）も受賞しています。

宇都宮大学の強みでもある工農連携で、ロボット技術を農業分野で活かす研究を軸として、研究所開設当時から進められている研究の中には、社会実装し、農園で活躍するロボットも出てきています。開所時5つだった研究テーマは、12に増え、教員・研究者・学生、企業、自治体が、垣根の無いオープンな空間で自由闊達に議論を重ねながら「動き続ける」拠点となっています。尾崎研究室で学ぶ工学部生と大学院生は、それぞれ独自のテーマにも取り組んでいます。介護支援システムロボットや、動物などの動きから着想を得る水中で動くマンタ型ロボットや脚式ロボット、災害現場での探査の可能性を探るミミズ型ロボットなど多岐にわたります。尾崎教授の期待は、宇都宮大学で生まれる新しい技術をもとに、学生がどんどんベンチャー企業を立ちあげていくこと。そのための教育環境も整っています。





1. 尾崎研究室と農学部の柏嵜先生。　2. 人の手が触れると痛みやすくなるイチゴの収穫をロボットがサポート。　3. 星野智史准教授指導による自動運転ロボットや小型パトロール用ロボットの動作を検証。　4. 2階テラコヤスペースでオプティクス教育研究センターと尾崎研究室の大学院生（博士課程）がミーティング。建物にはハウスにも連動してIoTが導入され、外壁面にはロボット試走用のスロープがある。

工学×農学、技術　革新で「夢」を「現実-REAL-」に実装する

宇都宮大学の先進的なロボット技術や次世代の植物生産技術の革新と社会実装を担う、ロボティクス・工農技術研究所を紹介します。

Innovation to realize dreams

| 陽東キャンパス |
ロボティクス・工農技術研究所

REAL | Robotics, Engineering and Agriculture -technology Laboratory

通称「REAL」には、研究者の夢を「現実」にするという意味も掛けられ、研究所には、1階に溶接ロボットや3Dプリンターなどを備えた工房（FabLab）や、人工知能サーバーなどの最先端設備、2階に教員や学生、企業や自治体職員が集まり自由に議論できるオープンスペース（テラコヤ）などがあります。

工学部
尾崎 功一 教授

cheers you up
キミへのエール

これからの工学は基盤工学から応用まで幅広い勉強とその実践が求められます。その実践の場がREALです。AIやロボットが注目されていますが、人が何気なくやっている様々な行動が極めて知的であることに気付かされます。ロボットの農業実践。面白いです。

農学部附属農場
柏嵜 勝 准教授

cheers you up
キミへのエール

工学も農学も実学です。社会ニーズに応えることが求められています。工・農の、さらに理系・文系の垣根も超え、得られた研究成果をひとつでも多く社会に還元し新たな未来の礎に。そのためにREALは生まれました。異分野融合環境で学んでみませんか。

innovation × global × local
世界への翼

1.2. 2019 年3月には学生も現地へ。小学校の課外活動の主体となる若者たちとの意見交換や研修に参加。　3. 大田原市黒羽地区では耕作放棄地となっていた緑茶用の茶畑を地域の人たちが紅茶用に復興させ、協議会をつくり商品開発・販売を進めています。UU-TEA プロジェクトは、収穫祭で協議会の販売のお手伝いをしながらスリランカでの事業の紹介も行いました。　4. 2018 年6月にキックオフミーティングを開催。スリランカの大学からお招きしたチャンドラボーズ先生の講演や、学生の現地活動報告、現地小学生とのスカイプ交流などを行いました。　5. 12 月には佐野高校の学生も参加して日本文化を伝えるスカイプ交流を学生企画で実施。学生がインスタグラム（uu_tea_srilanka）で活動の様子を発信中。

紅茶プランテーション農園の子どもたちに課外活動支援を

Global initiatives

宇都宮大学では、国際学部を中心に学内での学びと海外での実践が両輪となって、さまざまな取り組みが進んでいます。
ここでは、その１つであるスリランカでのプロジェクトを紹介します。

先進国と途上国、「双方向の学びあい」へ

南アジアの島国スリランカは、高級茶で知られるセイロンティーの産地です。宇都宮大学と現地の NGO が連携し JICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業として「スリランカ 紅茶プランテーション農園の小学校の課外活動支援事業」が、2018 年春からスタートしています。国際 NGO や JICA(国際協力機構)でさまざまなプロジェクトに関わってきた国際学部の栗原俊輔准教授と農学部の福村一成准教授が共同で開講している「海外フィールドワーク演習」（国際学部専門科目）、「国際協力の実際と課題」（基盤教育）の受講生や栗原ゼミの学生が中心となって、紅茶の消費量全国上位の宇都宮市をはじめ栃木県内にて、この事業を支援するために「UU- TEA プロジェクト」も開始されました。

栗原先生によると、イギリス植民地時代に作られた紅茶プランテーション農園の生産方式や働く人たちの生活環境は、植民地時代とあまり変わらない状況が続いているそうです。そこでまずは、プランテーション農園にある小学校の課外活動を活性化することを、長期的な視点に立ったプロジェクトの第一歩と位置づけました。また、自立的で持続的なものにしていくために、各学校での課外活動の運営は農園に住む若い人たちが担うこととし、そのための研修をサポートしていく仕組みを作りました。現地での活動と並行して、宇都宮大学を拠点に、県内の高校生もプロジェクトに参加したり、県北のお茶の産地との交流も始まったり、多層的な取組みとなっています。活動を通して学生たちは、自ら主体的に広報周知や交流の企画を考え実行しながら、国際協力やグローバル化社会についての学びを深めています。

国際学部
栗原 俊輔 准教授

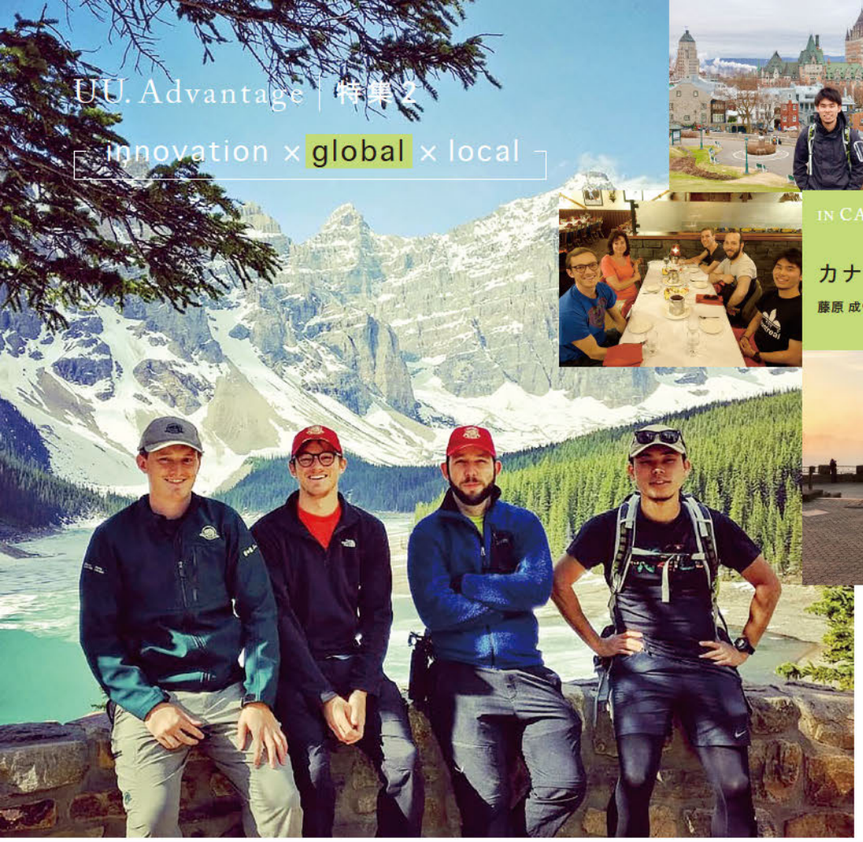
cheers you up
キミへ のエール

みなさんが飲んでいる紅茶、どこから来ているかご存知ですか？　実は日本の紅茶の７割がスリランカ産のセイロンティーなのです。私たちの暮らしは世界中とつながっています。そんな世界とのつながりを、キャンパスでの授業や現地での体験を通して学んでいきましょう！

International Career Seminar
国際キャリア教育プログラム

グローバル時代のキャリア形成を！

国際分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、国際的な仕事の意義を学ぶことを目的とするプログラムを、毎年秋に合宿形式で開催しています。全体会・分科会での講義や演習など充実の内容で、講師はもちろん、他大学の学生や社会人など受講生同士での意見交換を通して、国際分野でのキャリア形成について考えを深めることができる機会となります。



IN CANADA

カナダで！

藤原 成悟

IN AUSTRALIA

オーストラリアで！

前出 歩希

IN SRILANKA

スリランカで！

北村 綾乃

大学間での学生交流の協定校 38

2020年12月1日現在

［東アジア］

■浙江工業大学｜中華人民共和国　■復旦大学｜中華人民共和国　■電子科技大学｜中華人民共和国　■浙江大学｜中華人民共和国　■浙江師範大学｜中華人民共和国　■内蒙古農業大学｜中華人民共和国　■寧波大学｜中華人民共和国　■香港大学｜中華人民共和国　■国立台湾師範大学｜台湾　■国立政治大学｜台湾　■国立中興大学｜台湾　■祥明大学校｜大韓民国　■蓮庵大学｜大韓民国　■全北大学校｜大韓民国　■慶北大学校｜大韓民国　■モンゴル人文大学｜モンゴル　■モンゴル生命科学大学｜モンゴル

［東南アジア］

■カセサート大学｜タイ　■ボゴール農科大学｜インドネシア　■ダッカ大学｜バングラデシュ　■アジア工科大学｜タイ　■王立プノンペン大学｜カンボジア　■ガジャマダ大学｜インドネシア　■バジャジャラン大学｜インドネシア　■サラワク大学｜マレーシア　■ダナン科学技術大学｜ベトナム

［南アジア / アフリカ］

■ペラデニヤ大学｜スリランカ　■ガーナ大学｜ガーナ

［ヨーロッパ］

■エアランゲン・ニュールンベルク・フリートリッヒ・アレクサンダー大学｜ドイツ　■パラツキー大学｜チェコ　■オルレアン大学｜フランス　■東フィンランド大学｜フィンランド　■アイルランド国立大学ダブリン校｜アイルランド共和国

［北米 / 南米］

■ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学｜カナダ　■ノースダコタ大学｜アメリカ合衆国　■トライン大学｜アメリカ合衆国　■ヴィンセンス大学｜アメリカ合衆国　■ポンティフィシアカトリック大学｜ペルー

学部 / 大学院を主とした学生交流の協定校 28

2020年12月1日現在

［地域デザイン科学部］

■トリサクティ大学｜インドネシア

［国際学部］

■国立暨南国際大学｜台湾　■釜慶大学校｜大韓民国　■タマサート大学｜タイ　■イルクーツク国立言語大学｜ロシア　■斉齊哈尔（チチハル）大学｜中華人民共和国　■ダマスカス大学｜シリア　■華南農業大学｜中華人民共和国　■セントラル・ランカシャー大学｜イギリス　■国立台北大学｜台湾　■コリマ大学｜メキシコ　■ハノイ大学｜ベトナム　■トリア大学｜ドイツ

［工学部］

■東華大学｜中華人民共和国　■龍華科技大学｜台湾　■遼寧科技大学｜中華人民共和国　■華東理工大学｜中華人民共和国　■東フィンランド大学｜フィンランド　■浙江大学｜中華人民共和国　■ノアカリ科学技術大学｜バングラディシュ　■上海交通大学｜中華人民共和国

［農学部］

■キングモンクット工科大学トンブリー校｜タイ　■ブルサ工科大学｜トルコ　■ランブンマンクラット大学｜インドネシア　■カンボジア王立農業大学｜カンボジア　■ラオス国立大学｜ラオス　■ベトナム国家農業大学｜ベトナム　■モンゴル科学技術大学｜モンゴル

宇都宮大学から世界へ！ 留学支援

学びや活動のフィールドが、大きく広がる大学生活。

宇都宮大学では、世界各地60以上の大学と学生交流協定を結び、世界に飛び立つ留学のサポートに力を入れています。

Exploring the world

宇都宮大学の海外留学／国際交流支援

世界への扉を開く5つのサポート

宇都宮大学には主に3つの海外留学プログラムと、大学内で国際交流ができる2つの制度があります。①交換留学：本学に在籍しながら、1学期間または1年間、海外の協定校（P19 右リスト）で学ぶことができます。②海外語学研修：本学の夏季休業中にオーストラリアのサザンクロス大学で約2週間、春季休業中にマレーシアのサラワク大学で約2週間、カナダのカビラノ大学で約3週間の海外語学研修を実施しています。ホームステイや学生寮での生活を通じ、生きた英語を学びます。③国際インターンシップ：毎年2回、夏季と春季に協力企業の海外事業所等でインターンシップを実施しています。

また、世界各地から多くの留学生を受け入れている本学では、学生目線で国際交流を進めるために、留学生の生活の補助や留学生同士・日本人学生との交流を促進する④留学生アドバイザー制度と、留学生指導教員のもと、face to face で留学生の生活や学習・研究の支援を行う⑤チューター制度を設けています。（→ P20）

1 交換留学

藤原 成悟｜農学部農業環境工学科4年
カナダ　ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学へ

約1年間のカナダ滞在の最初の8ヶ月間はUniversity of Northern British Columbia で英語の講義を受け、専門知識を深めました。その後3ヶ月間はカナダ最古の国立公園であるバンフ国立公園でレンジャーの方とボランティア活動（Conservation Leadership Project）を行い、実践的な活動を行いました。私は高校時代から英語が非常に好きでした。入学当初に受けたTOEICは800点弱で、宇都宮大学にある英語の特別クラスに入り切磋琢磨し、さらに英語力をあげることができ、留学直前には900点を超えることができました。帰国子女ではありませんが、国際サークルで外国人と会話することも出来ていて、海外旅行にも長期休みで必ず行っていたので、結構な自信を持ってカナダに向かったのですが、言葉は通じても、環境や文化が全く異なるので自分の軸をしっかり持ちながら困難を乗り越えなければなりませんでした。例えば、大学の講義は対話形式が主流なので、大勢の人の前で意見の発表を行う必要があり、的外れな意見で恥をかくこともありましたが、様々な失敗から多くの人生の指針を学び、自己表現力も獲得することが出来ました。友達作りでは人種やLGBTQの多様性を肌で感じたことにより、多文化共生への理解が深まりました。 今回の留学では、多くの壁に直面し、乗り越えた事により、自分の人生・キャリア設計を具体的に描くことができました。

2 海外語学研修

前出 歩希｜工学部電気電子工学科3年
オーストラリア サザンクロス大学へ

インターネットの普及によりグローバル化が進んでいる現代に必要なことの1つとして語学力の向上が挙げられます。普段は工学の分野で電気電子分野を学んでいますが、それ以外の何らかのスキルや武器が必要と感じ、語学力向上を目的に今回のプログラムに参加しました。先生の言葉で印象に残っていることは「間違えてもいいから、とにかくアウトプットすることが大事。ミスを恐れてはいけない」という言葉です。日本人はミスを恐れる傾向があり私もそれに当てはまっていましたが、その言葉に救われとにかくアウトプットを心掛けました。その結果2週間という短い期間でも頻繁に使う定型文は喋れるようになりました。また自分で発音できるものは不思議と聞き取る事も可能になり、滞在初期に聞き取れなかった言葉でも少しずつ聞き取れるようになりました。

また異文化を体感できたことも良かったです。当たり前であった事がそうではなくなる感覚は不思議で、それと同時に狭い世界で生きていた事を実感しました。このプログラムへの参加を機に、もっと英語を喋れる様になりたい、様々な文化を体感したいと感じ、今も日々勉強しています。将来工学の分野でグローバル化に適した人材になるためにこれからもミスを恐れず頑張り続けたいと思います！

3 国際インターンシップ

北村 綾乃｜地域デザイン科学部建築都市デザイン学科1年
スリランカへ

私がこの企画に応募した1番の理由は、海外で生活してみたいという思いです。また、そういった体験を1年生のうちにすることでこれからの学生生活に生かせると考えました。スリランカには、日本にはない病気などもあり不安も多くありましたが、思い切って挑戦して本当に良かったと思います。英語もあまり通じない、日本人もいないという環境で3日間過ごしたこともありました。しかし、慣れない場所で緊張する私たちのために素敵な景色が見える場所へ連れて行ってくれたり、ご馳走を準備してくれたり、いろんな配慮をしてくれて、心から歓迎してくれました。言葉が通じなくても、あたたかい気持ちがひしひしと伝わってきました。

そういった体験はなかなかできるものではないし、私自身それによって成長したと感じます。言葉の壁を乗り越えて仲良くなった人たちは、私にとってかけがえのない存在になり、また、スリランカで働く日本の方々の姿から学ぶことも多くありました。このプログラムでは出会う全ての人から刺激をもらい、私ももっと成長したいと強く感じました。今回の経験は、これからも私の大きな原動力になると思います。

留学生アドバイザー主催のハロウィーンパーティ

| 峰キャンパス | 留学生・国際交流センター
Center for International Exchange

海外留学を希望する学生や、外国人留学生への助言や支援を行い、さまざまな情報を発信しています。センター内には、学生が自由に使える「グローバルコモンズ」が設けられ、学生同士で日本語や外国語を教えあうなどの交流の場となっています。

世界から宇都宮大学へ！ キャンパスで国際交流

International campus

キャンパスを行き交う学生の約20人に1人が留学生です。国境や言葉の壁を越えて、キャンパスで語りあい、笑いあい、一生ものの友情を築こう。

4 留学生アドバイザー

松塚 史都 | 国際学部国際学科２年
アドバイザー代表：写真２列目右から3番目

留学生同士や日本人学生との交流を促進するためのイベントを企画したり、留学を考えている学生の相談にのるなど、学生目線で国際交流を手助けする活動をしています。

『外国人の友達を沢山作りたい！』ということが、私がアドバイザー活動に参加した大きな理由です。日本にいながら、沢山の異文化や異言語に触れる事ができます。この活動をする上で嬉しい瞬間は、パーティーをしている時に、日本人学生と留学生が楽しそうに会話している場面を見ることです。日本人の友達を多く作りたい留学生と、留学生と関わりたい日本人学生に絶好の機会を提供出来ていると実感します。その際にはわかりやすい日本語や英語ネイティブの言い回しを使って、お互いの言語や文化を紹介しあっていて、これが、日常生活で外国の方と関わる際の自信にも繋がっています。堅苦しくない雰囲気で留学生と関われることが、アドバイザーの魅力です。

5 チューター制度

小畑 晋吾 | 国際学部国際社会学科４年

留学生に対し、宇都宮大学の学生が一対一でチューターとなり、来日直後の生活案内をはじめ、授業科目の履修についてのアドバイスや日本語学習、研究の支援等を行っています。

私がチューターとなったのは、自身が留学していたカンボジアの大学にはチューター制度がなく、いつも友達に助けてもらっていたという経験があったからです。留学当初は、買い物に行くにしても現地語がわからないため、全て知り合ったばかりの友人に手伝ってもらっていました。そこで現地の友達のありがたさを実感したことで、帰国後、自分も受け入れ側のチューターとして活動をすることに決めました。チューターの業務内容ですが、主に書類作成の手伝いや、日本語学習の補助等を行っています。チューターをしていると外国人の視点から日本を見るよい機会になり、また、留学生と深く関わることができるという点で、私にとってもこの制度は貴重なものであると感じています。

小畑さんがサポートしているカンボジアからの留学生、アムラさんからのコメントです。

Hi, my name is OUM Amra. I come from Cambodia. What made me pursue my higher education in Japan is because of some reasons. Firstly, people's morality got my attention. I really love the way Japanese people respectful and helpful without hesitated no matter where I am from. Secondly, it's about doing research. I'm really interested in a field of research and Japanese people strongly focus on it. Especially, Utsunomiya University is really popular in the field of Agriculture as well as economics. Last but not least, Japan is one of the most powerful countries in Asia and the world. After graduating from Utsunomiya University, I will contribute all of knowledge and experience that I learn from here to my country.

学校教育の現場で学び、地域を支える力に

Hands-on Experience

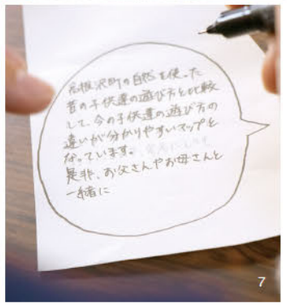
教師を志す学生は、教育実習で学校に入る前から、さまざまな形による地域の教育現場での経験と学びを重ねています。

授業と課外活動で地域に学び地域に返す

教師の道を志す学生に課される、数週間におよぶ教育実習には不安を感じる人も多いかもしれません。宇都宮大学の共同教育学部では、実習に入る前にも学校現場で活動する機会が設けられています。小・中学校等のニーズに応えて教職センターが窓口となり、希望する学生を派遣する「学校支援ボランティア」制度と、２年次に授業の一環として小学校で活動する「教職ボランティア入門」です。小・中学校の先生のサポートをしながら、授業中や休み時間、放課後に児童生徒の学習や活動の支援を行うことで現場での対応力も育まれていきます。学生たちが主体的に動く、地域の小学生を対象とした取り組みも盛んで、技術分野の「こども技塾（ものづくり教室）」、家政分野の「こどものまち（遊びながら町のしくみを学ぶプログラム）」、理科分野の「ＵＵサイエンス（ものづくり・実験教室）」などが開催されています。このような活動を通して、共同教育学部の学生たちも地域に支えられながら、自らの学びを深めています。

学校支援ボランティアの活動風景。 1.2.3. 小学２年生の算数の授業。持参したそれぞれの水筒に水がどのくらい入っているか、コップを使って調べます。子供たちが作業を始めるとサポートに入り、3、4人のグループを順番にまわります。 4. 小学２年生の生活科の授業。数日後に開催する「おもちゃ祭り」の準備で看板や迷路をつくる子どもたちのサポートを、担任の先生と相談しながら行います。 5. 休み時間には、今クラスで流行っているあやとりを一緒に。

innovation × global × local



1. 日光市の山間部、栗山地区に入ったチームは、「地域ブランド形成」という課題に聞き取り調査をしながら取組みました。2.3.4. 日光市の旧今市市エリアでは、独居高齢者の日常的な繋がり強化のために「まちの縁側」づくりを推進。コンビニの敷地内に気軽に座っておしゃべりができる木のベンチを制作して寄贈。 5.7. 高根沢町に入ったチームは、子どもの成長に合わせた環境学習プログラムの開発に取組み、12ページの冊子「たかねざわ環境マップ」を作成し町内の小中学生へ手書きのメッセージを添えて配布。町長からは「生まれ育った土地の原風景は、将来辛いことがあった時でも心の支えになるはず。子どもたちにとって意味のあるいいものを作ってくれた」と感謝の言葉が。 6. 各チームにつく担当の先生や地域デザインセンターの教職員がチームをサポート。 8. 2回目の合同発表会の様子。切磋琢磨でプレゼンの力も伸びていきます。

地域に飛び込み、ともに未来の一歩　をデザインする

One step in the future

地域デザイン科学部では、３年次に３学科の学生が合同で取組む「地域プロジェクト演習」を進めています。
１年をかけてじっくりと地域に入り、地域の人たちと地域の「これから」を考える取組みを紹介します。

| 陽東キャンパス |
地域デザインセンター
CRD | Center for Regional Design

地域社会を持続可能で暮らしやすい場所にするため、地域と連携した教育と研究に対する支援およびコーディネートを行い、地域と大学を繋いでいます。主な取り組みとして、地域対応力養成科目等の教育実施支援、地域的な課題に関する共同研究の促進、地域課題解決を目的とする地域実践の促進・支援を行っています。

大学と外の社会と。行き来しながら深める学び

高校生活では、自分が暮らす地域社会に目を向けるきっかけや地域の人と交わる機会はあまり無いかもしれませんが、地域社会は、とても学ぶことが多いフィールドでもあります。コミュニティデザイン学科、建築都市デザイン学科、社会基盤デザイン学科の３学科からなる地域デザイン科学部では、１年次から地域に出て学ぶ授業科目がそれぞれに用意されています。３年次では、３学科が混成で５、６人のグループとなり、県内諸地域の課題に主体性をもって参加するフィールドワーク型の必修授業「地域プロジェクト演習」に取組みます。

2019年度の地域プロジェクト演習では、栃木県と県内の14の市町をフィールドにして、28のグループがそれぞれのテーマで自治体の担当部署や地域のNPOなどの諸団体と協働して、地域が抱える問題の解決策を考えました。写真で紹介した事例以外にも、例えば、栃木県の環境森林部と取組んだ「山地災害に対する防災意識向上に向けて」、小山市総合政策課と取組んだ「渡良瀬遊水地を利用した遊水池を活用した観光地化事業」、足利市のあしかが映像まつり実行委員会と取組んだ「あしかが映像まつり」の改善など、テーマは多岐に渡ります。

課題解決型の授業は、教育の場で多く取り入れられていますが、宇都宮大学のこの取組みには２つの大きな特徴があります。実際に地域の課題に直面し、既に取組んでいらっしゃる自治体職員、観光や福祉等の団体の方たちと一緒に課題の解決に向けて取組めること。同じ学科の仲間だけではなく、地域コミュニティの形成、建築や都市計画、社会基盤整備など異なる専門性をもつ仲間と共に取組めること。このように、さまざまな立場からの視点を得て、調査設計、課題発見、解決策提案…と次第に形にしていく過程は、１つの学科だけでは得られない多くの深い学びに満ちています。

cheers you up
キミへのエール

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科
大森 玲子 教授

住んだり訪れたりしたことのある国内外の地域に「ここがいいな」「こうすれば もっといいのにな」など、ふと感じたことはないでしょうか。本学部では、みなさんの地域に対するそんな感覚を大切に捉え、地域に寄り添いながら学びを深めるプログラムを用意しています。さぁ、共に歩みましょう！

innovation × global × local

1. クズの生育実験を行う小笠原先生と学生たち。　2. 繁殖力が強いクズ。　3.「地域資源管理部門」の活動の一例。カンピョウ農家に聞き取りを行う。
4.「野生鳥獣管理部門」では、農業に大きな損失を与える獣害対策として「脚くくり罠」の設置講習も。

生態系バランスと人間活動の良好な関係を科学の力で

Science to create unity

雑草と野生鳥獣害対策、生態系保全、里地里山の地域資源活用などについて学ぶ拠点の紹介です。

生態学的な解明から解決策を探る

古くから薬用や食用として利用されてきたクズ（葛）という植物を知っていますか？　クズは空き地や林縁などにも繁茂しますが、写真2のように電柱やフェンスにも這い上がる、蔓植物です。雑草管理教育研究センターの小笠原勝教授によると、クズは単に景観を損ねるだけでなく、道路や河川堤防などの機能を著しく低下させるそうです。クズを例に挙げましたが、私達の身の回りには様々な雑草が生育しており、それらの雑草は私達の生活はもちろんのこと地域の生態系と密接に関係しており、その雑草が適正に管理されないと、大きな社会問題に発展してしまいます。

雑草管理教育研究センターでは、雑草問題の解決を目指して、その生態と制御方法について研究しています。小笠原研究室では、里山で特に問題になっているクズを研究材料に取り上げ、その巻き付き登攀（とうはん）に関する研究を行っています。クズの蔓は反時計回りで巻きつき、逆回りに巻き直しても直ぐに元に戻り、しかも下方には這わず、支柱を水平にしても巻き付かず、少し上向きにすると巻き付くそうです。このような生態学的な特性に基づき、植物成長調整剤や、除草剤、紫外線などを用いた防除方法について企業や地域と連携しながら進めています。

雑草管理教育研究センター
小笠原 勝 教授

cheers you up
キミへ のエール

日本人は「間違い」をとても嫌う、恥じる人種だそうです。英語が上達しないのも、この気質の所為かも知れません。地球上に暮らす生物の種数も地球の中身も、分からないことだらけです。高校までは、覚えることで目一杯だったでしょうが、大学に入ったら、間違いを気にせずに、考えることを楽しんでください。

| 峰キャンパス |　雑草管理教育研究センター

Center for Weed and Wildlife Management

センターには、植生マネジメント、野生鳥獣管理、地域資源開発の3部門があります。地域における人の暮らしと生態系に関わる雑草と野生鳥獣問題の解決に向けて産官と連携しながら研究・教育を進めています。

宇都宮大学の学び

3C精神をモットーに行動的知性を育む

P26　学びの全体像
P29　基盤教育
P32　地域デザイン科学部
P40　国際学部
P46　共同教育学部
P54　工学部
P62　農学部
P75　大学院

宇都宮大学の教育目標

専門に関する基礎を身につけ、広い視野とバランスのとれた判断を可能にする豊かな人間性を持った人材の育成をめざします。

具体的には

1. 現代社会に必要なリテラシー、幅広く深い教養と豊かな人間性、そして、知と行動力を統合した行動的知性を育成するための基盤教育を行います。
2. 実践的で専門的な知識を修得するための専門教育を行います。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、問題解決能力を身につけ、“あらたな社会”を拓き支える人材を育成します。

宇都宮大学 学びの全体像 | 5つの学部で基盤教育から大学院まで一貫した学びの体系

入学から卒業まで一貫した学びの体系を通して、学生が3C精神と行動的知性を養う教育プログラムを構築しています。

学士課程

基盤教育

◎ 宇都宮大学では、大学での学び方をしっかりと身につけ実践できるような科目構成と学びの環境を整えています。

◎ 基盤教育科目では、高校までの「教科」としての学びから、大学での「学問」としての学びへ進むための基礎的な教養を養うことができます。

→詳細P29

専門教育

◎各学部の教育プログラムに沿って実践的な専門性とそれを社会で展開できる課題解決能力を学びます。

［5つの学部の学びの全体像］

学部	学びの全体像	学科・課程	系・分野(共同教育学部)	コース(工学部)	取得が目指せる資格・免許	目次
地域デザイン科学部	“まちづくり”を支える専門職へ向けて、コミュニティ形成、建築設計、居住環境、都市計画、防災といった、分野横断の“まちづくり”に関する幅広い知識と専門技術を、文系理系の枠にとらわれず総合的に学びます。	コミュニティデザイン学科			●社会教育主事(社会教育士) ●社会福祉主事 ●国内旅行業務取扱管理者 ●証券外務員二種 (注)卒業生が取得している主な資格	P32～
		建築都市デザイン学科			●一級建築士・二級建築士 ●構造設計一級建築士 ●設備設計一級建築士 ●建築施工管理技士 ●建築基準適合判定資格 (注)卒業生が取得している主な資格・免許	
		社会基盤デザイン学科			●技術士・技術士補 ●測量士・測量士補 ●土木学会認定土木技術者 ●土木施工管理技士 ●シビルコンサルティングマネジャー(RCCM) ●コンクリート診断士 ●コンクリート主任技士・技士 (注)卒業生が取得している主な資格	
国際学部	多文化共生の社会の実現のため、「国際」「学際」「比較」に重点をおいています。グローバル専門科目には7つの科目群があり、アジア太平洋文化社会、欧米文化社会、日本文化社会、比較文化社会、言語・コミュニケーション、国際協力、国際共生に関する研究を扱います。	国際学科			●中学校教諭一種免許状(英語) ●高等学校教諭一種免許状(英語)	P40～
共同教育学部	理論的な学修とそれらを実践的に学ぶ教育実践科目を通して、確かな授業力と協働力・人間力のある意欲の高い教員、子どもたちに寄り添いながら次の時代を切り拓く子どもの育成にあたることができる教員を養成します。 【共同教育学部での取得可能な免許・資格の見方】 ◎…卒業要件で取得可能な免許種 ○…卒業要件に加え、必要な科目(実習を含む)の単位を修得することで取得可能な免許種 ※卒業要件で「視覚障害者、知的障害者、肢体不自由者または病弱者(身体虚弱者を含む)」の4領域の免許取得が可能。さらに必要な科目の単位を修得することで、「聴覚障害者」を含め、5領域全ての免許取得が可能。	学校教育教員養成課程			●社会福祉主事任用資格	P46～

系・分野	コース	小学校1種	中学校1種	高等学校1種	特別支援学校1種	幼稚園1種
教育人間科学系	教育分野	◎	○ 教科は各自の選択	○ 教科は各自の選択	○	○
	教育心理分野	◎	○ 教科は各自の選択	○ 教科は各自の選択	○	○
	特別支援教育分野	○	○ 教科は各自の選択	○ 教科は各自の選択	○ ※	○
人文社会系	国語分野	◎	◎ 国語	○ 国語	○	○
	社会分野	◎	◎ 社会	○ 地歴・公民	○	○
	英語分野	◎	◎ 英語	○ 英語	○	○
自然科学系	数学分野	◎	◎ 数学	◎ 数学	○	○
	理科分野	◎	◎ 理科	◎ 理科	○	○
	技術分野	◎	◎ 技術	○ 工業	○	○
芸術・生活・健康系	音楽分野	◎	◎ 音楽	◎ 音楽	○	○
	美術分野	◎	◎ 美術	○ 美術・工芸	○	○
	保健体育分野	◎	◎ 保健体育	◎ 保健体育	○	○
	家政分野	◎	◎ 家庭	○ 家庭	○	○

学部	学びの全体像	学科・課程	系・分野(共同教育学部)	コース(工学部)	取得が目指せる資格・免許	目次
工学部	現代社会を支える機械、電気、化学、情報といった基幹工学、多様な工学分野の基盤となる光工学、自動運転を可能とするロボット工学、人の感覚や認知をモノづくりに生かす感性情報工学、エネルギ・環境問題を解決する環境化学など、多岐に亘る工学の幅広い知識、生命科学など工農連携にも発展しうる複合的な知識を学べます。	基盤工学科		物質環境化学コース	●毒物劇物取扱責任者 ●甲種危険物取扱者受験資格 ●高等学校教諭一種免許状(工業)	P54～
				機械システム工学コース	●高等学校教諭一種免許状(工業)	
				情報電子オプティクスコース	●電気主任技術者の免状交付申請の資格(卒業後一定の実務経験が必要) ●電気通信主任技術者(試験の一部免除) ●第1級陸上特殊無線技士 ●第3級海上特殊無線技士 ●第2種電気工事士(筆記試験免除) ●高等学校教諭一種免許状(工業)	
農学部	食料、生物資源、環境保全、農林業に関する基礎から応用までを学ぶとともに、附属施設や学外フィールドで実学を学修します。	生物資源科学科			●高等学校教諭一種免許状(農業)	P62～
		応用生命化学科			●高等学校教諭一種免許状(理科) ●食品衛生管理者および食品衛生監視員資格 ●毒物劇物取扱責任者 ●甲種危険物取扱者受験資格	
		農業環境工学科			●技術士補(JABEE認定による修習技術者) ●測量士補 ●2級ビオトープ管理士試験一部免除認定 ●高等学校教諭一種免許状(農業)	
		農業経済学科			●高等学校教諭一種免許状(農業)	
		森林科学科			●測量士補 ●林業架線作業主任者免許 ●JABEE認定による修習技術者(技術士補と同等) ●高等学校教諭一種免許状(農業) ●1級・2級造園施工管理技術士 ●樹木医補	

大学院

博士前期課程 博士後期課程
専門職学位課程

◎ 地域創生科学研究科

［博士前期課程］

社会デザイン科学専攻
- ●コミュニティデザイン学プログラム
- ●農業・農村経済学プログラム
- ●建築学プログラム
- ●土木工学プログラム
- ●農業土木学プログラム
- ●グローバル・エリアスタディーズプログラム
- ●多文化共生学プログラム
- ●地域人間発達支援学プログラム

工農総合科学専攻
- ●光工学プログラム
- ●分子農学プログラム
- ●物質環境化学プログラム
- ●農芸化学プログラム
- ●機械知能工学プログラム
- ●情報電気電子システム工学プログラム
- ●農業生産環境保全学プログラム
- ●森林生産保全学プログラム

［博士後期課程］

先端融合科学専攻
- ●オプティクスバイオデザインプログラム
- ●先端工学システムデザインプログラム
- ●グローバル地域デザインプログラム

◎ 教育学研究科(教職大学院)

［専門職学位課程］

→詳細P75

◎ 東京農工大学大学院
連合農学研究科

［博士課程］

宇都宮大学 学びの全体像　アクティブラーニングで能動的に学ぶ

3C精神と行動的知性

3C精神は、自らのビジョンに向かって「Challenge」＝主体的に挑戦するC、「Change」＝自らを変えるC、「Contribution」＝広く社会に貢献するC、宇都宮大学が大切にする宇大スピリットです。大学では、アクティブラーニング形式の授業やプロジェクト型の演習を通して、知識と実践を融合する学びを重視しています。課題解決に向けて、さまざまな知識を統合し、それを行動につなげる「行動的知性」を磨きましょう。

能動的な学びを育む手法と学びの環境

アクティブラーニング

宇都宮大学ではすべての授業科目にアクティブラーニングの手法を導入しています。基盤教育のアクティブラーニングでは特に、学生自身が自らの問題意識に沿って課題を見つけ、課題解決のために能動的な学修を進めることに重点が置かれています。こうしたアクティブラーニングを通じて、大学4年間の学びにおいて不可欠となる学修方法や、明確な問題意識を持ちながら能動的に学修を進めていく姿勢を身につけることをめざします。

ラーニング・コモンズ

ラーニング・コモンズは、学生同士の能動的な学び合いのための学修空間です。グループワークに適した机やホワイトボード、ICT 機器などがあり、必要に応じて教職員や学生スタッフの支援を受けることもできます。ラーニング・コモンズで多様な仲間たちと学び合い、互いに刺激を受けることで、自らの新たな可能性を発見できるはずです。ラーニング・コモンズは、学生による「本気の学び」の伴走者として皆さんをサポートします。

→ラーニング・コモンズ詳細はP84を。

Active Learning
Learning commons

Liberal and General Education

大学での学び方を身につけ、自らの可能性を広げる

基盤教育

宇都宮大学の基盤教育プログラムを通じて、大学での学びにおいて不可欠な能動的学修姿勢を身につけましょう。
初期導入科目やリテラシー科目などでは学士力の土台を固めることを目指し、バラエティーに富んだ教養科目では学びの視野を広げることを目標としましょう。

基盤教育科目の構成

学士力の土台を固める	初期導入科目	新入生セミナー　＊1年次		
	リテラシー科目	英語 →詳細 P30	Integrated English	
			Advanced English	
		スポーツと健康		
		データサイエンス入門　→詳細 P31		
		SDGs 入門　→詳細 P31		
	専門導入科目　＊学部学科によって異なります			
	基盤キャリア　＊学部学科によっては選択科目になります			

学びの視野を広げる	教養科目	人文科学系：人間とその文化	合計100の科目が用意されています。
		社会科学系：社会の姿としくみ	
		自然科学系：現代の科学と技術	
		初習外国語系：さまざまな言語	
		留学生のための日本語科目	

Comments from current students

宇大のキバンは面白い！

大学生になったら、早く専門を学びたい。そう考えて入学してくる学生も少なくはありません。しかし、他の学部の学生も一緒に、さまざまな領域で幅広く学べる基盤教育科目は……。在校生のアンケートで寄せられた声を少し紹介します。

レポートの課題は大変だけど、論理的思考が身についた。

高校までには無かった分野の科目がたくさんあって面白い！

戦争って、真正面から考えたこともなかったかも……「心に思想の種をまく」キバンです！「戦争をめぐる諸問題」

パソコンの使い方からデータの分析方法まで幅広く学べます。データを分析して初めて見えてくる世界がある事を知りました！「プログラミング応用」

他の学部生とも一緒にグループワークできて、いろんな視点が新鮮！

授業中に、キャンパス内の雑草を真剣に観察・スケッチして、識別を学びます。「雑草学入門」

① EPUU

学びの世界の扉のマスターキーを手に入れる

EPUU(English Program of Utsunomiya University) は、宇都宮大学に入学する全員の学生が履修する全学部共通の統一英語プログラムです。実用的なコミュニケーション・スキルや異文化理解力を高め国際的な感覚を身に付けるとともに、英語技能を専門で役立つ学術的スキルへと高めます。

1年生	— Integrated English — 週3回の習熟度別クラス編成での授業は、コミュニケーションのための4技能演習です。授業であることを忘れてしまうような様々な言語活動を楽しみながら、実用的な英語運用能力を高めていきます。
2年生	— Advanced English — 多岐にわたる開講科目の中から自由に授業を選択することができます。文献読解、研究レポート作成、プレゼンテーション等、専門分野で役立つスキル演習や、グローバル・トピックについて学びながら学術スキルを向上させる EAP (English for Academic Purposes) の授業があります。

EPUUの特徴

TESOL を学んだ教員チーム

英語教授法 TESOL専門教員を中核としたグローバル教員チーム

Honors Program

TOEIC 高得点を獲得した学生のための、ハイレベル授業、英語合宿、飛び級などの特別プログラム

多彩な言語活動

iPad をフル活用。ゲーム感覚なのに実力がつく

EPUU Commons

1300本以上の洋書、8000冊以上の洋書、音声付きTOEIC 演習教材等を備えた英語学習スペース

同じ映画を3回観て（日本語、英語字幕、字幕無し）、分からない単語は単語帳に書いて覚えました。リスニングの力が劇的に上がったと思います。

CALL ラボ

映画の中の登場人物の声を自分の声に吹き替えるアクティビティなどもあり、リスニングの力もスピーキングの力も、自然に身についてくる実感があります。

映画の授業で使用する、コンピューターを使った語学学習

EPUU Clinic

途中でうまく英語で表現できずに慌てたり黙ってしまったことがあったが、私の言いたいことを推測して会話を繋げてくださいました。

予約制20分間のマンツーマン指導

シアター

授業で、授業外で仲間とゆったり映画観賞

Student Voice

国際学部国際学科2年
栃木県立真岡女子高等学校 出身
高松 美里

大学に入学してからの英語の授業は、高校時代とは何もかもが変わり、映画や歌を教材にした活きた英語や使える英語を楽しみながら学ぶことができました。英語は元々得意でしたが、話すことに抵抗があった私に、「細かい文法の間違いは気にしなくていいから英語で話そう」と先生が言ってくれたことがきっかけで、臆せず話せるようになりました。先生方はみんなユーモラスで授業中は笑いが絶えなかったです。CALLラボやたくさんの洋画、洋書などを積極的に活用して、TOEIC のスコアも伸び、2年次より Honors Program を受講しています。

② データサイエンス入門

データサイエンスとはデジタル社会の「読み・書き・そろばん」

宇都宮大学では現在のデジタル社会において不可欠なデータサイエンスの基礎知識・技能を必修科目「データサイエンス入門」で全学生が学びます。

今日の社会は多種多様なデータで溢れています。データは「21世紀の石油」とも称され、新たな経済資源と捉えられるようになってきました。データから価値ある情報を抽出したり課題解決や意思決定に活かしたりする一連のプロセスは「データサイエンス」と呼ばれ、近年その重要性が広く認識されています。本科目では、すべての学部の学生が今後の社会で必要不可欠とされる情報リテラシー(端末室の PC 操作や、Office 系ソフトウェアやブラウザ、電子メールの基本的な使い方、情報倫理等)や、データサイエンスの基礎(データサイエンス・AI の概要や留意事項、社会で起きている変化やデータサイエンスの利活用の例、初歩的なデータ解析手法や各専門分野との有機的つながり等)を学修し、データサイエンスを日常の生活、仕事等の場で使いこなせるようになることを目指します。

大学の端末室を用いた講義風景の一例。峰・陽東キャンパスにある端末室や各学部の施設や附属図書館など、全学的に450台を超える PC が配置されています。

③ SDGs 入門

学びの国際的目標と持続可能な社会の“旗印”としてSDGsを学ぶ

宇都宮大学の理念と方針に「持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進」があります。世界で“共通言語”として注目を集める SDGs を学びます。

宇大の SDGs の取組み

宇都宮大学は教育だけでなく研究や地域貢献活動でも SDGs を推進しており、SDGs 事例集にて教職員や学生の活動を紹介しています。また、研究シーズ集や授業シラバスでも SDGs との関連付けを示したり、大学の記念行事に際しても SDGs と関連したテーマのシンポジウムやコンテストを開催したり、海外の大学と英語による交流授業を行う際も SDGs を取り上げたりしています。

SDGs 推進奨励賞

宇都宮大学が SDGs の達成に貢献することを目標に、「SDGs 推進奨励賞」を設け、学生や教職員の SDGs 活動を支援しています。学生部門は「学生社会貢献奨励賞」があり、2019 年度は8組の学生団体が受賞、宇都宮大学3C基金飯村 SDGs 推進奨励金の支援により、活動費を得ました。

創立70周年の記念事業で実施した SDGs フォトコンテスト

地域と推進する SDGs

栃木県内自治体の SDGs 活動に協力し、栃木県とは SDGs で連携協定を結び、那須塩原市とは環境省の「国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務」に取組み、宇都宮市や内閣府の SDGs 連携活動にも参画しています。宇都宮青年会議所主催 SDGs ビジネスコンテストでは本学学生が優勝しました。

SDGs は 2015 年9月の国連サミットで全会一致で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、加盟 193ヵ国が2030 年までに、社会や地域の課題において実現を目指す 17 の普遍的な目標です。本授業では、SDGs の基礎的知識を理解すると共に、地域や本学にあっても先進的な取組みや先行事例があり、SDGs の17の目標を様々な視点から関連付けて考えることが出来る「幅広いものの見方・考え方」を養うことを目指し、全ての学部学生が必修で履修します。

School of Regional Design | 地域の未来を科学の力で

地域デザイン科学部

●コミュニティデザイン学科　●建築都市デザイン学科　●社会基盤デザイン学科

地域社会を創る、
まちづくりの主人公として共に学びあいましょう

みなさんは、どんな「まち」で暮らして、どんな「まちの未来」を思い描いていますか？
現代社会は、人口減少や少子高齢化などに端を発する多くの地域課題を抱えていますが、
その一方で、さまざまな可能性も見出すことができますし、
人の英知と技術をあわせて、活力ある地域の未来を自らの手で創っていくこともできるのです。
私たちは、県内の多くの自治体や団体とともに、地域や人との繋がりを大切に、
文理の垣根を取り払った新しい学びを進めています。
「まちづくり」の主人公として、地域デザイン科学部でともに学びあいましょう。

地域デザイン科学部ホームページ
http://rd.utsunomiya-u.ac.jp/

入試情報 URL
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php

学部の教育・研究方針

文理融合の教育で地域デザインの実践力が身につきます

地域デザイン科学部は、地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献することを理念としています。
今、私たちの身近にある「地域」には多くの新しい課題があります。これに対して、課題発見・分析・解決策の提案まで、分野を超え、多様な主体の協働を支える知識・技術が求められています。
本学部では、各地域の資源や特性を活かしながら多くの新しい課題を解決し、21世紀の地域社会を持続可能で豊かにするために必要な教育・研究・地域貢献に取り組みます。学生は“まちづくり”を支える専門職へ向けて、多様な分野を横断した“まちづくり”に関わる幅広い知識と専門技術を文理融合のカリキュラムを通じて総合的に学ぶことにより、“地域デザインの実践力”を身につけます。

宇都宮大学ならではの教育や活動の特色

地域デザインの実践力のある“まちづくりのプロ”が育ちます

1 専門科目はすべてアクティブラーニング

受け身で知識を得るだけでなく、学生自身が考えて地域をデザインする力を養うように、アクティブラーニングを豊富に導入しています。学びを深めるとともに、主体的・能動的な学びを強化し、コミュニケーション能力や応用力を高めていきます。

2 学部共通の教育プログラムが充実

まちづくりのプロフェッショナルには、地域と向き合う力、地域の実態を調査し分析する力、地域の課題を解決する力、すなわち「地域対応力」が求められます。そうした力を全員が身につけられるように、例えば「地域デザイン訪問」など専門領域を越えた学部共通のさまざまな教育プログラムを実施していきます。

3 地域と連携する地域プロジェクト演習

「地域プロジェクト演習」（3年次・必修）は、地方自治体、民間企業などと連携し、全学科を横断した学生チームが栃木県内の地域デザインを実践。コミュニケーション力、調査・分析力、プレゼンテーション力、そしてチームで動く協働力を養成します。

Real Voice

3年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT

コミュニティデザイン学科 3年
栃木県 作新学院高等学校 出身

宇賀持 凌

自らの経験に加え、幅広い分野を学ぶことで新たな視点を見つけることができます。

わたしは大学生であると同時に、アマチュアの自転車競技の選手として活動しています。それは今の大学生という立場だからこそできることであり、バイトも含めて全力でやっています。学科では幅広い分野を学ぶので、一見自転車競技と学問は無縁かと思われるものにも接点を見出すことができ、楽しく学べています。勉強することはもちろん大切ですが、大学生だからできることも多くあるので、そうしたことに全力で取り組んで、より良い大学生活を過ごしましょう！

4年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT

建築都市デザイン学科 4年
栃木県立さくら清修高等学校 出身

古謝 正太朗

多角的な視点を養い、建築に活かしましょう。時間の管理が大学生活のポイントです。

地域デザイン科学部では三学科合同でグループワークを行う機会が多く、他学科からの意見に触れられるので物事を複眼的に捉える力が身に付きます。学科では意匠・環境・構造・材料など建築に関する基礎を幅広く学びます。デザインに自信がなくても自分が活躍できる分野がきっと見つかります。設計課題やレポートで忙しい時期もありますが、大学での時間の使い方は自分の裁量次第だと思います。学ぶ時間、遊ぶ時間のメリハリをつけて有意義な学生生活を送ってください！

コミュニティデザイン学科

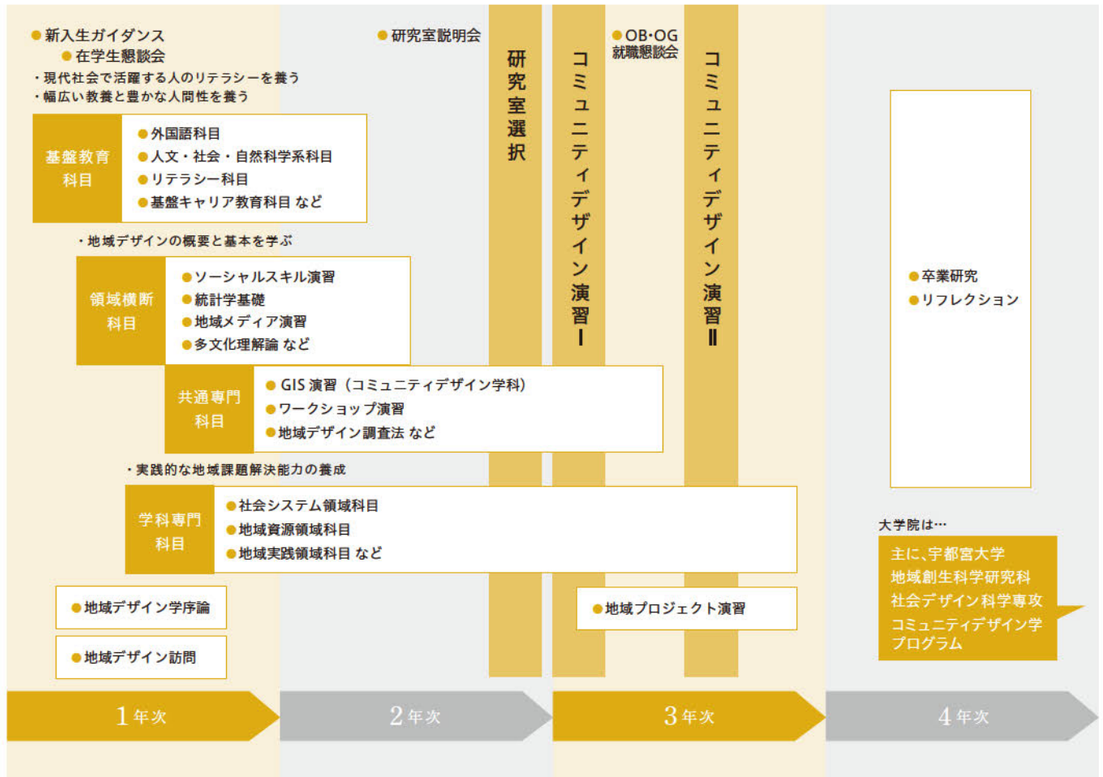
新たなまちづくりへの社会システムを支え、魅力ある地域をデザインする

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域と連携して様々な現場を訪れ、体験しながら学習を深めます。さらに、公共政策、地方自治、経済、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、コミュニティ政策などの専門的な分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力を養い、21 世紀の地域社会の担い手として、行政機関や民間企業、NPO 等で率先して活躍できる人材を育てます。

教育プログラムの特徴は以下の 3 点です。

1. 地域の自然、文化、生活と社会システムの視点を融合した学際的教育
2. アクティブラーニングによる実践的な地域課題解決能力の養成
3. 社会人としての基礎力とソーシャルスキルの養成

コミュニティデザイン学科の4年間



専門科目

社会システム領域科目：公共政策入門、行政学、公共経済学、地方自治論、行政法、公共マネジメントなど
地域資源領域科目：地域資源論、地域食育論、文化マネジメント、農村マネジメント、観光地理学、食資源活用実習、観光学実習、景観解析など
地域実践領域科目：高齢社会学、地域社会学、社会福祉学概論、地域実践心理学、まちづくり論、NPO論、会話分析入門、生涯学習社会論など

資格・免許

- 社会教育主事（社会教育士）
- 社会福祉主事
- 国内旅行業務取扱管理者
- 証券外務員二種

（注）卒業生が取得している主な資格

授業クローズUP!

まちづくり論 | 石井 大一朗 准教授

住みたいまちを自ら創り出していく まちづくりに、今、何が必要か探っていこう

あなたはどんなまちに住みたいですか。
いたいように居られて、やりたいことがあれば実現できる。
そしてそれを分かち合う仲間がいる。
まちづくり論は、こうしたまちを「自らが創り出していく」ために必要な基礎的な知識と方法を、栃木や日本国内外の事例を扱いながら学びます。具体的には、日本の住民主体のまちづくりについて、参加と協働のまちづくりがどのように発展してきたのか、制度と住民活動の歴史的変遷から基本的なことを理解します。その上で、ライフスタイルの多様化、単身世帯や高齢者の増加、貧困などの現代的なテーマを扱い、地域社会が変化していく中で、今後、どのようなまちづくりが必要になるのか、誰が担っていくのか。つながり、サードプレイス、小学校を核としたまちづくりなどに関する理論や事例を紹介しながら学んでいきます。

また、まちづくりを支える組織、人、お金の重要性と現実を知るため、自治会・町内会、NPO、そして過疎地で増える新たなコミュニティ組織を理解するとともに、地域おこし協力隊をはじめ実践者の生の声を通して、まちづくりの今に迫ります。
本授業は 3 学科の学生がともに学ぶ授業です。学科を超えて、お互いの関心を分かち合うことのできるグループワークを頻繁に行いながら授業を進めていきます。
ありたいまちの未来を描くための基礎知識をみんなで学び合っていきましょう。

SEMINAR

4年生から始まるゼミ紹介

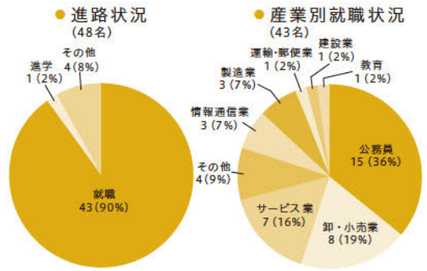
研究室名　観光地理学研究室
担当授業名　観光概論、観光地理学、観光学実習
鈴木 富之 講師

観光地理学の視点から、観光地域の形成と観光形態の変化について探求しています

研究室のゼミでは、観光地理学の視点から日本の観光地域がいかにして形成されたか、また日本人の観光形態がどのように変化しているのかについて探求しています。人口減少社会下の日本では、観光は地域振興や地域再生の起爆剤として注目を集めており、さまざまな地域で「体験」「交流」「学習」などによる観光振興が実施されています。観光地域の変容や日本人の観光形態の変化が明らかになれば、地域に根ざした望ましい観光振興のあり方を提言することができると考えています。ゼミの学生には、できるだけ多くフィールドワークを行う機会をもち、現地の方々に接することにより、観光地域が抱えるさまざまな課題を見つけ出し、積極的にその解決方法を探求して欲しいと思っています。

卒業後の進路

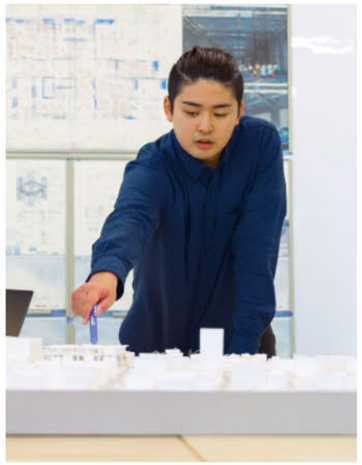
2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：48名／就職希望者：43名／就職者：43名）



● 主な就職先

県庁、市役所、足利銀行、栃木銀行、（社）全国社会福祉協議会、東日本旅客鉄道、日本旅行、国分関信越、毎日新聞社、マイナビ

建築都市デザイン学科

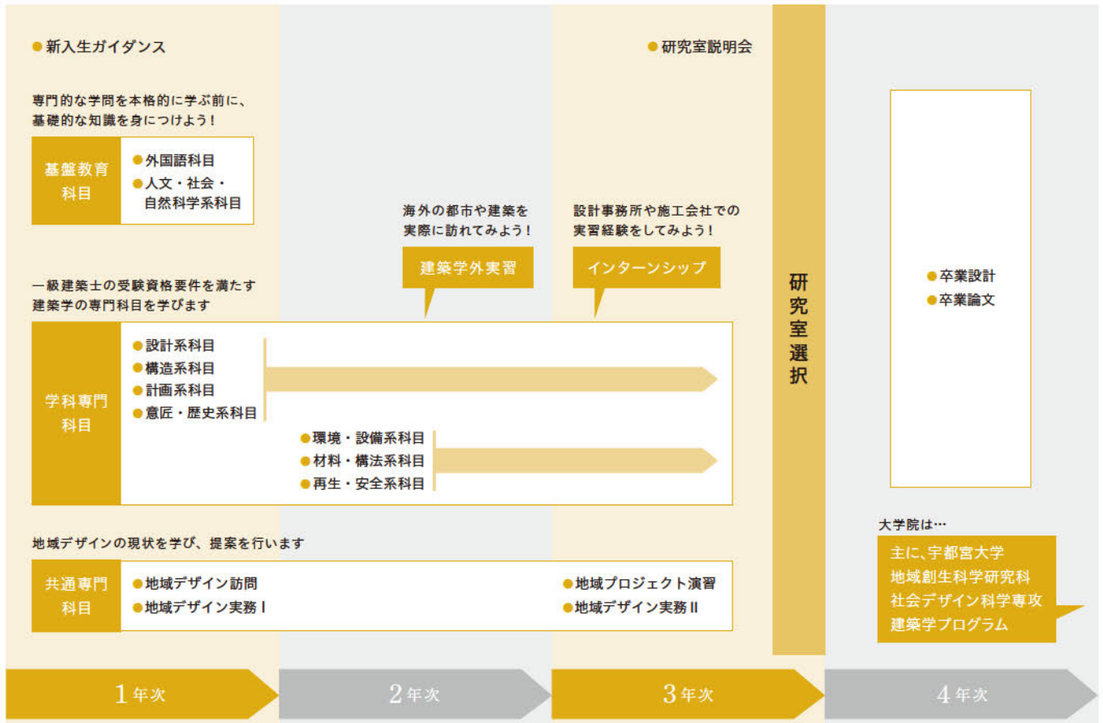


建築を学び、人にやさしい居住環境や都市をデザインする

建築都市デザイン学科は、1978（昭和53）年に工学部に設置された建築工学科以来の建築教育の伝統をもつ学科です。これまでと同様に、建築学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。これに加えて、少子高齢化社会、エネルギー問題、自然災害などがもたらす現代社会のリスクへの対策も学び、各地域における安全・安心な社会形成のための応用力も養います。そして、都市・地域の空間を創造する新たな地域デザインとしての建築のあり方を追究します。

また、4年生・大学院生が所属する研究室での研究や設計の活動、企業や自治体でのインターンシップ、国内外への建築学外実習などのなかで、実際の地域課題に取り組むことで、建築の仕事に関わる異業種の人と連携する力を培い、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育てます。

建築都市デザイン学科の4年間



※2021年度のカリキュラムに基づいています。

専門科目

設計系：建築図学、建築設計基礎、建築設計製図、建築地域設計製図
構造系：建築構造力学、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造、構造設計論、木質構造
計画系：計画基礎、建築計画、都市計画、地区計画　意匠・歴史系：建築史、建築意匠
環境・設備系：環境工学、設備工学、地域環境エネルギー計画、建築環境実験、設備設計論
材料・構法系：建築構法、建築材料、建築生産、建築材料実験
再生・安全系：建築再生学、建築の安心安全と多様性、建築法規など

資格・免許

- 一級建築士・二級建築士
- 構造設計一級建築士
- 設備設計一級建築士
- 建築施工管理技士
- 建築基準適合判定資格

（注）卒業生が取得している主な資格・免許

授業クローズUP!

建築地域設計製図

［計画意匠コース］古賀 誉章 准教授、佐藤 栄治 准教授、大嶽 陽徳 助教、遠藤 康一 講師
［環境材料コース］杉山 央 教授、中島 史郎 教授、横尾 昇剛 教授、藤本 郷史 准教授、糸井川 高穂 助教、藤原 紀沙 助教
［構造コース］増田 浩志 教授、中野 達也 准教授

地域の現代的な課題に対して、建築とその周囲の地域を含めた設計提案を行います

建築設計の学習は、スケッチや図面模写などを通して、空間創造と図面表現の基礎について学ぶ「建築設計基礎」から始まります。2年次から3年前期にかけては、「建築設計製図Ⅰ～Ⅲ」において、住宅や公共建築などの様々な建築の設計方法を学びます。これらを経た3年後期の「建築地域設計製図」では、地域再生などの現代的な課題に対して、建築とその周囲の地域を含めた設計提案を行います。いつでも使えるデザインスタジオ（製図室）で、ひとり1台の製図机が与えられ、同級生や先輩後輩と切磋琢磨しながら学びます。地域のフィールドに赴き問題を発見するための観察力と、講義で得た知識をまとめる統合力、新たな空間を生み出す創造力、さらにそれを人々に伝える表現力が養われます。4年生では、自ら敷地やテーマを設定して設計提案を行う「卒業設計」へとつながってゆきます。

SEMINAR

4年生から始まるゼミ紹介

研究室名　建築再生安全研究室
担当授業名　建築再生学、木質構造
建築の安心安全と多様性、近現代建築史など

中島 史郎 教授
古賀 誉章 准教授
大嶽 陽徳 助教

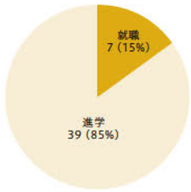
建築を取り巻く現代的な社会問題について、建築の様々な分野の力を結集して研究しています

近年、環境問題への懸念から建築の再生に関する関心が、自然災害への脅威や国内人口の高齢化などから建築の安全に対する関心が高まっています。当研究室では、こうした建築の再生や安全に関して、建築材料、建築構造、建築計画、環境工学、建築意匠などのさまざまな観点から研究を進めています。例えば、建築物の分別解体と解体材の再資源化に関する研究、新しい木質材料・構造に関する研究、高齢者やこどもの視点からみた生活環境全般の評価と改善に関する研究、空間や環境の認知に関する研究、および時間経過のなかでの建築意匠に関する研究などを行っています。

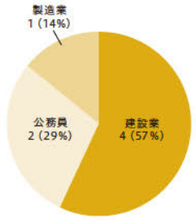
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（学部卒業生：46名／就職希望者：7名／就職者：7名）

● 進路状況（46名）

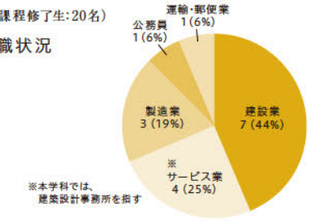


● 産業別就職状況（7名）



（大学院博士前期課程修了生：20名）

● 産業別就職状況（16名）



※本学科では、建築設計事務所を指す

● 主な就職先

大成建設、大林組、清水建設、鹿島建設、西松建設、梓設計、日建設計、槇総合計画事務所、積水ハウス、三井ホーム、旭化成ホームズ、大和ハウス工業、ＪＲ東日本、LIXIL、都庁、県庁、市役所

社会基盤デザイン学科

最先端の土木工学と建設技術を学び、安全で持続可能な社会基盤をデザインする

最先端の科学技術を融合して、安全で持続可能な社会基盤をデザインする人材を育成します。人々の暮らしを支える社会基盤を多様な視点からデザイン・建設するために、従来の土木工学分野の基礎である構造力学、水理学、土質力学、土木計画学、コンクリート工学等に加えて、コミュニティデザインや防災マネジメント、海外プロジェクトなど学際的な分野と連携する力を磨くことが特色です。さらに、地域の課題や建設技術の現場を体験することで、実践的な人間力を高めていきます。社会状況や地域住民の生活、自然環境を多角的に考慮して、地域に応じた技術開発や施策提案を行い、国内外で活躍できる建設技術者を養成します。本学科で学ぶことで、1）自然科学をもとに社会基盤デザインの専門知識を理解できる力　2）社会基盤整備のために多様な分野の技術を応用・開発できる力　3）世界の動向をつかみグローバルに技術を展開できる力　4）問題解決のために最適な社会基盤デザインを提案できる力　5）社会基盤の整備や施策を着実にやり遂げることができる力を身につけることができます。

社会基盤デザイン学科の4年間

専門科目

基礎系：微分積分学、線形代数学、数値解析入門、力学、応用力学序論、力学実験、測量学、測量学実習
構造系：構造力学Ⅰ・Ⅱ、構造工学Ⅰ・Ⅱ　水理系：水理学Ⅰ・Ⅱ、流域環境学Ⅰ・Ⅱ
土質系：土質力学Ⅰ・Ⅱ、土質基礎工学　計画系：土木計画学、都市計画、交通計画、地区計画
材料系：コンクリート工学Ⅰ・Ⅱ、鉄筋コンクリート工学
マネジメント系：国際開発マネジメントⅠ・Ⅱ、国際開発マネジメント演習、防災マネジメントⅠ・Ⅱ、防災マネジメント演習
総合系：土木工学実験、土木技術者倫理、社会基盤設計・演習Ａ・Ｂ、社会基盤インターンシップ

資格・免許

● 技術士・技術士補　● 測量士・測量士補
● 土木学会認定土木技術者
● 土木施工管理技士
● シビルコンサルティングマネジャー（RCCM）
● コンクリート診断士
● コンクリート主任技士・技士
（注）卒業生が取得している主な資格

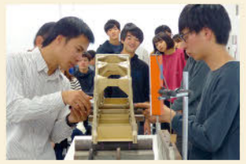
授業クローズUP!

土木工学実験

［構造分野］藤倉 修一 准教授、タイ ウィサル 助教
［材料分野］丸岡 正知 准教授　［水理分野］飯村 耕介 助教
［土質分野］海野 寿康 准教授

講義で学んだ知識を応用し、土木工学＝実学としての理解を深める

土木工学の力学系科目である「構造力学」、「コンクリート工学」、「水理学」、「土質力学」は２年生の講義で学び、理論を元にした基礎的な知識を身につけます。３年生で受講するこの「土木工学実験」では、現象を実際に目で見て、特性や応答を手で触れたり、機器を動かして測定したりしながら実現象と基礎的知識を絡めて、さらに理解を深めてもらうとともに、社会に出てからの実務でも通用する試験手法・計測手法・データ解析方法についても学びます。
また、実験はグループで協働して進めていきます。グループ内でのコミュニケーション・ディスカッション、議論した内容を客観的に整理してレポートにまとめる、スケジュール管理と作業の自主的な実施と効率化などができるようになることもこの授業の重要な目標としています。



SEMINAR

4年生から始まるゼミ紹介

研究室名　マネジメント研究室
担当授業名　国際開発マネジメントⅠ・Ⅱ・演習、防災マネジメントⅠ・Ⅱ・演習など

山岡 暁 教授
近藤 伸也 准教授
王 玲玲 助教

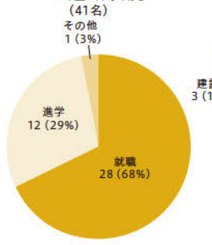
マネジメント研究室では、持続可能な開発目標（SDGs）の⑥水・衛生、⑦エネルギー、⑧成長・雇用、⑪都市、⑬気候変動に着目し、上水の配水システムや電力・エネルギーの開発可能性、地方企業の海外進出、防災マネジメントなどに関する研究を国内外で実施しています。本研究室の学生は、国内外でフィールド調査、アンケートやヒアリング調査、屋外実験など学外でも積極的に研究活動を行い、その調査結果を評価分析しています。インドネシアのパジャジャラン大学やトリサクティ大学と学生交流や学術交流を進めています。また、地域の防災教育や防災訓練の活動にも参加しています。毎週開催するゼミで、学生は研究成果を発表し、教員と学生で意見交換をします。

●卒業論文の例
・水道管内の堆積物および付着物が水質に及ぼす影響
・雪山登山引率者の状況判断力向上を目指した演習の提案
・インドネシア国・西ジャワ州農村部の水利用に関する実態と住民意識

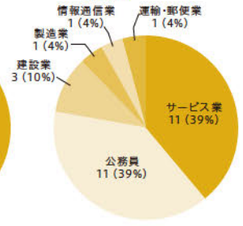
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（学部卒業生：41名／就職希望者：28名／就職者：28名）

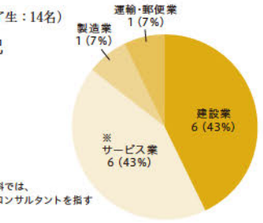
● 進路状況（41名）



● 産業別就職状況（28名）



（大学院博士前期課程修了生：14名）
● 産業別就職状況（14名）



※本学科では、建設コンサルタントを指す

● 主な就職先
鹿島建設、清水建設、大林組、五洋建設、前田建設工業、ピーエス三菱、横河ブリッジ、建設技術研究所、八千代エンジニヤリング、長大、いであ、応用地質、太平洋セメント、ＪＲ東日本、ＪＲ東海、ＮＥＸＣＯ東日本、首都高速道路、国土交通省、都庁、県庁、市役所

School of International Studies | 世界をつなぐ力を求めて

国際学部

● 国際学科

他者を知り、自己を見つめ、ともに生きる共生の社会を創る

みなさんの友人は、同じ価値観を持った人ばかりでしょうか。
視点を、地域社会や日本社会、そして世界へと広げてみるとどうなるでしょうか。
グローバル化が急速に進む日本でも、多様で多彩な文化的背景をもつ人たちが、
共に尊重しあいながら生きていくための地域社会づくりが重要な課題となっています。
国際学部では、「多文化共生」の視点から、「地域のグローバル化」に向き合い、
「地域からのグローバル化」を創造していくための学びのプログラムを組んでいます。
学生も教員もまさに多文化環境の中で、他者を知り自己を見つめ、ともに歩んでいきましょう。

国際学部ホームページ
http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/

入試情報 URL
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php

学部の教育・研究方針

国際・学際・比較の視点で専門的に学ぶ

国際学部では、学びの視点として「国際」「学際」「比較」の３つを重視しています。「学際」とは、１つのテーマに対して、複数の学問分野を関連づけながら学ぶ研究のあり方です。また、多文化共生のための体系的なカリキュラムを、専門性を重視して編成しています。1～２年次に多文化共生コア科目、多文化共生基礎科目、グローバル実践力基礎演習を学び、２年次から専門外国語とグローバル専門科目（アジア太平洋文化社会、欧米文化社会、日本文化社会、比較文化社会、言語・コミュニケーション、国際協力、国際共生の計７科目群）が始まります。３年次に専門演習・実験実習科目と卒業研究準備演習が開講され、４年次に卒業研究を行います。卒業に必要な125単位のうち10単位を卒業研究関連の単位と定めており、自らが定めた研究テーマに対して、より深い専門的な学びができる仕組みとなっています。

宇都宮大学ならではの教育や活動の特色

国際学部で学んだことを発展させていくための取り組み

1 多文化共生のための専門的知識を体系化

多文化共生に関わる社会科学と人文科学が一体化した体系的な教育カリキュラムを通して、国籍や民族などの異なる人々が互いの社会的・文化的違いを認めあい、地域の構成員として共に生きてゆくことを可能とする多文化共生を実現するために必要な知識や能力を身につけます。

2 国際キャリア教育プログラム

国際キャリア教育プログラムは国際分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、国際的な仕事の意義を学ぶことを目的とするプログラムです。仕事の模擬体験や演習を通じて国際社会の問題を学び、国際分野におけるキャリアにいかにつなげていくかについて考えます。

3 外国語臨地演習

外国語臨地演習は海外で行われる短期留学プログラムです。特に英語と中国語では、サザンクロス大学（オーストラリア）／国立台湾師範大学（台湾）における語学研修やホームステイのほか、文化や社会に触れ、体験できる企画が用意されています。

Real Voice

４年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT

国際学科４年
栃木県立宇都宮南高校 出身

アギーレ・ナルミ

宇都宮大学国際学部だから、見つけることができた新たな自分

国際学部では、日本にいながら異文化を身近に感じることができます。なぜなら、留学生はもちろん、様々な地域から集まってくる日本人学生に加え、日本で生まれ育った外国人など多様な背景を持った学生が集まる場であるからです。
外国人として日本で生まれ育った私は、宇都宮大学の国際学部に出会い、外国人であることのコンプレックスを、友人との関わりやHANDSプロジェクトの活動を通して、肯定できるようになりました。今の私があるのは、国際学部のおかげです。

卒業生からキミへ　MESSAGE from GRADUATES

2018年３月　国際文化学科 卒業
株式会社 開倫塾（日本語学校）勤務

桑田 梢

欲張って多くの選択肢に挑戦することができる学部です

多くのことに挑戦したい。でも大学４年間は短い。そんな悩みを「欲張ってもいいんじゃない？」という先生の言葉が解決してくれました。私は留学やボランティア、日本語教育プログラム、留学生チューター、英語の教員免許取得など多くの選択肢に挑戦することができました。特に、留学生チューターは留学生の生活や日本語のサポートだけでなく、コミュニケーションを取り、お互いの文化を共有する良い機会となり、それは仕事にも役立っています。

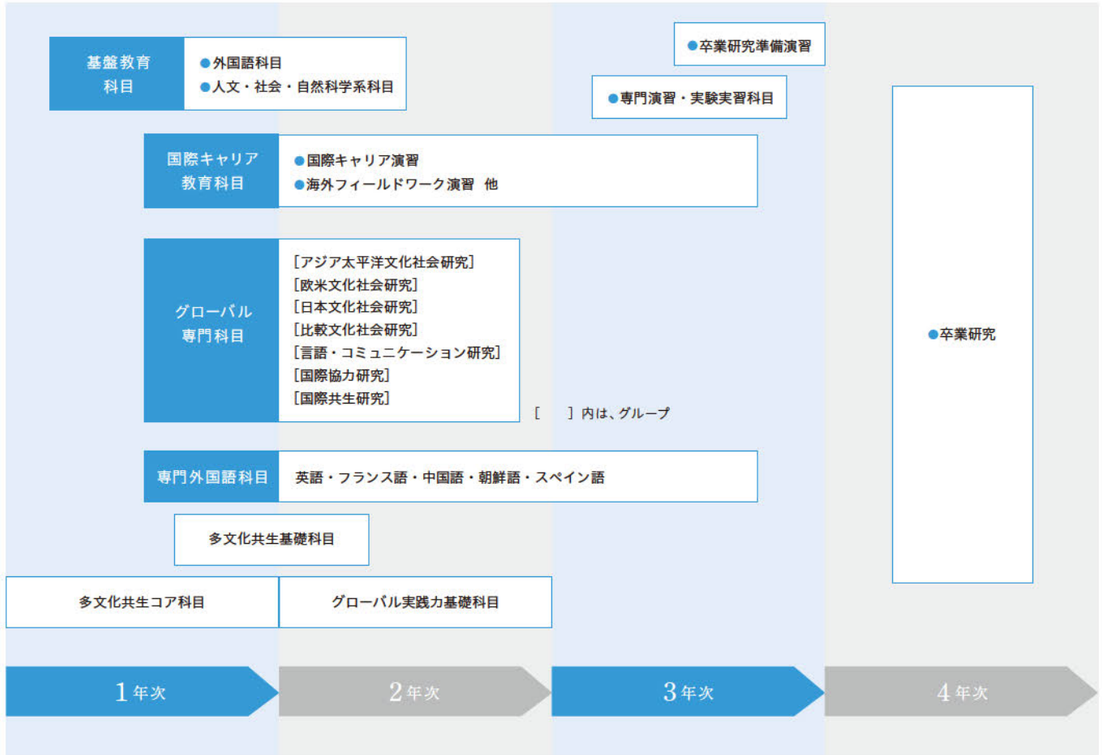
国際学科

専門的な知識と行動力を兼ね備えた「グローバルな実践力」を身に付ける

国際学部にはよき伝統があります。一般入試に加えて、帰国生、社会人、外国人生徒、編入学試験により全国各地から学生が集まり、外国人留学生も入試や交換留学により世界各国から来ています。海外留学する人も多く、国際学部の学生は実に多様です。1学年の学生90名に対して教員約30名の比率で少人数教育も行っています。教員の専門分野も多岐に亘ります。国際と学際、さらに比較の視点を重視し、多文化共生に関わる社会科学と人文科学が一体化した体系的なカリキュラムにより、自ら課題を設定して解決していく人材の育成を続けています。学生は、多文化共生のための専門科目の履修を通して幅広い視野から学問を探究できます。

また、国際キャリアプログラム、外国語臨地演習、外国語能力強化プログラム、各研究室の特色ある取り組みを通して各自の関心と能力を高めることができます。

国際学科の4年間



専門科目　民族誌学、韓国文化論、中国文化論、東南アジア論、中東地域研究、フランス文化論、イギリス文化論、アメリカ文化論、Latin American Politics and Society、日本文化論、日本語論、地域社会論、Comparative Culture Studies、表象文化論、Literature in Translation、言語学、Phonetics and Language Teaching/Learning、日本語教育方法論、日本語教育と国際協力、対人コミュニケーション論、情報ネットワーク概論、グローバルガバナンス論、移民と多文化教育、環境と国際協力、国際協力論、途上国経済発展論、グローバル教育論、人の国際移動と日本、多文化共生教育、国際関係論、国際法、国際政治論、国際経済論など

資格・免許
- 中学校教諭一種免許状（英語）
- 高等学校教諭一種免許状（英語）

授業クローズUP!

地球環境政策論｜高橋 若菜 教授

持続可能な発展に向けた取組みが国や地域により異なる要因を政治的観点から探求します

従前、環境問題への取組みは、経済発展の足かせになると考えられていました。しかし、70年代頃より先進国を中心に環境対策は急激に進展しました。その一方で、多くの途上国では環境悪化が進み、またグローバルな環境問題も出現し、問題は複雑化・深刻化しています。

増大する環境リスクに対して、国際社会はただ手をこまねいた訳ではありません。環境と経済の関係に関する認識枠組み（パラダイム）も変化してきており、2015年にはSDGsが国連総会で採択されました。持続可能な発展に向けてのさまざまな取組みが、先進国・途上国双方において進行しています。しかし、取組み内容や運用は、国・地域によっても大幅に異なっています。

例えば、公害対策では世界に先んじた日本は、再生可能エネルギー導入において遅れをとっています。環境税や排出量取引といった経済的手法は、欧米では80～90年代から広く受け入れられていますが、日本ではこの限りではありません。国家間での違いが生じる背景に、政治的要因がひかえています。授業では、各国・地域の差異を説明するための基本的な政治学上の概念を学んだ上で、循環型社会形成や再生可能エネルギーを事例に、複数事例をとりあげて比較対照し、理解を深めていきます。また、環境問題への取組みは、ジェンダー、政治文化、教育などとも深い関わりをもっています。議論やロールプレイ等を通じて、表現能力やコミュニケーションの向上をはかるとともに、問題を表面的ではなく多面的構造的に捉え、異文化理解・対処能力の向上をはかることを目指しています。

SEMINAR

3年生から始まるゼミ紹介

研究室名　出羽尚研究室
担当授業名　イギリス文化論、イギリス文化論演習、英語圏文化論 など

出羽 尚 准教授

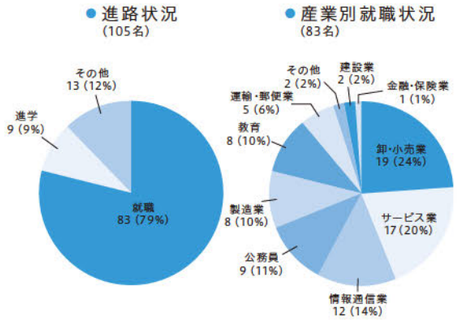
「イギリス」と「文化」をキーワードに、クリエイティブな研究を行います

「文化」に興味がある皆さん！音楽が好きな人、ファッションに興味がある人、お寺巡りにはまっている人、いますよね。自分が好きなことを研究できるって、とても素晴らしいことですし、是非その楽しみを味わってほしいと思います。でも、「文化」を研究することの意義は、自分の楽しみや満足、あるいは自己実現にあるのではありません。研究を通じて、文化の素晴らしさや価値を社会のより多くの人が共有できるようにすること、つまり、研究は世の中のために行うのです。

そのためには、多くの本を読み、ひたすら歩いて情報を集め、その情報をいかに魅力的でクリエイティブな作品（論文）へと作り上げるかが重要になります。自分の作品で世の中に貢献したい皆さん、一緒に研究しましょう。

卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：105名／就職希望者：83名／就職者：83名）



● 主な就職先　三井物産、ニトリ、日本通運、ヤマト運輸、NHK、毎日新聞社、楽天、ブルボン、YKK、クラシエ製薬、レオン自動機、野村證券、SMBC日興証券、栃木銀行、JR東日本、ANA、JAL、HIS、JTB、経済産業省、厚生労働省、総務省、県庁、市役所、教員

留学したい！

国際学部での学修と海外体験により、深い学びと理解を

国際学部では海外留学をサポートするために、半年～1年間の交換留学をはじめ2～4週間程度の語学研修（外国語臨地演習）、短期留学（語学留学）など各種留学制度を設けています。これらの制度や語学関連プログラムを利用し、毎年多くの学生がヨーロッパから東アジア、東南アジア、南アジア、北米、南米に至るまでの約43の大学に出かけ、語学を中心に様々な経験と学びの機会を得ています。（→関連記事 P18～20）

先輩の体験談　01

米国 ヴィンセンス大学 留学
国際学科 4 年
山本 絵理

海外の教育・文化を学び、自らの成長につなげる

大学入学時は留学をあまり考えていませんでしたが、アメリカ文化、日本語教育、英語教育等を学ぶうちに、海外留学に挑戦しようと考えるようになりました。同級生の多くが留学する国際学部の文化も後押ししました。留学先では、授業を受けるだけではなく、日本語の授業の手伝いなど色んなことに挑戦しました。帰国後は、留学先の授業で学んだ企業活動による人権侵害や学習者の学習意欲の向上方法に興味を持ったことから、将来を見据えた開発や教育に関心を持ち、ESD（持続可能な開発のための教育）やSDGs（持続可能な開発目標）を学ぶゼミに入りました。

先輩の体験談　02

台湾 国立政治大学 留学
国際学科 4 年
工藤 泉

海外での出会いを通して多様性を学ぶ

大学2年の夏に短期語学研修で台湾へ行き、初めて海外経験をしました。そこで、台湾人の温かさや食・建築などの文化に惹かれて留学を決意し、大学では中国語や文化論などの授業を受けて知識を深めました。3年の夏から1年間の交換留学が始まり、留学先では授業を受けるだけではなく、インターンシップにも挑戦しました。そこで台湾実社会の人たちと出会い、多くの考え方を学ぶことで、多様性を身に着けることができました。帰国後は中国・台湾研究のゼミに所属し、海外の先進的な考えを日本で生かすため、台湾リノベーション建築の研究をしたいと考えています。

Q&A

Q1. 留学した場合、4年間で卒業することは可能ですか？

可能です。3年後期に長期留学に出かける一部の学生を除く、ほとんどの学生は4年で卒業しています。極めて優秀な成績を収めた場合には4年未満で卒業できる「早期卒業」の制度もありますので、ぜひトライしてください。長期の交換留学や海外での体験を希望する場合も、ゼミの教員と相談すれば、4年間で卒業できます。

Q2. 何年生のときに留学をする人が多いですか？

国際学部としては、留学をより効果的なものにするために、卒業研究のゼミが決定する3年後期から半年～1年間留学し、帰国後ゼミに入り、1年半かけて卒業研究に取り組むという形を推奨しています。ただし、語学のレベルによっては2年後期から留学するケースもあり、その傾向は増えつつあります。

より語学を強化したい！

外国語能力強化プログラム

●学術英語能力強化プログラム

学術英語能力強化プログラムは、基盤教育の英語学習に基づき、専門教育において学術面に焦点を当て、英語の能力を強化することを目的とする外国語能力強化プログラムです。定員を20名、TOEICスコアの目標を800点とし、卒業後も持続できる自己管理的な英語学習能力を獲得します。

●初習外国語能力強化プログラム

国際学部では、英語の他にもう一つの言語（フランス語・中国語・朝鮮語・スペイン語のうち1つを選択）を必ず履修し、実用的なレベルにまで能力を向上させることが求められています。本プログラムは初習外国語運用能力のさらなる強化を図るだけではなく、卒業後も持続できる自己管理的な外国語学修能力の獲得を目指しています。

学部附属施設

附属多文化公共圏センター

多文化公共圏センターは、国際学部と国際化する地域を結ぶ拠点として、多文化公共圏の理論的・実証的研究、地域貢献・連携、国内外との国際交流ネットワークの促進など国際学部の新たな学術フロンティアを開拓する組織的な教育・研究活動を推進することを目的として、外国人児童生徒支援事業（HANDS）、グローバル教育、日光プロジェクト、学生国際連携事業などを行っています。

学生国際連携事業

グローバルな課題について主にシンポジウムという形で議論する事業です。学生が主体となり、宇都宮市や栃木県等、大学周辺の市民社会を巻き込むことで、大学が持つ学術・文化発信機能を活用し、同時に地域の学術・情報のハブとしての大学の役割を地域社会に広く浸透させることを目指しています。

地域連携事業

日光プロジェクトでは、日光市国際交流協会と共催で、国際交流都市日光の再発見をテーマにした事業を継続的に行っています。フィールドワークとシンポジウムを通して、主に、外国人学生の斬新な視点やアイデアを生かしたまちづくりに関する積極的な提言を目指します。

グローバル教育

グローバルな課題を取り上げ、実行委員の学生たちが数か月の準備の末にワークショップを行うとともに、課題解決に向けて取り組んでいる国内外の市民組織関係者を招き、実践的な教育を行うものです。様々な課題解決のために国際協力・地域レベルで大学生が出来ることを、グローバル教育の視点から追求しています。

学生による地域貢献

外国人児童生徒の日頃の学習に対する支援と高校進学を目指す特別な教室での支援を行っています。外国人児童生徒在籍校での個別支援、真岡市AMAUTAでの夏季休暇中の集団支援、小山学びの教室での支援など、多様な活動が行われています。外国人学生が母語を生かした学習支援にも取り組んでいます。

HANDS プロジェクト

日本語を母語としない外国人児童生徒への教育支援事業です。外国人児童生徒の高校進学支援を中心的な課題に置いています。県内9市1町との連携に基づく外国人児童生徒教育推進協議会で全県的な視点から情報・意見交換を進めながら、多言語による高校進学ガイダンス、学生ボランティア派遣、外国人生徒の進路状況調査等の幅広い活動や研究を実施しています。グローカル・イシュー研究演習Ⅰ・Ⅱの受講生やHANDS Jrの学生が多く参加しています。

Real Voice

先輩の体験談　国際学科 2 年　齊田 雛

「誰かのために動きたい」。海外生活で助けてもらった分、次は私が誰かの手助けを

私はHANDSの活動で、サマースクールや進学ガイダンスの補助、母国語の維持のために真岡市のスペイン語教室「AMAUTA」に通う外国人児童の勉強のサポート、文化交流などを行っています。文化交流では、お互いの理解が深められる機会となり、言葉以外で交流する楽しさも体験することができます。勉強面での支援では、受験を控えている生徒もいるので、その責任も重くなります。私たちの支援が外国人生徒の学習の基礎となり、進学に繋がっていきます。教えるプロではないので毎回試行錯誤の連続ですが、今回、支援した生徒は、半年間という短期間で日本語面接と小論文対策を行い、高校合格に導くことが出来ました。教える難しさがあるからこそ、彼女の合格は自分のことのように嬉しく思えました。私はこれから、フランスへの留学を予定しています。私自身が外国人という立場を経験するからこそ、これまで以上に、相手を理解し相手の立場を尊重して活動できるようになれると考えています。

左から、一緒に活動を行う北川 瑛さん（国際学科 2 年）、フィジー出身の生徒、齊田さん

Cooperative Faculty of Education | より高度な教員養成へ

共同教育学部

● 学校教育教員養成課程

より高度な教員養成教育へ
新たな環境で志を育もう

教育とは、一人ひとりの能力を最大限に引き出す営みであるとともに、
社会の維持発展に無くてはならない活動です。
現代社会は、高度に科学技術や情報網が発展し、グローバル化も進み、
その複雑性を増していて、教育が果たす役割はとても大きくなっていると言えるでしょう。
宇都宮大学では、2020年度から隣県の群馬大学との共同教育学部を開設し、
これまで以上に多様な専門分野が学べる環境が整いました。
共に議論し学びを高め合うフィールドで、新しい「知」の可能性を拓きましょう。

共同教育学部ホームページ
http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/

入試情報 URL
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php

学部の教育・研究方針

2020年、全国初 共同教育学部がスタート

教員の資質能力向上への高まる要請に応えるため、群馬大学との「共同教育学部」を新設しました。今まで地域で培ってきた実績をもとに、新学習指導要領を見据えたカリキュラムの大幅な改革を進め、より高度な教員養成教育を実現します。
新学部では、双方の充実したスタッフで実施する幅広く深い内容の授業を、最新の双方向遠隔メディアシステムを用いて受けることが可能になります。メディア授業等を通して、大学や専攻の枠を越えた学生間の交流が促進され、コミュニケーション能力を伸ばすことができます。また、学校現場で求められる教育課題（SDGs、Society 5.0 等）へ対応するため、語学学習環境や Native 教員の指導などの英語教育の充実、ICT／プログラミング教育の充実、持続可能な開発のための教育（ESD）に向けた授業科目の新設、特別支援学校教諭の養成範囲を拡大する等、より高度な教員養成教育の実現を目指します。

宇都宮大学ならではの教育や活動の特色

1 分野混合クラスでの担任指導体制

共同教育学部では分野混合のクラス編成を行います。各クラスには指導教員が付き、4年間を通して学生の指導に当たります。クラスごとに授業を受けたり、クラス独自の課外活動を行ったりしています。異なる専門性を目指す学生が、様々な学修・活動を通して互いに切磋琢磨しながら人間関係を築く中で、これからの時代に求められる協働力やチーム対応力などを培います。

2 充実した教育実践カリキュラム

4 年間を通じて教員としての資質を身に付けるために、各学年に教育実践科目を配置しています。まず 1 年次に教職に対する動機付けを行い、それを踏まえて 2 年次には比較的長期に渡って教育現場を体験し、3-4 年次に本格的な教育実習を行います。このように、教職に対する理解を段階的に深められるよう工夫されたカリキュラムを通して、未来の教師を育てます。

3 きめ細やかな教員就職支援

学部独自の就職支援室を設置しており、教職経験のある常駐の支援員がきめ細やかなサポートを行っています。また、共同教育学部同窓会や就職支援委員会が中心になって、教員採用試験対策セミナーを開催しています。一次試験（主に筆記試験）対策を初めとして、論作文や集団討論、個人面接等の二次試験対策も充実させており、採用試験合格を強力にサポートしています。

Real Voice

3年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT

学校教育教員養成課程保健体育分野
栃木県立真岡高等学校 出身

山本 和宏

教員を志す仲間と共に、未来を見据えた大学生活

将来は栃木県で小学校の教員になりたいと思い宇大の教育学部を志しました。教育学部では、教育についての基礎知識や一般教養などを幅広く学習し理解を深めています。また、2 年生からは国語分野、数学分野など各分野に分かれ、自分の興味のある分野についてより専門的で深い知識を身に付けていきます。教育学部には同じ教員を目指す仲間がたくさんいます。仲間と共に知識を深めていく中で未来の自分の姿を想像しながら有意義な大学生活を送ってください。

卒業生からキミへ　MESSAGE from GRADUATES

2010年3月　学校教育教員養成課程
学校教育専攻 卒業
栃木県鹿沼市立板荷小学校 勤務

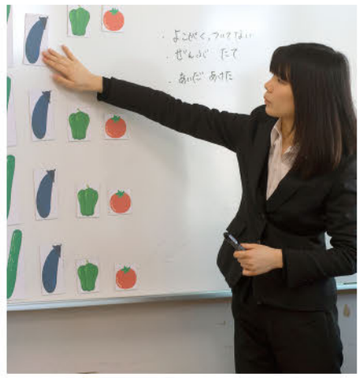
荒井 愛美

さまざまなことに挑戦し、仕事に生かそう

大学では、主に教育心理学や幼児教育について学びました。保育園や附属小、公立中での実習の経験は今でもよく覚えています。
学校で仕事をしていて思うのは、「どんな経験も力になる」ということです。教員の仕事は多岐に渡ります。家族との思い出、友達とのけんか、部活動、受験勉強、アルバイトやボランティアの経験など、そのどれもが自分を豊かにしているはずです。
皆さんぜひ、大学でさまざまなことに挑戦し、未来を担う子どもたちを一緒に育てていきましょう。

Cooperative Faculty of Education

学校教育教員養成課程



学び合いのなかから教師力・人間力を確かな協働力のある教員を養成します

本課程では、１年次より、専門分野によらない分野混合クラスを編成し、各クラスの学修指導教員が１年から４年まで一貫して担任指導にあたっています。分野混合クラスを導入することで、異なる専門性をめざす学生が互いに切磋琢磨しながら人間関係を築く中で協働力やチーム対応力などの人間力を培います。また、教員としての資質・能力を獲得し高めてゆくとともに、専門分野における教科や教科指導法などについての理論的な学習とそれらを行動的な知性として身に付ける教育実践科目を通して、確かな授業力と協働力、総合的人間力のある意欲の高い教員、子どもたちに寄り添いながら次の時代を切り拓く子どもの育成にあたることができる教員の育成を目指しています。

学校教育教員養成課程の４年間

基盤教育科目
幅広く深い教養と豊かな人間性を培う
現代社会で活躍する人のリテラシーを培う
●リテラシー科目「英語」「スポーツと健康」「データサイエンス入門」「SDGs入門」など
●教養科目　●基盤キャリア教育科目　●初期導入科目「新入生セミナー」など

教育基礎科目
教育・教職の基礎理論および発達段階や個に応じた教育の方法を学ぶ　「教育原論」「教職論」「教育の方法の実践と事例研究」「発達と教育の心理学」「特別支援教育基礎論」など

小学校教科及び指導法
学校教育や教職についての基礎理論・知識を学ぶ　●教科「小学校国語」「小学校社会」「算数」「小学校理科」「小学校英語」「小学校音楽Ａ」など
●指導法「生活科指導法」「初等家庭科指導法」「図画工作科指導法」「初等体育科指導法」など

教育展開科目
専門分野の基礎知識とその応用を学ぶ　●中学校教科　●中学校指導法　●特別支援教育科目
●分野専門科目　●学部選択科目

教職特別演習Ⅰ　群馬大との合同合宿授業
教職特別演習Ⅱ　群馬大との合同合宿授業
教員採用試験

1年次 → 2年次 → 3年次 → 4年次

教育実践科目　教育現場の実際を理解し、教師力の基礎を身につける

教科・指導法
児童・生徒理解
学習指導案
児童・生徒指導
事前指導１・２・３
●教職ボランティア入門の概要
●学校における心構え
●実技指導
事前指導４・５
●実習Ⅰ・Ⅱの概要
●授業実施に向けての具体的な指導
事後指導１・２
●実習Ⅰの振り返りと教採への動機付け

教職ボランティア入門　教育現場における活動体験
教育実習Ⅰ／Ⅱ　附属学校園における教育実践
教育実習Ⅲ　協力校における教育実践
特別支援学校教育実習　※特別支援学校免許取得者のみ
教職実践演習　共同教育学部の学びの集大成（講話、模擬授業、振り返り）

専門科目
教育基礎科目群：教育原論、教育の社会的背景と制度原理、心身の発達と学習過程、特別支援教育基礎論、教育課程論、道徳教育授業論、総合的な学習の時間の指導法、教育の方法・技術、生徒指導・進路指導、小学校教科指定科目、小学校教科指導法等
教育展開科目群：中学校教科指定科目、中学校教科指導法、発達教育、ものづくり教育、総合学習の指導、野外教育、健康教育、卒業研究・卒業論文・卒業制作等、
特別支援教科科目、教育実践科目群：教職ボランティア入門、教育実習、教職実践演習等

資格・免許
● 小学校教諭一種・二種
● 中学校教諭一種・二種
● 高等学校教諭一種
● 幼稚園教諭一種・二種
● 特別支援学校教諭一種・二種
● 社会福祉主事任用資格

共同教育学部　入試について

(1) 一般選抜（前期日程）について
●学校教育教員養成課程は４つの系に分かれており、(系の説明→P50) ４つの系ごとの大枠入試となります。出願時に指定した系を受験します。
●出願時に希望する分野を指定し、合格発表は分野を決定して行います。
●教科の筆記試験は課さず、小論文と面接及び実技検査（音楽・美術・保健体育のみ）を実施します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅰ(A)について
●４系13分野で選抜します。

(3) 学校推薦型選抜Ⅰ(B)について
●すべての系・分野での一括選抜を行います。
●入学時に希望する分野を指定し、決定します。

※変更点については、宇都宮大学ホームページから、令和４(2022)年度宇都宮大学入学者選抜方法の変更点について（予告・公表）を参照のこと。

系	分野	一般選抜（前期日程）				学校推薦型選抜Ⅰ(A)				学校推薦型選抜Ⅰ(B)	
		大学入学共通テスト	個別学力検査等								
			面接	小論文	実技検査	面接	小論文	実技検査	その他	面接	小論文
教育人間科学系	教育	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○
	教育心理					○	×	×	×		
	特別支援教育					○	○	×	×		
人文社会系	国語	○	○	○	×	○	○	×	×		
	社会					○	○	×	×		
	英語					○	×	×	×		
自然科学系	数学	○	○	○	×	○	○	×	×		
	理科					○	○	×	×		
	技術					○	○	×	×		
芸術・生活・健康系	音楽	○	○	×	○	○	×	○	×		
	美術			×	○	○	×	○	○作品審査		
	保健体育			×	○	○	○	○	×		
	家政			○	×	○	○	○	×		

※一般選抜（後期日程）は実施しません。

附属学校園

附属学校園（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校）で行う教育実習では、栃木県内各地から集まった指導力の高い先生方が、教育実習生の保育・授業実践を全力でサポートします。附属学校園の先生方による保育・授業を参観する機会も多く設けられ、子どもとの関わり方や具体的な指導方法について、実際の保育・授業を通して学ぶことができます。

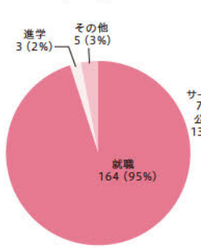
学校ボランティア

学生が学校現場等において、授業や放課後の学習支援、学校行事の支援、特別な支援を必要とする子どもへの対応などの学校等支援活動（ボランティア）を行っています。学校現場で継続的に体験的な活動を行うことで、子どもの実態や教員の職務について理解を深めることができ、教員としての実践的指導力の基礎を培うことができます。

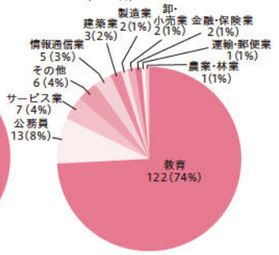
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況（教育学部 学校教育教員養成課程の実績）
（卒業生：172名／就職希望者：165名／就職者：164名）

● 進路状況（172名）



● 産業別就職状況（164名）



● 主な就職先　教員（栃木県、埼玉県、茨城県、群馬県、千葉県、福島県など）、県庁、市役所

教育人間科学系

教育の根本や子どもの発達の支援について学ぶ

2020年度から入学時より教育、教育心理、特別支援教育の３分野に分かれて学びを深める新教育体制をとっています。教育分野は教育学を、教育心理分野は教育心理学を基盤として教育のあり方を探求します。加えて、中学校教科について学生の希望に応じ、どれか一つの教科の教員免許状を取得します。さらに小学校の教員免許状も取得可能です。特別支援教育分野は、特別支援学校および小・中学校において特別支援教育に当たる実践力のある教員を養成するため、障害や困難を抱える児童・生徒の発達や教育についてより深く学ぶことができます。これまで特別支援教育分野では小学校の教員免許状の取得および特別支援学校３領域（知的障害・肢体不自由・病弱）の免許状の取得を基盤とした学びでしたが、2020年度より、視覚障害、聴覚障害の領域を加えた５領域の免許状の取得も可能になりました。希望に応じて中学校、高等学校の教員免許状も取得可能です。

授業クローズUP!

教育心理学研究法 ｜ 学校教育分野・教育心理学領域教員 全員

教育心理学に関する基本的な研究法を学び、卒業論文等各種研究に活かします

教育心理学においては、卒業論文で実証的な研究を行うことを主としており、その基本的研究スキルを学ぶために３年次必修で開講している科目です。具体的には「面接法」「実験法」「知能検査・発達検査」「観察法」「質問紙法」「パーソナリティ検査法」といったものを行います。計画を立て、実施し、分析するという手続きを踏むので、理系の研究のように時間や手間がかかります。これをしっかり学ぶことによって安易な観念的結論づけや先入観的主張ではない、客観的分析スタイルを身につけていきます。

SEMINAR 3年生から始まるゼミ紹介

研究室名　石川 由美子研究室
担当授業名　障害児心理学演習ＡⅠ&Ⅱ・特別支援教育分野

石川 由美子 准教授

対象としての主体を尊重する学びへ（相互主体性という関係を問う学問）

障害児心理学演習ＡⅠは、ゼミ生が２年間過ごした大学で、もっとも印象に残っている場所３ヶ所を写真に収めることから始まります。写真投影法を利用し得られた写真についてゼミ生同士が対話し、その後、対話のプロトコルを作成します。特別支援教育は、互いに関わる者同士の主体性を尊重する研究と支援が求められる学問です。そのための導入にまずこのプロトコル分析を自らの体験を通して学んでいます。この相互に主体的であるという学びを柱に、Ⅱではそれぞれの興味関心に基づき、障害児心理学領域の研究文献の講読をゼミ生と教員でワイワイと行っています。

人文社会系

ことばと文化から教育へ深く考えた経験が専門への自信になります

人文社会系は、国語分野、社会分野、英語分野の３分野から構成され、教科教育と専門学問の方法を身につけた、専門性の高い学校教員を育てることを目的としています。１年生では人文社会の領域を広く学び、２年生から各分野の専門科目を本格的に履修することで、段階的に学習を深めます。３年生以降はゼミに所属して専門学問の方法を身につけ、本格的な教育実習を行い、卒業論文を作成します。国語分野では、日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育の専門科目を幅広く履修します。学年とゼミの枠を超えて、教員と学生が交流する行事も充実しています。社会分野では、社会科を支える考え方を社会科教育学や地歴・公民の各学問分野を通して知り、それを実際の学習指導に具体化する方法について学生自らが学びます。英語分野では、英語教育・英語文学・英語学・英語圏文化などを学びます。少人数のクラスが大半で、落ち着いた雰囲気の中、学習に励むことができます。

授業クローズUP!

中等英語科指導法Ａ ｜ 山野 有紀 教授

すべての学習者にとって意義ある英語教育の実現のために「学び続ける教師」への第一歩を踏み出します

今、日本の英語教育は大きな変革の時期を迎えています。小学校中学年からの外国語教育の開始と高学年での教科化、それにともなう中学校・高等学校における指導内容の変化。それらをふまえた小中高連携による「主体的・対話的で深い学び」を通した外国語でのコミュニケーション能力の育成をどのように実践していくか。本授業では、その教育実現のために、英語教育の基礎について理論と実践を学びます。特に、英語教員として必要な知識と指導力の基礎の形成を目的としています。実際に授業の中でもActive learning・Cooperative learning・Reflective learningを行い、主体的・協同的で省察に基づく深い学びを重視し、すべての学習者にとって意義ある英語教育の実現のために「学び続ける教師」への第一歩を踏み出します。

SEMINAR 3年生から始まるゼミ紹介

研究室名　社会学研究室
担当授業名　社会学概論／教育社会学／社会調査実習　など

小原 一馬 准教授

社会科を社会の視点から読み解き、教育の問題も社会の視点から解決をはかります

地歴／公民で学ぶ様々な事柄の原因がその社会にあるんじゃないかと思ったら、社会学の出番です。「江戸はなぜ当時、世界最大の都市になったのか」「なぜ日本は他の先進国より少子化が進んでいるのか」等の問いを、社会の仕組みを通じて解き明かします（ちなみに後者の答えは女性の社会進出ではありません）。同時にこちらの研究室では「スクールカースト」や「学校外の子どもの居場所」など、教育に関する問題も社会の視点から解決を目指しています。「スクールカーストに教師はどう対応したらよいのか」も、クラス内外の社会システムから考えます。

自然科学系

数学や理科、技術を学ぶ楽しさを知ったあなたを待っています

自然科学系は、数学・理科・技術の３つの分野から構成されています。宇都宮大学共同教育学部では以前から、理系分野で中核的役割を担える教員の養成に力を入れています。特に小学校において、理数系科目を専門に学んだ教員の割合は小さく、工夫して計算する楽しさを伝える算数指導法や、安全で楽しく学べる実験指導法を身に付けた教員が求められています。もちろん、中学校数学・理科・技術、高等学校数学・理科・工業の教員としても活躍の場は数多くあります。このような観点から、自然科学系のカリキュラムは、理系科目における得意分野の創生とその強化を目指し、合わせて理系科目の楽しさを実感できる指導法を無理なく習得できる構成になっています。理系に強い教員は、将来、我が国の科学技術や産業の発展を支える人材育成という重要な使命を持った職業です。自然科学系では、数学や理科、技術を学ぶ楽しさを知っているあなたを待っています。

授業クローズUP!

代数学Ⅱ ｜ 鈴木 拓 助教

身近に潜む代数学を解説しつつ、数学教育の背景にある理論について講義しています

あみだくじが公平だと信じている人は多いと思いますが、実は横線の本数が偶数か奇数かによって、異なった性質を持っています。また、スライドパズルやルービックキューブを無作為にバラバラにすると、どんなに頑張っても完成できない配置が生じることがあります。これらの事象には、「置換」と呼ばれる代数学の理論が深く関わっています。トランプを何回も繰り返しシャッフルすると元の状態に戻ることがありますが、「合同式」と呼ばれる代数学の理論によって、それを説明することができます。本授業では、そのような身近に潜む代数学を解説しつつ、数学教育の背景にある理論について講義しています。高度な専門性を持って活躍できる数学教員の養成を目指しています。

SEMINAR

３年生から始まるゼミ紹介

研究室名　理科教育学・出口 明子研究室
担当授業名　初等理科指導法、生活科指導法、理科教材実験法Ｂ　など

出口 明子 准教授

子どもたちの「考える」や「わかる」がたくさん起こる科学の学びについて研究しています

小中学校での理科授業を中心とした子どもの科学の学びについて研究しています。特にこれからの時代に求められるような、子どもたちが主体的に考えたり、他者と関わったりしながら科学についてより深く理解することの支援に取り組んでいます。その中で、最近ではタブレット PC などの ICT を活用したゲーム教材の開発なども行っています。また、小中学校の現職教員との共同研究も数多く実践しています。そのためゼミ生のみなさんは、学校現場に出かける機会が増え、教育・学習の理論と実践の往還をより身近に感じることができているようです。

芸術・生活・健康系

各分野に多様な教科専門科目を開講 知識・理解を深め、専門的技能を習得

芸術・生活・健康系は、音楽・美術・保健体育・家政の４分野があり、小学校教員としての資質・能力の獲得、中学校における各教科の指導基盤となる学問・技能の学修・研究を行います。各分野に多様な教科専門科目が開講されており、知識・理解を深めるとともに実技指導に必要な技能を習得します。［音楽分野］音楽を専門とする教育者としての幅広い知識・教養・能力を身に付けることを理念とし、全ての領域の科目を学びます。［美術分野］美術全般の基礎的素養と美術教育の専門能力の育成を目指し、実技と理論の体系的教育を行います。［保健体育分野］学校教育における保健体育やスポーツ教育に携わる優秀な人材の育成を目指し、時勢に応じた理論と実践の体系的な教育を行います。［家政分野］生活科学に関する基礎的素養と家庭科教育の専門的力量の育成を目指し、生活者の視点でものごとを捉えるという観点から多面的な教育を行います。

授業クローズUP!

衣生活環境実験 ｜ 佐々木 和也 教授

家庭科での実践的力量を身に付ける

家庭科は共生時代の担い手を育む場である「家庭生活」を具体的な実践を通して、その質を高めるための素養を身につける総合科目です。本授業では、衣生活に関する講義である衣生活論や被服素材論などで得た知識をベースにして、繊維から糸・布・製品への「ものづくり」のプロセスを実験的に再現しながら、家庭科の授業で実験的要素を取り入れる実践力を身に付けることを目的としています。具体的には、地域の文化である真岡木綿を題材に、綿の栽培・収穫から綿繊維の特徴把握、繊維集合体である糸・布への加工実習、染色実験等を行っています。私たちに最も身近で欠かすことができない衣服を科学的に理解することから、衣服と生活、環境との関連などに関心をもってもらいたいと考えています。

SEMINAR

３年生から始まるゼミ紹介

研究室名　高島 章悟研究室
担当授業名　音楽研究セミナーⅠ、Ⅱ、合奏Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、管打合奏演習、室内楽(一)、指揮法、器楽Ｂ、ソルフェージュ、小学校音楽Ａ

高島 章悟 准教授

器楽の実技を軸に、レパートリーの拡充、他者との共存・共有・連携を探究しています

管・弦・打楽器は基本的に単音楽器であるため、演奏は他者との共有が必要となります。学生が音楽教員として自立するためには独奏曲の演奏研究も重要ですが、アンサンブルを通じた他者との共存・共有体験は音楽教育の上で不可欠な要素であると考えています。研究室のゼミでは、合奏形態（オーケストラ、吹奏楽等）における楽器の役割を確認し、それらがもたらす効果について探究しています。この学びが、教育現場においての役割や他者との連携、コミュニケーションの必要性への理解につながるよう、指導しています。

School of Engineering | 22世紀をDesignせよ！

工学部

●基盤工学科

アイデアを夢のままで終わらせない、未来をデザインする確かな工学の力

21世紀に生きるわたしたちが、科学技術の力で作り出すのは、22世紀の姿です。
物質、情報、エネルギー、そして人間、社会。
これらをつなげて新しい価値を生み出すデザインの力と、
あらゆる科学技術の基盤である光工学の学び。
変化し続ける社会の潮流を見据えて、わたしたちはこの２つに重きをおいています。
ひとつのことを極めつつも幅広い知識を持ち、さまざまな知見と技術をつなぐ力をもつ人へ。
ともに切磋琢磨しながら、22世紀のデザインを描いていきましょう。

工学部ホームページ
https://www.eng.utsunomiya-u.ac.jp/

入試情報 URL
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php

学部の教育・研究方針

イノベーションで社会に貢献する人材を育成

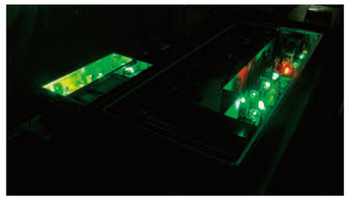
工学部の使命は、専門的知識と、統合した工学知と、3C精神を基盤としてイノベーションを実現し、グローバル化した社会の発展に貢献するプロフェッショナルを育成することです。また、そのための質の高い研究を推進することを通して、社会からの信頼と負託に応えることを理念としています。
工学部では、工学分野の基礎学力を重視しながら、データサイエンス教育、特色である光工学教育、デザイン力（問題発見・解決力）教育、分野横断的教育を組み合わせ、専門的視点だけではなく、関連分野を複合的に捉える俯瞰的視点や異分野コミュニケーション能力をあわせもつ人材を養成します。また、基礎科学から最先端にわたる幅広い分野の研究を通して、実践的なデザイン力を育成します。

宇都宮大学ならではの教育や活動の特色

光工学研究の拠点 ＋ 人間中心のデザイン ＋ 先端ロボット研究

1 光工学

光工学は、情報通信・映像・自動車・医療・食品など、多様な産業で必要な学問分野です。特に光産業を重点振興産業とする栃木県では、光工学の知識を有する人材への期待は非常に高まっています。宇都宮大学工学部では、オプティクス教育研究センターと連携して、光に関する入門から最先端技術まで体系的な科目群を用意し、世界で戦える志高い光学技術者の育成を行っています。



2 人間と感性の工学

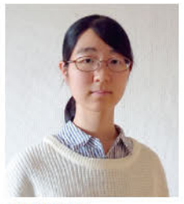
工学の対象となる人間を総合的に理解するために感性や生命の教育・研究を行っています。教育では、『感性科学入門』や『生命人間科学』の講義で、工学の視点で見えてくる人間像や、技術と人間の関係を教授します。研究では、医療・文化等の分野融合による新しい工学の創造に挑戦すると共に、地域連携による伝統工芸品の魅力発信システムの開発にも取り組んでいます。

3 工農連携

「ロボティクス・工農技術研究所」を2018年６月に設置。国のプロジェクトである地域科学技術実証拠点整備事業「先進的ロボット技術による地域潜在力イノベーション推進拠点」として、光センシングやネットワーク技術を駆使した農業ロボットシステム、味覚・食感評価などによって、工農連携による地域イノベーションを牽引します。

Real Voice

４年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT



応用化学科４年
埼玉県 星野高等学校 出身

内田 安美

理由と共に化学反応を学べることの面白さ

小学生の頃から理科が好きでしたが、高校の授業で、身近にある材料が化学反応を利用して作られていることを知ると、理科の中でも特に化学について詳しく学びたいと思うようになり、応用化学科に入学しました。大学では、化学反応と共にその反応が起こる理由も学ぶことができ、それを応用して他の反応が起こるかどうかを考察することもできるので、面白く感じています。また、学生実験は、座学で学んだことを目で確かめられるので、楽しいです。難しい内容もありますが、友達と話し合ったり、先生に質問したりして理解できると、達成感を感じます。

卒業生からキミへ　MESSAGE from GRADUATES

2011年３月 電気電子工学科 卒業
2013年３月 工学研究科 博士前期課程 電気電子システム工学専攻 修了
マニー株式会社 開発本部 勤務

田澤 祥亨

世界で戦える製品の開発の源は、宇都宮大学でつちかった知識と経験

医療機器メーカーで開発の仕事をしています。設計・製作にとどまらず、医学系の学会にも参加して最新の医療技術を学び、新しい製品を生み出しています。大学では電気電子工学を学び、福祉工学を研究テーマにしました。私が医療機器の開発の仕事を選んだのは、研究活動を通して、工学的観点から医療や障害を持つ方の支援に貢献できることを実感したからです。専門知識を学ぶだけでなく科学的な方法を身に付けられたことが、今の仕事の土台になっていることを実感しています。

基盤工学科

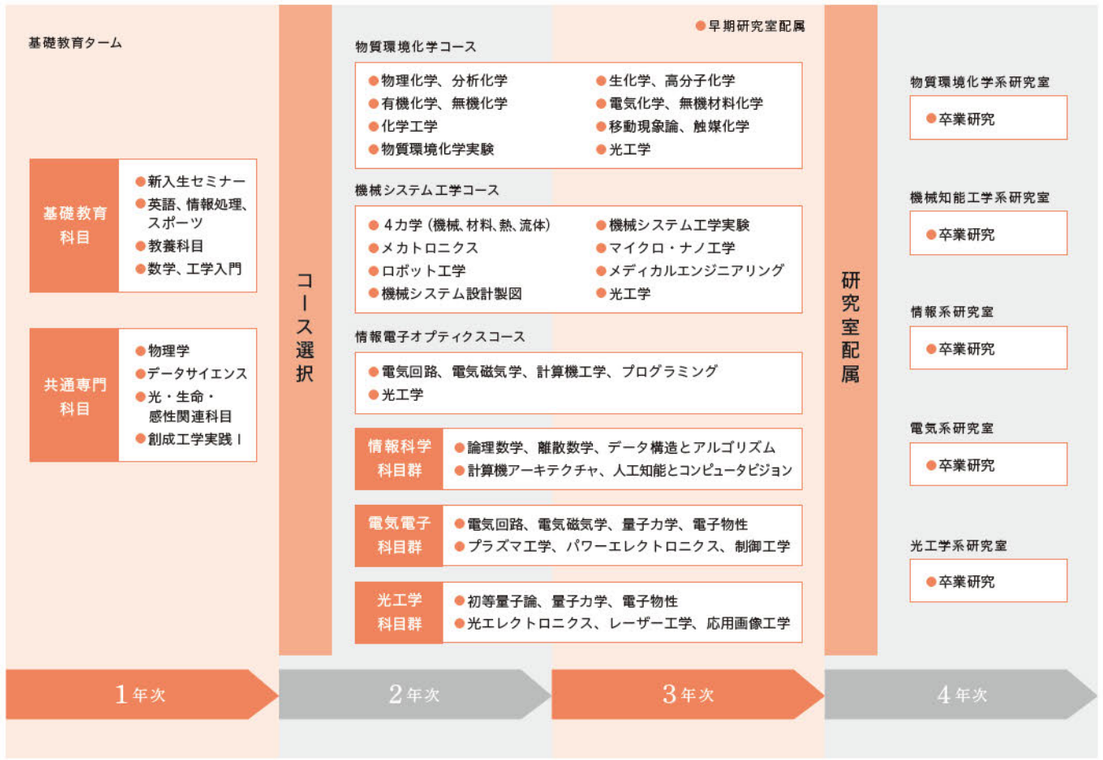
基盤工学科のキーワードは、Designと光

2019年度に工学部はこれまでの全4学科を統合し、工学部基盤工学科として新しく生まれ変わりました。その狙いは、「22世紀をデザインする」人材を育成すること。グローバル社会と、そこで展開する産業界の要請です。

すでにAI（人工知能）やゲノム編集が現実化し、私たちの社会は急速に変化しています。2020年代にはレベル3以上の自動運転や、火星への有人探査が計画されています。「人生100年」の時代になり、産業構造も社会構造も働き方も変わり始めています。進歩の方向性やスピードの予測が難しい中で、社会は専門性だけでなく、関連する分野を複合的に捉える力や、異分野コミュニケーション能力をあわせもつ人材を求めています。たとえば、スマートフォンひとつとっても、その開発は一つの専門分野だけでは達成できません。アプリや電子回路ばかりでなく、タッチパネルなどの素材、高精度で生産する技術、人間性を考慮した設計や、魅力的なサービスの開発までがトータルでパッケージされています。新技術・新製品を産み出す「工学」には、それぞれの分野の専門性とともに、経済・社会・芸術をも含む広い分野との連携が不可欠なのです。

宇都宮大学工学部は機械・電気電子・化学・情報の各分野を統合し、未来の社会に新しい価値やサービスを生み出す人材を育成するために、右ページで紹介するユニークなカリキュラムを設けました。

基盤工学科の4年間

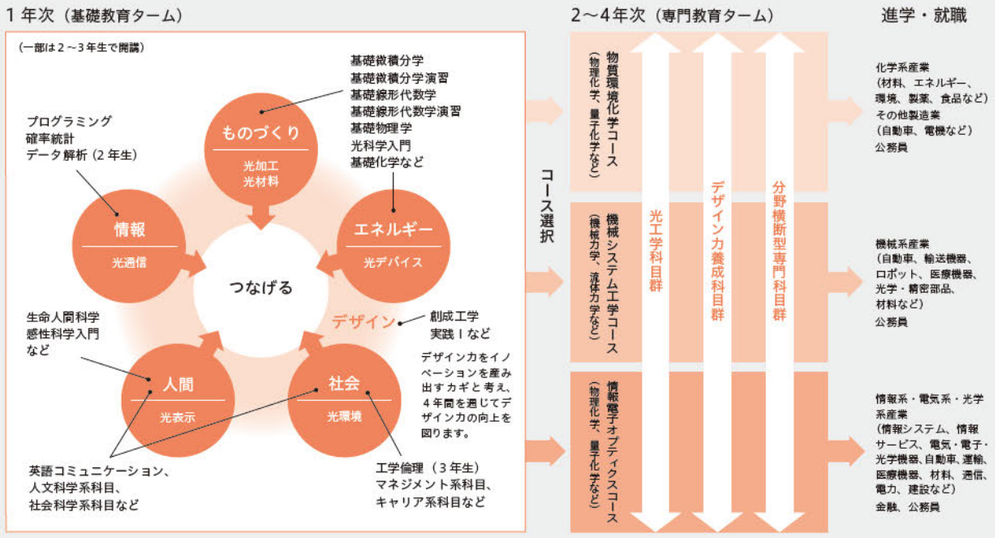


カリキュラム

デザイン力（問題発見・解決力）によって「ものづくり」「エネルギー」「情報」「人間」「社会」をさまざまに結びつけることにより、イノベーションを産み出す。基盤工学科では、他にないユニークで実践的なカリキュラムで人材を育成します。

1年次の「基礎教育ターム」では、数学、物理、化学、光、プログラミング、生命、感性など、現代の問題解決に必要な基礎知識を幅広く学び、各コースの専門分野を学ぶための備えをします。必修科目「基盤工学入門」では、各コースの専門分野を概観し、それらと社会や人との関係を学びます。加えて、各コースで学ぶための基礎を修得するための「コース入門」が用意されています。これらの学びを通じて、自分にぴったりのコース選択をすることができるようになります。

2年次以降の「専門教育ターム」では、物質環境化学コース、機械システム工学コース、情報電子オプティクスコースから1つのコースを選び、専門性を深めていきます。第1回（入学手続き時）、第2回（1年次の9月）の希望調査で、コース別の希望人数を調査し公表します。第3回（1年次の3月）の希望調査でコース配属を決定します。可能な限り希望のコースに配属できるようにしますが、希望者がコースの最大受け入れ人数を上回った場合には1年次の成績により決定します。配属後の転コースの制度もあります。



学部附属施設　ものづくり創成工学センター

「21世紀のものづくり、人づくり」をテーマに実践的な学びをサポート

工学部では、大学を卒業した後、メーカーに就職し、技術者として研究・開発・設計などの仕事につく人が大勢います。そのような企業では、

・チームで

・異なった分野の専門の人が集まって

製品開発が行われます。そこでは、仲間・上司・部下と知恵を出し合い、それぞれの意見を上手にまとめて1つの製品を開発しなければなりません。このように、異なった分野の人たちが集まってチームで作業を行い、お互いに上手にコミュニケーションをとりながら作業を進めることを体験できる授業が「創成工学実践Ⅰ」です。チームの判断で自主的に自由な発想で活動できる授業を1年生から取り入れているのは宇都宮大学工学部だけです。

ものづくり創成工学センターでは、各コースで学んだ専門的知識に加え、より実践的な経験ができるような教育を行っています。

物質環境化学コース

物質が関わるさまざまな課題に化学の「知恵」をもって取り組むことができる人を育てます

低学年で基礎学力をつけ、学年が進むにつれて応用に結びつく知識を学びます。さらに、学生実験や卒業研究で物質を扱う経験を積み、幅広い分野で活躍できる人を育てます。物質環境化学コースの教育と研究は、化学を中心とした次の幅広い学問領域をカバーしています。

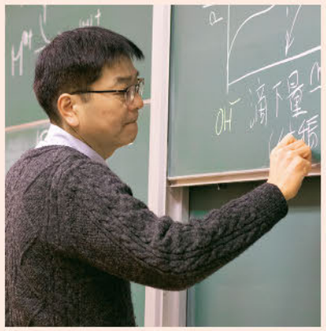
● 高度な機能物質の創製　● 環境問題及びエネルギー問題を克服する方法論の創出
● 原子分子を操るナノテクノロジー　● バイオテクノロジー、農学や医薬との連携分野

専門科目　物理化学基礎、無機化学基礎、分析化学基礎、有機化学基礎、化学工学基礎、基礎生化学など

資格・免許　● 毒物劇物取扱責任者　● 甲種危険物取扱者受験資格
● 高等学校教諭一種免許状（工業）

授業クローズUP!

分析化学基礎　上原 伸夫 教授



溶液内で起こる化学反応に基づいて、溶液に含まれる成分を測るための基本を講義します

溶液内に存在する物質の濃度を知ることは化学の基本です。この授業では，高校の授業でも取り扱っている“酸解離平衡”、“錯生成平衡”、および“酸化還元平衡”といった溶液内で起こる基本的な平衡を深く学び、それを基にして溶液に溶けている様々な物質の濃度を計算により導く方法を修得します。一見すると地味な授業内容に思われます。しかし、卒業研究において自分自身で実験を設計するために不可欠な内容となっています。授業のスタイルは板書を主体とした従来の講義形式です。でも、色が変わる簡単な化学反応を実際に見せたりしながら、楽しい授業になるように心がけています。

SEMINAR

研究室紹介（一例）

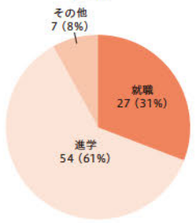
研究室名　界面化学研究室 研究分野　界面物理化学	飯村 兼一 教授
研究室名　触媒プロセス工学研究室 研究分野　触媒化学、プロセス工学、触媒・資源化学プロセス	古澤 毅 教授
研究室名　生物工学研究室 研究分野　環境微生物学、微生物生態学、遺伝子工学	諸星 知広 准教授
研究室名　ソフトマテリアル研究室 研究分野　生物機能・バイオプロセス、生物工学、高分子材料工学	加藤 紀弘 教授 奈須野 恵理 助教
研究室名　超分子化学研究室 研究分野　ナノバイオサイエンス、有機化学、高分子化学	大庭 亨 教授 伊藤 智志 准教授 為末 真吾 助教
研究室名　無機工業化学研究室 研究分野　電気化学、表面処理技術、エレクトロニクス実装技術	吉原 佐知雄 准教授

※掲載している研究室は一例です。工学部 HP を確認してください。

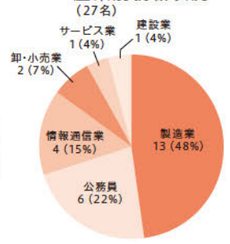
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：88名／就職希望者：27名／就職者：27名）

● 進路状況（88名）



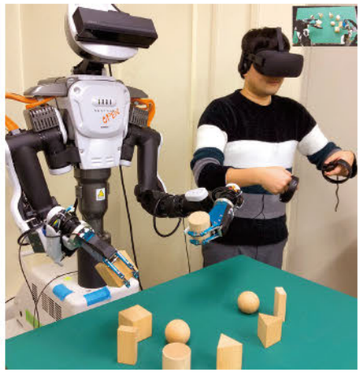
● 産業別就職状況（27名）



● 主な就職先

エステー、資生堂、花王、三菱ケミカル、小松製作所、マニー、グラクソ・スミスクライン、富山薬品工業、ゼリヤ新薬工業、日清製粉、山崎製パン、栄研化学、ＪＲ東日本、ライオンハイジーン、デクセリアルズ、NOK、住友電装、県庁、市役所

機械システム工学コース



機械の未来を新しい発想で創る ～ものづくりへの道はここから始まる～

機械システム工学は現代のあらゆる産業分野で必要となる「基幹工学」です。本コースでは、IoT 社会を見据えて航空宇宙、自動車、ロボット、医療・福祉、マイクロ・ナノなどあらゆる機械システムについて関連する学問や技術を学修します。総合的かつ統合的に機械システムをデザインし得る基礎能力と創造的応用技術を身につけ社会の発展に貢献するような技術者・研究者を養成します。

専門科目　機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、設計・生産・加工、メディカルエンジニアリング、計測自動制御、材料工学、マイクロ・ナノ工学、理論的・実践的デザインに関する学科目など

資格・免許　● 高等学校教諭一種免許状（工業）

授業クローズUP!

機械システム設計製図Ⅰ　星野 智史 准教授

想像したモノを具現化するための表現方法 ―設計製図― について学びます

機械技術者にとって、意思疎通のための言葉とも表現される「図面」が描けて読めることは必要不可欠です。想像したモノを具現化するための表現方法として、本コースでは２年次の後期から製図に取り組みます。まずは座学を通じて製図の基礎知識を学びます。そして、代表的な機械要素であるボルト・ナットおよびプーリーの製図を行います。続く３年次では、機械システム設計製図Ⅱ、Ⅲとして小型手巻きウィンチ、多段タービンポンプの設計計算、製図を行います。

SEMINAR

研究室紹介（一例）

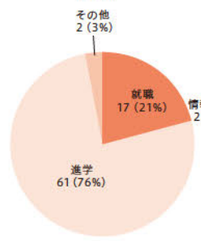
研究室名　マテリアル工学研究室 研究分野　環境負荷低減を目指した構造材料組織制御と異材接合技術　微小接触点の測定・評価	高山 善匡 教授 川口 尊久 助教
研究室名　流体工学研究室 研究分野　流体力学を基にした航空・宇宙、医療、スポーツ分野への応用　熱流動解析	長谷川 裕晃 教授 石戸 勉 助教 加藤 直人 助教
研究室名　生体計測・福祉工学研究室 研究分野　生体計測　バイオメカニクス数値解析　福祉・医用機器開発	嶋脇 聡 教授 中林 正隆 助教
研究室名　システム力学研究室 研究分野　マルチヒューマンダイナミクス　非線形力学　確率力学　最適化手法	吉田 勝俊 教授 山仲 芳和 助教
研究室名　先端光工学研究室 研究分野　光工学　オプトメカトロニクス　光計測　偏光工学　分光イメージング	大谷 幸利 教授 ネイザン・ヘーガン 准教授

※掲載している研究室は一例です。工学部 HP を確認してください。

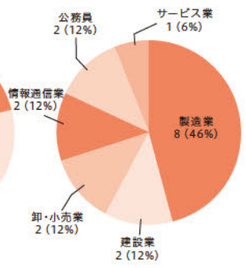
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：80名／就職希望者：17名／就職者：17名）

● 進路状況（80名）



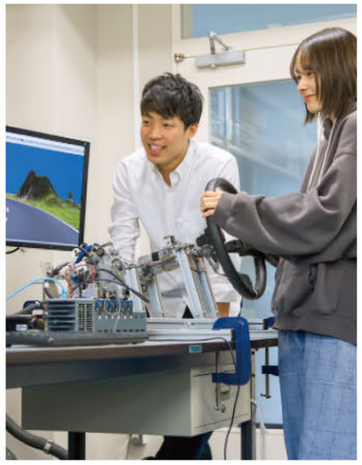
● 産業別就職状況（17名）



● 主な就職先

トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、SUBARU、スズキ、日野自動車、いすゞ、ＩＨＩ、川崎重工、コマツ、ファナック、NOK、日立製作所、キヤノン、オリンパス、凸版印刷、ＪＲ東日本、ＪＲ東海、レオン自動機、ナカニシ、マニー、県庁

情報電子オプティクスコース



高度技術社会を牽引する
数理・物理のプロフェッショナルを育成します

情報電子オプティクスコースでは、情報科学、電気電子工学、光工学を総合的に学びます。通信製造、流通、交通、金融など、様々な社会の仕組みは情報科学によって支えられています。また、スマートフォンや電気自動車など、生活を豊かにする製品開発に電気電子工学や光工学は不可欠です。ネットワーク、プログラミング、電気による制御や駆動、電子機器やディスプレイなどの設計・開発を通して、社会のあらゆる分野で活躍できる人材を養成します。IoT、ビッグデータ、人工知能などの技術革新は、情報科学、電気電子工学、光工学の技術が複雑に関連しながら成り立っています。このような高度技術社会を牽引するプロフェッショナルには、1つの狭い専門分野だけではなく、関連する分野の幅広い知識が必要です。情報電子オプティクスコースでは、情報科学科目群、電気電子科目群、光工学科目群からそれぞれの専門分野の中心となる科目を学びます。またそれと同時に、コース専門科目から幅広く履修することによって、関連分野の素養を身に付けることができます。

情報科学科目群

情報通信技術に関する基礎および応用的な知識とプログラミングスキルを身につけ、社会の幅広い分野で活躍する人材の養成を目指しています。これを実現するため、情報数理、計算機システム、ソフトウェア、および、ネットワークについて基礎を重視したカリキュラムを通じて、様々な応用分野で活躍できる高度な技術を有する人材を育成しています。

電気電子科目群

電気や電子を利用する技術で現代の社会は支えられています。その技術をさらに発展させる技術者・研究者を育成する履修モデルです。専門分野への基礎となる科目（電気電子数学、電気回路、電気磁気学）では講義とともに演習により基礎力を高め、さらに進んだ応用分野の科目が確実に理解できるようにしています。

光工学科目群

光学は確立された一学問分野で、物理学・化学・数学とその基礎を共有し、量子科学技術と共にさらに発展しています。また、その工学的応用分野すなわち光工学は、エレクトロニクス・情報工学・環境工学・生命科学など広汎な分野に関係します。様々な学術分野、産業分野に浸透し、今や欠かすことのできない光技術に関して、光工学系履修モデルでは、光学の基礎が効果的に学習可能です。

専門科目

● 情報科学科目群

離散数学、データ構造とアルゴリズム、計算機アーキテクチャ、情報ネットワーク、人工知能とコンピュータビジョン、感性情報工学、データベースシステムなど

● 電気電子科目群

電気電子数学、電気回路、電気磁気学、プラズマ工学、パワーエレクトロニクス、半導体工学、制御工学、通信工学など

● 光工学科目群

光工学Ⅰ、光工学Ⅱ、初等量子論、量子力学、電子物性、機器分析・光計測化学、高周波回路工学、光エレクトロニクス、レーザー工学、プラズマ工学、電子デバイス、人工知能とコンピュータビジョン、応用画像工学

資格・免許

- 電気主任技術者の免状交付申請の資格（卒業後一定の実務経験が必要）
- 電気通信主任技術者（試験の一部免除）
- 第1級陸上特殊無線技士
- 第3級海上特殊無線技士
- 第2種電気工事士（筆記試験免除）
- 高等学校教諭一種免許状（工業）

授業クローズUP!

プログラミング演習Ⅱ ｜ 藤井 雅弘 准教授

自分でプログラミングしたアプリケーションが思い通り動いたときの感動を味わいましょう

パソコンやスマートフォンの上で動作するアプリケーションだけでなく、テレビやエアコンなどの家電製品、自動車や飛行機の制御などでプログラミングにより動作を自動化された装置が使用されています。今後増々高度化していく情報化社会において、それらを実現していく高度なプログラミング技術者が必要とされています。本演習では、C言語のより実践的な課題に取り組み、高度なプログラム作成を通じ、計算機システムの理解を深めます。この演習では、ポインタ、文字列処理、動的データ構造、モジュール設計、画像処理などに関するプログラムの作成を行います。

SEMINAR　研究室紹介（一例）

情報系

研究室名　佐藤美恵研究室
研究分野　映像提示技術、ヒューマンインタフェース、感性情報処理
佐藤 美恵 教授

研究室名　長谷川まどか研究室
研究分野　画像符号化、画像情報工学、ユーザブルセキュリティ
長谷川 まどか 教授

研究室名　石川智治研究室
研究分野　人間情報処理メカニズム、感性情報学、複合感覚情報処理、質感認知
石川 智治 准教授

電気系

研究室名　船渡・春名研究室
研究分野　パワーエレクトロニクス、電力変換器、再生可能エネルギー
船渡 寛人 教授

研究室名　入江・八巻研究室
研究分野　超伝導電子工学、ナノエレクトロニクス、低温物性物理学
入江 晃亘 教授

研究室名　平田・鈴木研究室
研究分野　ロバスト制御などのアドバンスト制御理論とそれらの産業応用
平田 光男 教授

光工学系

研究室名　早崎・長谷川研究室
研究分野　光情報処理、レーザー加工、光計測、光プロセシング
早崎 芳夫 教授、長谷川 智士 助教

研究室名　湯上・大塚研究室
研究分野　レーザー生成プラズマ、テラヘルツ電磁波、レーザー応用工学、レーザー航跡場電子加速
湯上 登 教授、大塚 崇光 助教

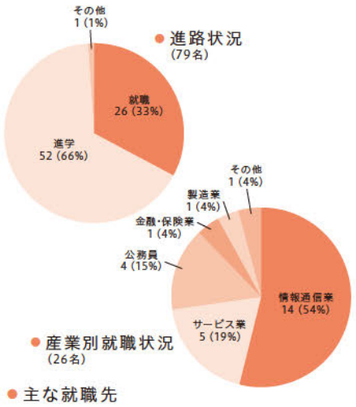
研究室名　山本研究室
研究分野　応用光学、量子光工学、情報フォトニクス
山本 裕紹 教授

※掲載している研究室は一例です。工学部HPを確認してください。

卒業後の進路

情報系

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：79名／就職希望者：26名／就職者：26名）

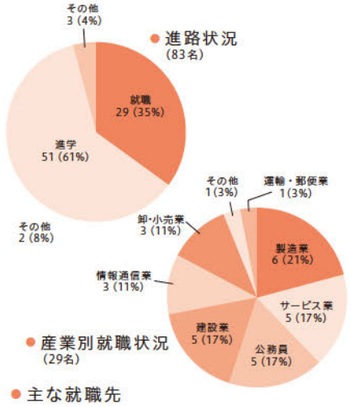


● 主な就職先

JR東日本、KDDI、日立製作所、コニカミノルタ、日本電気、本田技研工業、キヤノン、シャープ、リコー、東芝ソリューション、豊田自動織機、パイオニア、富士通、TKC、三菱電機インフォメーションシステムズ、国土地理院、都庁、県庁、市役所

電気系

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：83名／就職希望者：30名／就職者：29名）

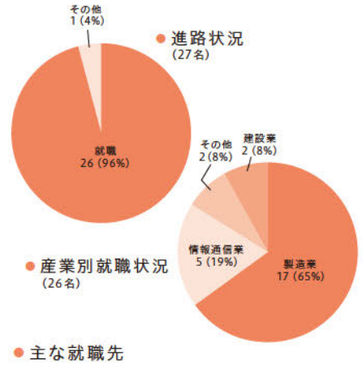


● 主な就職先

本田技研工業、日産自動車、スズキ、SUBARU、JR東日本、ケーヒン、カルソニックカンセイ、日立製作所（日立グループ）、SMC、東京計器、東北電力、東京電力、東光高岳、日本電設、能美防災、ホーチキ、小野測器、県庁

光工学系（大学院修士課程修了者）

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：27名／就職希望者：26名／就職者：26名）



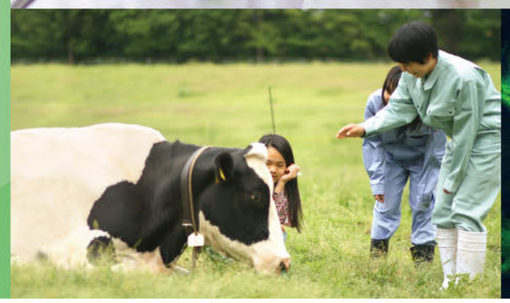
● 主な就職先

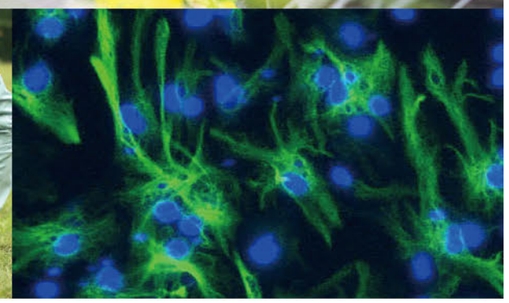
キヤノン、パナソニック、コニカミノルタ、スズキ、凸版印刷、大日本印刷、シグマ、東京エレクトロン、セイコーエプソン、日立製作所、三菱自動車工業、日本信号、古河電気工業、東京電力、東北電力、ミツトヨ、本田技研工業、日本電気、三菱電機、パイオニア、トプコン、朝日分光、TDK、大昌電子、小糸製作所、スタンレー電気

School of Agriculture | 「農」が切り拓く新時代

農学部

●生物資源科学科 ●応用生命化学科 ●農業環境工学科 ●農業経済学科 ●森林科学科





農学的視点から、発見と解明の積み重ねで持続的な社会を

農林業に関連する産業は、三千年前の過去でも、百年後の世界でも、
地球上に生きる人間すべての生存にとって、必須のものです。
地球に生きるすべての生命に関わるとも言える農学の基礎は、
農林業の基本である生物に関することと、その環境保全について学ぶこと。
現在では、生物の遺伝子レベル、分子レベルでの理解と応用が進み、
世界規模での環境保全への視点も重要になってきています。
総合的な知識と未来への展開力を身につけ、持続的で循環型の社会構築に参画していきましょう。

農学部ホームページ
http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/

入試情報 URL
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/index.php

学部の教育・研究方針

幅広い視野と高い専門性を礎にした実学

農学部では、持続的で循環する社会を構築するために必要な幅広い教養や倫理観を養い、５つの学科において、食料、生物資源、環境保全、農林業に関する基礎から応用までを学ぶとともに、現場で役立つ「実学」を学修した人材を輩出することを目標としています。そのために教育領域は、生産から加工・流通、環境保全など広範にわたります。一方、１年生ではどの学科にも共通した講義や実習を通して、農学全般に関わる必要な知識を築き上げます。また、学部卒業後に、さらに高度な専門知識と技術を学べる博士前期課程があります。研究面では、現場で役に立つ研究、地域社会に還元できる研究から世界最先端の研究まで、広範囲な課題に取り組んでいます。また、他学部や各センターとの共同で分野横断型の研究も盛んです。

宇都宮大学ならではの教育や活動の特色

基礎から応用まで、マクロからミクロまで、地域から世界まで

1 「農学」の基礎を幅広く学ぶ

「農学」は多くの分野が融合して成り立っています。そこで１年生の間は、入学した学科に関わらず幅広くあらゆる分野の農学や科学を学ぶために、全員がコア科目である「農業と環境の科学」「生物資源の科学」および「コア実習」を受講し、大きな視野に立った、基礎的な素養と農学の概念を学びます。

2 広大なフィールドから微小な生物学まで

国立大学法人では珍しく、県内に広大な附属農場および附属演習林を保有しており、実践的な実習プログラムが充実しています。また、雑草管理教育研究センターおよびバイオサイエンス教育研究センターにおいて、現場に即した実習や、分子生物学などの遺伝子レベルの実験も行います。

3 地域密着型から先駆的研究まで

イチゴつみとりロボット、栃木県の土壌に合う肥料の探索、日光国立公園の野生動物の調査など、地域に密着した研究を行なっています。一方で、炭酸ガス防虫、カラス被害対策、野菜用ワクチンの開発など、世界でも例の少ない、特徴的な研究も行なっています。また、2019年には「宇都宮大学きのこ個性化プロジェクト」にて本学初のクラウドファンディングによる資金調達に挑み、目標金額を達成しました。

Real Voice

4年生の先輩からキミへ　MESSAGE from STUDENT

農業経済学科４年生
栃木県立宇都宮中央女子高等学校 出身
五十畑 美優

**座学だけではない
自分の目で見て感じることの大切さ**

私たちが生きていくうえで欠かせない食。それは、農業あってのものです。農業が持続可能でなければ、食も満足にとれなくなってしまいます。私は農業経済学科で、農業実習やフィールドワークを通し、このような「食」と「農」の関わりの重要性について研究を行っています。また、小さい頃からの夢であった留学も、宇都宮大学の協定校であるインディアナ州ヴィンセンス大学で実現することができました。学部学科にとらわれることなく、海外に視野を広げられるのも宇都宮大学農学部の良さではないかと思います。

卒業生からキミへ　MESSAGE from GRADUATES

2013年3月　森林科学科 卒業
2015年3月　農学研究科森林科学専攻 修了
群馬県環境森林部
森林局林業振興課 勤務
梶山 雄太

**森林と人との上手な関わり方を
一緒に考えて欲しいです。**

私は、群馬県職員として地域の森林づくりに携わっています。森林の将来像を考えるとき、そこには必ずその地域で働く人、暮らす人の姿があります。こうした人々の営みの中で、次の世代へと森林をバトンタッチしていかなくてはなりません。ですから、この分野に興味を持っていただいた皆さんには、ぜひとも森林をいかに守るかだけでなく、人との上手な関わり方を一緒に考えて欲しいのです。そのために必要となる知識を、森林科学科では学ぶことができます。

生物資源科学科

生物資源の持続的生産・管理および環境保全を目指す

農業とは、食料をはじめ、人が生きて行くために必要な様々な生活資材となる「生物資源」を生産する業と言えます。生物資源科学科では、まさにその生物資源の持続的生産を達成する教育と研究を行なっています。生物学および化学を基礎として、多様な生物資源の特質を分子から個体、集団のレベルで究明し、動物・植物・昆虫・微生物の機能解明とその応用技術を身につける教育を行なっています。また、地域および世界レベルにおいて、それらの生物資源を適切に管理し、持続的な生産と環境の保全の両立に役立つ理論と実践力にかかわる教育も行なっています。講義だけでなくフィールド実習や実験を通して、現場に役立つ知識、分析能力、情報処理能力を身につけたジェネラリストを養成します。さらに卒業論文の研究において、より専門的な知識を礎に、自ら問題意識を持ち、それを解決する道筋を考えることを通して創造性を身につけたスペシャリストの素養も身につけることを目標とします。

生物資源科学科の4年間

- 新入生ガイダンス
- 研究室見学

基盤教育科目
幅広い教養と農学の基礎を学びます
- 農業と環境の科学
- 生物資源の科学
- コア実習

専門教育科目

バイオサイエンス（生物科学）の基礎を学びます
- 生物学（概論）
- 生物化学
- 生物科学実験
- 分析化学
- 遺伝子工学
- 生物学（細胞）
- 基礎分子生物学
- 基礎化学 I, II
- 分子生物学実験

生物資源科学の基礎を学びます
- 植物生産学概論
- 遺伝・育種学
- 農業微生物学
- 熱帯農学
- 動物生産学概論
- 植物保護学
- アグリバイオサイエンス実験 I, II

研究室配属
- アグリバイオビジネス論
- 国際フィールド演習
- インターンシップ
- 特別演習
- 特別研究

4年かけて、生物資源の「基礎」を築き、その上に現場で活躍できる「専門」を積み上げて行きます

- 卒業研究

専門教育科目

生物資源・生物生産環境を学びます
- 農業生産環境学
- 土壌環境微生物学
- 展示動物学
- 地質学概論
- 動物行動学
- 動物衛生学
- 基礎土壌学
- 雑草学
- 飼料学
- 層位学
- 昆虫生態学
- 造園学
- フィールド実習 III

生物機能を学びます
- 植物生理学
- 動物生理学
- 分子生命科学 I, II
- 植物病理学
- 植物病原菌学
- 動物機能形態学
- 生殖生物学
- 植物分子生理学
- 植物ウイルス学
- 代謝学
- 植物栄養学
- ゲノム解析論
- 栄養機能調節学
- 分子昆虫学

生物生産技術を学びます
- 作物学 I, II
- 農業バイテク利用論
- 作物品種改良論
- 肥料学
- 家畜生産学
- 園芸学
- 動物育種学
- 動物繁殖学
- 実験動物学
- 園芸作物学
- フィールド実習 I, II
- 作物生産技術学
- 園芸生産技術学
- 総合的害虫管理学

1年次 → 2年次 → 3年次 → 4年次

専門科目
専門導入科目（学部共通）：農業と環境の科学、生物資源の科学、農学部コア実習
必修科目：生物学（概論）、生物学（細胞）、植物生産学概論、動物生産学概論、遺伝子工学、農業生産環境学、遺伝・育種学、生物科学実験　など
選択科目：作物学、家畜生産学、園芸学、基礎土壌学、植物病理学、熱帯農学、動物行動学、総合的害虫管理学、フィールド実習　など

資格・免許
- 高等学校教諭一種免許状（農業）

授業クローズUP!

生物科学実験 | 全教員

動物・植物・昆虫・微生物等の観察により、生物資源の実体と特質の理解を目指します

生物科学実験は、生物資源科学科の２年生全員が受講する通年の必修科目の実験です。農業やバイオサイエンスで取り扱う生物資源、すなわち動物・植物・昆虫・微生物や土壌・肥料等について、その形態、構造、機能に関する基礎を学びます。それぞれの生物資源の特質を活かし、人間の生活や社会への応用の仕方の考案や技術の開発のためには、対象となる生物の基本的な形態や機能を理解しておくことが、必要不可欠です。３～４年生の時に、いずれの専門分野に進むとしても、基礎的な観察力は全学生に身につけてもらうことを目指しています。また、様々な実験を通じて、基本的な実験手法を習得することも本実験の目的の一つです。この実験は生物資源科学科に属する全教員が担当しており、各回について、その生物種の特質や必要な実験手法に精通した教員が、解説や指導を行ないます。

さらに、最後の２回は、各自実験テーマを選び、実験結果についてプレゼンテーションを行います。実験結果をとりまとめて人に分かり易く発表し、質問に答える能力を養うこと、さらに他の発表に質問して討論する力を培うことも、本実験の目指すところです。

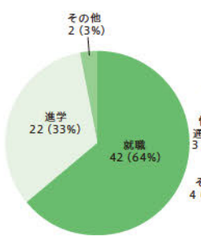
SEMINAR　3年生から始まるゼミ紹介

研究室名	主な研究分野	教授
植物栄養学研究室	植物とヒトの栄養としての肥料学	関本 均 教授
園芸学研究室	花, 野菜, 木の生理と品質・植物が季節を感じる仕組み	山根 健治 教授 黒倉 健 講師
作物栽培学研究室	イネの農業形質に関与する遺伝子座の研究	柏木 孝幸 准教授
分子昆虫学研究室	昆虫ウイルスを利用した有用物質生産プロセスの開発	岩永 将司 准教授
動物機能形態学	家畜のストレスの軽減と、カラスの研究	青山 真人 准教授
作物生産技術学研究室（附属農場）	低コスト・省力化に必要な作物栽培技術の確立	高橋 行継 教授
雑草管理教育研究センター	環境変化を考慮した適切な雑草管理	西尾 孝佳 准教授
雑草管理教育研究センター	雑草個体群、植生の動態と持続的管理	小林 浩幸 教授

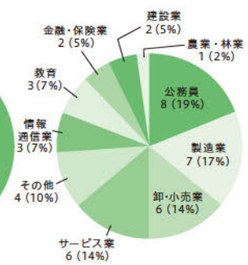
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：66名／就職希望者：42名／就職者：42名）

● 進路状況（66名）



● 産業別就職状況（42名）



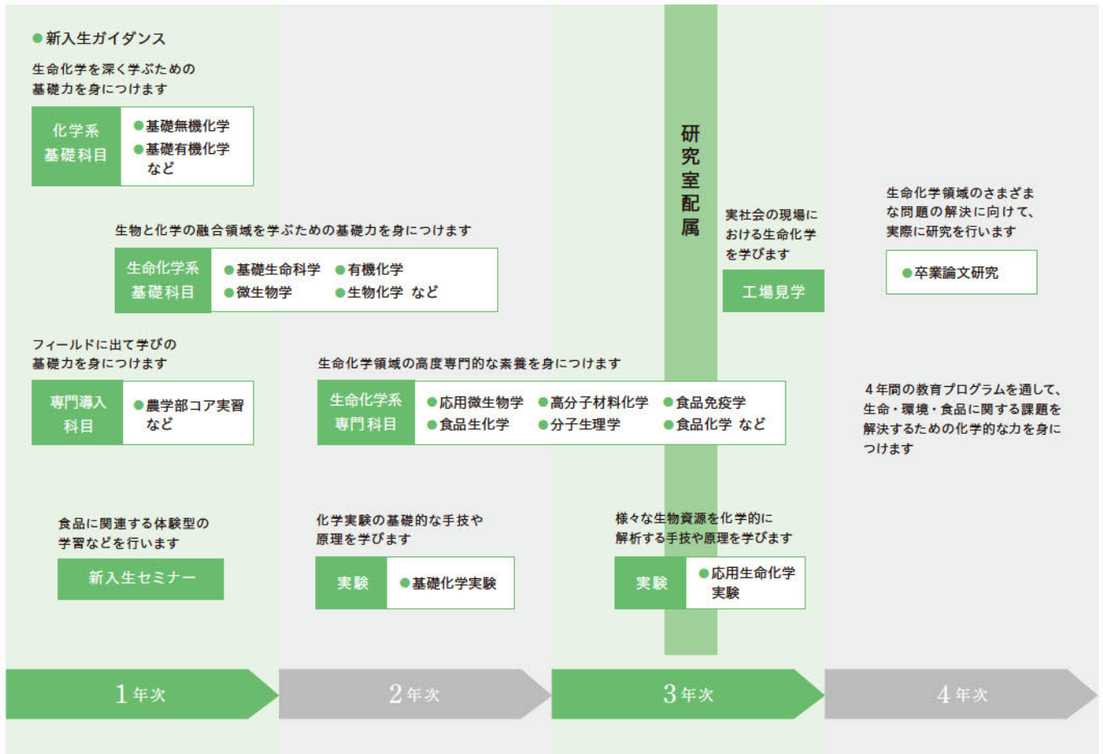
● 主な就職先　農林水産省、教員（農業）、県庁、市役所、キユーピー、カネコ種苗、井関農機、ニプロファーマ、JA 全農栃木、フタバ食品、天鷹酒造、東京シティ青果、誠和、サントリーモルティング、山崎製パン

応用生命化学科

生命・食品・環境の様々な問題に化学の力で挑む

応用生命化学科では、生命の営みに関するさまざまな事象を化学的な視点から学び、解明していきます。例えばコメに含まれるデンプンは、消化されブドウ糖となり体内に吸収されます。引き続き、様々な酵素の働きで変化する（代謝される）ことにより筋肉を動かすエネルギーを作り出してます。このことからわかるように、生命現象は“物質の連続的な変化”、つまり“物質の流れ”としてとらえることにより 詳細な解析が可能となります。このような物質の成り立ちと変わり方を取り扱う学問分野である「化学」をツールとして使いこなす力をつけること、そして生物やその他の領域も総合的に学ぶことで「生命」を理解することを重視しています。以上の教育プログラムを通して、真に豊かな暮らしを支える科学技術の発展を図るための基本的・応用的な教育研究を行い、生命・食品・環境の分野で問題解決に積極的に取り組むことのできる人材を養成します。

応用生命化学科の4年間



専門科目　上記科目の他に、化学と生命、分子生命科学、食品衛生学、食品加工論、食と細胞の科学、天然物化学、微生物工学　など

資格・免許
- 高等学校教諭一種免許状（理科）
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員資格
- 毒物劇物取扱責任者
- 甲種危険物取扱者受験資格

授業クローズUP!

基礎化学実験 | 全教員

実験を通して化学の知識を深める

生命・食品・環境の分野のさまざまな問題を解決するため、化学的な研究や分析を正確に行い、結果をまとめる技術は必要不可欠です。基礎化学実験は、基礎的な化学実験を実際に行い、自身の操作によって得られた結果をまとめ、考察し、レポートとしてまとめる初めての機会となる授業です。実験操作を始める前に、化学実験の危険を認識し、実験を安全に行うための心得や研究倫理を学びます。続いて、２年前期に開講される基礎化学実験Ⅰでは、化学実験基本操作、定量分析基本操作、有機合成操作、生体高分子物質操作、２年後期に開講される基礎化学実験Ⅱでは、比色分析法、生体成分分析法、放射線リテラシー教育、クロマトグラフィー分析法について、幅広く実験操作を体験し、生命・食品・環境の分野に必要な基礎的実験操作、実験原理、知識を身につけていきます。食品素材や生体試料を用いて、日常生活での出来事を実感しながら、化学物質の特性や構造、化学や生化学の基礎的な実験原理を理解し、各実験技術を習得していきます。これらの実験を通して、実験器具類の取り扱い方および試薬類の性質についての基礎を理解・習得し、自然科学を学ぶ上で基礎となる科学的なものの見方や考え方を身につけることを目指しています。

SEMINAR

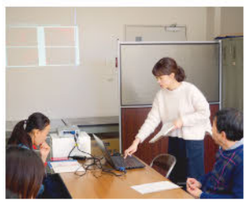
３年生から始まるゼミ紹介

研究室名　応用微生物学研究室
担当授業名　微生物学／微生物工学／農業と環境の科学（分担）

前田 勇 教授

微生物を社会の役に立てるための研究を行う、応用微生物学研究室

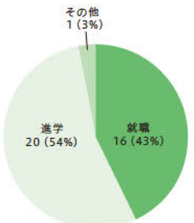
農業や食品製造等の分野で人の役に立つ微生物や微生物が作り出す物質に着目し、それらの新たな活用法を見出すための研究に取り組んでいます。実験は、試験管やフラスコ中で微生物の細胞数を増やすための培養が基本ですが、細胞増殖や種々の生化学反応を調べるために分析機器を用いて行います。研究に用いる微生物を自然界から探し出したり、微生物の持つ機能を新たに見つけ出すところに魅力を感じています。卒業生と修了生は食品や製薬、化学メーカーや分析会社のさまざまな職種に就いて、あるいは公務員として社会で活躍しています。



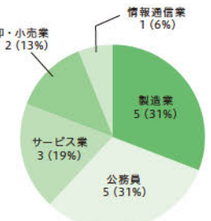
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：37名／就職希望者：16名／就職者：16名）

● 進路状況（37名）



● 産業別就職状況（16名）



● 主な就職先　山崎製パン、ブルボン、キユーピー、全薬工業、持田製薬、中外製薬工業、興和株式会社、フタバ食品、レオン自動機、日本食品分析センター、教員（理科）、厚生労働省、県庁、市役所

農業環境工学科

人類の持続的な生活のために 環境から学び農業を科学します

農業環境工学科は『環境と調和した持続可能な農業システム作り』に取り組んでいます。土や水、作物や家畜、生産システムや地域資源など、農業を取り巻く環境を対象として工学的なアプローチと生物学や社会科学的な手法から、環境保全と持続的な食料生産のしくみを研究しています。

農業環境工学科の教育プログラムでは、理数系の基礎科目で理論を学び、専門科目で理論の応用や実践方法を身につけていきます。これらの学びを通して、農業の生産基盤の整備と保全、生態系や農村資源の管理と運用、国際的な農業開発と支援、効率的な食料の生産や流通、消費のための技術開発やシステム構築などに取り組む人材を育成しています。

農業・農村環境の創造と管理、持続的な食料生産のための技術開発や支援など、農業と環境を学びたい人のための学科です。

農業環境工学科の4年間

●新入生ガイダンス

農学の基礎を学ぶ

基礎教育科目
- ●農業と環境の科学
- ●生物資源の科学
- ●農学部コア実習

2年後期からコースに分かれて学び、専門性を高めます

研究室配属

農業環境工学の基礎を学ぶ

専門教育科目
- ●農業環境工学概論 ●基礎数学 ●基礎物理学 ●応用数学 ●応用力学 ●熱工学 ●流体力学
- ●システム工学概論 ●計測法 ●コンピュータデータ処理
- ●コンピュータ製図 ●環境化学 ●技術者倫理

専門科目と社会とのつながりを学ぶ

専門教育科目
- ●農業環境工学現地実習
- ●農業環境工学インターンシップ

農業環境工学の応用を学ぶ

専門教育科目
- ●環境評価システム論 ●資源リサイクル論 ●国際協力と農村の持続的発展 ●プロジェクト演習

水土環境工学コース：水と土、地域資源や田園の利用と管理に関する工学的な基礎と応用を学ぶ
- ●田園生態工学 ●水文・水資源学 ●土壌物理学 ●構造力学 ●農村計画論 ●土質工学
- ●生物環境物理学概論 ●測量学 ●水理・水質実験 ●土壌・土質実験

食料生産システム工学コース：食料の生産管理技術と食品に関する工学的な基礎と応用を学ぶ
- ●圃場機械学 ●制御工学 ●生物環境情報学 ●環境調節学 ●エネルギ工学 ●食品システム工学
- ●図学・設計製図 ●生物生産機械・環境工学実験Ⅰ ●生物生産機械・環境工学実験Ⅱ

専門教育科目
- ●卒業論文

より充実した卒業論文の作成に向けて、学生1名に指導教員と2名の副指導教員を合わせた3名の教員で対応します

1年次 → 2年次 → 3年次 → 4年次

専門科目

基礎数学、基礎物理学、応用力学、応用数学、システム工学概論、熱工学、構造力学、土壌物理学、圃場機械学、流体力学、計測法、コンピュータデータ処理、制御工学、生物環境情報学、水理・水質実験、土壌・土質実験、生物生産機械・環境工学実験Ⅰ・Ⅱ、測量学、測量実習、エネルギー工学、土質工学、資源リサイクル論、食品システム工学、農業環境工学インターンシップ、国際協力と農村の持続的発展、技術者倫理、卒業論文　など

資格・免許
- ● 技術士補（JABEE 認定による修習技術者）
- ● 測量士補
- ● 2級ビオトープ管理士試験一部免除認定
- ● 高等学校教諭一種免許状（農業）

授業クローズUP!

灌漑排水工学 | 松井 宏之 教授

「作物に水を遣るなら、バケツで撒けばいい」に対する答えは？

上の問いが、授業での最初の問いです。作物栽培に必要な水を、人為的に農地に補給することを灌漑（かんがい）といいます。人為的に水を供給しない作物栽培もありますが、計画的かつ高位で安定的に作物を収穫するためには、灌漑は欠かすことができません。農地に灌漑される水は、河川、湖沼や地下水などの水源から農地に運ばれます。水源に水が無尽蔵にあることはなく、その量には限りがあります。世界的に見ると、農業は水資源のおおよそ2/3を使用しています。日本でも農業がほぼ2/3を使用しているとされています。したがって、灌漑を学ぶことは水資源を学ぶことにもなります。

一方、農地では、雨や必要以上の灌漑により過剰な水が貯留することがあります。過剰な水は、収穫量の減少、場合によっては農地の喪失を招くことがあります。農地の水を適度な状況に制御するのが排水です。良い農地には、灌漑と排水が求められます。この授業では、こうした灌漑と排水に関する知識と技術を学びます。授業では、mmという単位をよく使います。しかも、そのほとんどが、3mm、4mm などです。例えば「1mm」と聞いて、みなさんはどのような印象を受けますか。100m四方の農地に1mmの水を灌漑しようとすると、10m³の水量、重さにすると 10tの水が必要となります。灌漑や排水では 1mm は予想以上に大きな量になります。さて、冒頭の質問に対する答えですが、この授業を受講すれば答えることができるようになります。

SEMINAR

4年生から始まるゼミ紹介

研究室名　食品流通工学研究室 (Food Distribution Engineering Lab.)
担当授業名　農産物流通工学・食品システム工学など

田村 匡嗣 助教

食べる喜びを感じられる食品の開発と豊かな食生活の創造

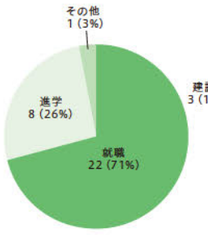
世界的な人口増加、自然災害・感染症パンデミック、健康志向の上昇などを背景に、これまで以上に環境負荷が少なく、簡便で嗜好性・機能性の高い食品の需要が見込まれています。一方で、日本各地には魅力的な農産物や原料があるものの、その価値を引き出し高めるための加工操作や技術開発が少なく急務の課題です。

当研究室では、主に栃木県の誇る農産物、食品、これまで破棄されていた農産物残渣を見直し、様々な加工を施すことで新たな地域食品を開発し、その嗜好性、機能性、摂取後の消化性などを科学的に評価しています。これらの研究を通して、関係者と協力しながら地域食品の魅力を世界に発信し、未来の食品づくりを目指しています。

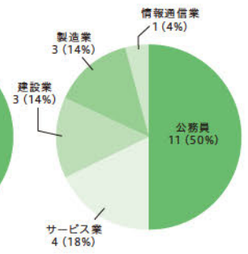
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：31名／就職希望者：22名／就職者：22名）

● 進路状況 (31名)



● 産業別就職状況 (22名)



● 主な就職先　鹿島建設、JR 東日本、日本工営、八千代エンジニヤリング、Panasonic、カゴメ、滝沢ハム、クボタ、井関農機、ジョンソン・エンド・ジョンソン、資生堂、JA、教員（農業）、農林水産省、国土交通省、県庁、市役所

農業経済学科

社会科学の視点から食や農業の問題にアプローチできる人材を養成します

農業経済学科では、すべての人にとても身近で欠かせない食を供給する農業を持続可能にするために、社会科学の視点から教育・研究を行っています。また、農業は食の生産を担うだけでなく、農業によって農地や山など自然資源を管理し、田園風景を維持し、そのことによる癒やしの機能、また伝統や地域性のよりどころとなる文化的資源を提供しています。このような幅広い役割・機能を私たちが享受し、暮らしが豊かになるための研究も重要です。そのために、経済学や経営学の基礎理論、計量分析や財務分析、社会調査法としての実態調査手法を学びながら、生産、加工、流通、貿易、消費の分析、食料・農業政策、環境問題や地域社会の機能、歴史的視点など幅広い知識を身に付け、「自らの意思で学び、自ら思考し、行動する」能力を開発し、広い視野から実社会に貢献できる人材を養成します。

農業経済学科の4年間

1年次

- 新入生ガイダンス

基盤教育科目
- コア科目・コア実習
- 外国語
- 専門基礎科目
- 新入生セミナー
- 農業と環境の科学
- 生物資源の科学
- スポーツと健康

学科専門科目
- ミクロ経済学
- 経済学概論

2年次

農業インターンシップ（先進農家での実習）

学科専門科目
- 農業経済学
- 地域社会学
- マクロ経済学
- 経営戦略論
- マーケティング論
- 会計学
- 応用経済学
- 財政学
- 海外の農業Ⅰ
- 農業経済学特別講義Ⅰ
- 農業経営学
- 日本経済史

ゼミ形式の演習
- 農業経済学基礎演習Ⅰ
- 農業経済学基礎演習Ⅱ

3年次

研究室分属（3年前期研究室訪問等、後期から分属）

- ゼミ分属説明会

農村調査実習

学科専門科目
- 計量経済学
- 開発経済学
- 海外の農業Ⅱ・Ⅲ
- 農業経済学特別講義Ⅱ・Ⅲ
- 農政学
- 農業史
- フードシステム論
- 民事法概説
- 環境・資源経済学
- 現代農政学
- 農業法律
- 農協論・農業金融論
- アグリビジネス論

ゼミ形式の演習
- 農業経済学応用演習Ⅰ
- 農業経済学応用演習Ⅱ
- 農業経済分析演習

4年次

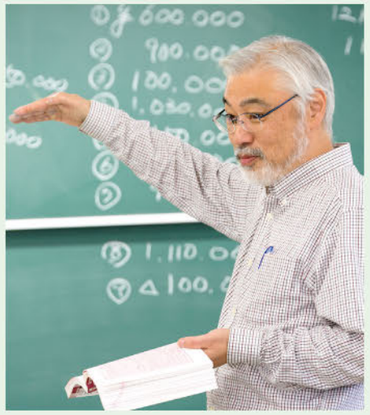
- 卒業研究（卒業論文の作成とそのための調査研究）

専門科目　農業経済学、経済学概論、経営戦略論、アグリビジネス論、会計学、地域社会学、農業史、農政学、環境・資源経済学、農村調査実習、農業インターンシップ　など

資格・免許　● 高等学校教諭一種免許状（農業）

授業クローズ UP！

会計学 | 斎藤 潔 教授



ビジネスの理論と実践という複合視点から、ビジネスを立体的に見る

会計学は複式簿記という経済記録のルールを学ぶことが主な内容になります。複式簿記という会計方法は15世紀のイタリアで生まれ、世界を巡って、日本には明治期に入ってきました。簿記という名前の翻訳者は福沢諭吉。この会計方法は、人類が生み出した完全無欠の理論体系を備えていると会計学者は自負しています。一方、会計自体は世界中の会社や団体、大学にも適用されており、毎日の事業活動のなかで実践されています。完全無欠の理論体系という壮大な学問、それが世界中の事業体、私たちの身の回りにある横丁のお店とか大通りの事務所、そして世界的に有名な大会社でも同じく実践されているというすそ野の広さは、会計学という学問の特質を表しているように思います。そのような学問を初級から学んでいこうというのがこの会計学の授業です。この授業では、受講生に日商簿記3級、がんばって2級の取得を勧めており、毎年数名ずつ取得者が出ています。資格取得の先には金融機関への就職（金融以外の民間企業でも日商簿記資格は有利）が開かれていますし、税理士や公認会計士など会計関係の高度専門職への道も展望できます。またはニュービジネスとして自分の会社を立ち上げたいという起業願望を持っている人なら、会社が扱うお金の声を聞くことによって、ビジネスの本質を理解することができるでしょう。ビジネスから生まれるお金は、それを扱ってきた人の思い、理念、欲望などを反映させて、さまざまな声を秘めているものです。その声を聞くことができれば、ビジネス世界の面白い姿を垣間見ることができるでしょう。

SEMINAR

3年生から始まるゼミ紹介

研究室名　西山研究室
担当授業名　アグリビジネス論、経営戦略論

西山 未真 教授

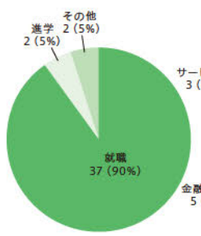
私達の生命をつなぐ農業を持続可能にするための研究を行っています

私たちの研究室では、「No Farms No Future（農業のないところに未来はない）」という言葉を大切に、食や農による地域活性化や社会の再生について研究しています。3年後期から始まる研究室活動では、まずゼミプロジェクトに取り組みます。ゼミプロジェクトでは、身近な地域における問題を取り上げ、その解決策を見出すための調査研究を行います。昨年は、宇都宮市の食料自給率を把握する調査を行いました。その結果、市場流通に基づいた統計では25%だったものが、直売所など統計で把握されていない消費を含めると約50%になることが明らかになりました。地域の自給率を具体的に把握することは、地域農業を消費者が身近に理解するためにはとても重要です。このように多くの人が生命をつなぐ農を身近に感じ、地域が豊かになるために研究成果を発信しています。

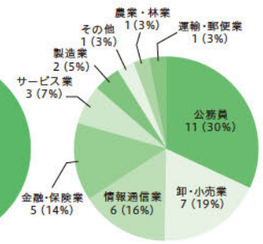
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：41名／就職希望者：37名／就職者：37名）

● 進路状況（41名）

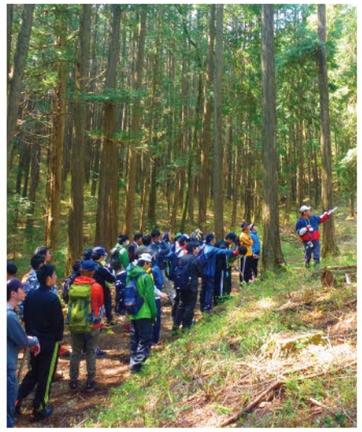


● 産業別就職状況（37名）



● 主な就職先　JA全農とちぎ、NTT東日本、JR東日本、足利銀行、栃木銀行、日本政策金融公庫、農林中央金庫、教員（農業）、県庁、市役所、東京国税局、農業自営

森林科学科



講義とフィールド実習の連携によって、中核的な森林技術者を育てます

森林の育成、管理から生産物の加工利用までの一連の流れを基軸としながら、森林の持つ木材生産機能と環境保全機能を総合的に学習していきます。授業科目は育林学、森林社会科学、森林工学、林産学の４分野からなり、自然科学系から社会科学系までの幅広い分野で構成されています。基軸科目（導入）から専門基礎科目、専門科目、基軸科目（総合）へと学年が進むに従って専門的な知識を身に着けつつ、最後には全体を俯瞰する力を身に着けてもらうカリキュラムともなっています。講義のほか、実習、実験も重視し、特に実習では、キャンパスから１時間の距離にある船生演習林を頻繁に使用します。船生演習林には技術職員が常駐し、宿泊施設も完備しているため、日帰り及び宿泊実習がカリキュラムに多く組み込まれています。本学科での学びを通して、50年、100年後の未来を見据えた森林の利活用のあり方を提示する知識・能力を身に付けます。

森林科学科の４年間

●新入生ガイダンス

まずは４年間で学ぶもの全般を一通り、講義・実習で学びます

基軸科目（導入）
- ●森林科学論Ⅰ
- ●森林科学論Ⅱ
- ●国際森林科学論
- ●農学部コア実習
- ●基礎実験 など

森林科学の４分野の基礎について学びます

専門基礎科目
- ●樹木学 ●森林基礎生物学 ●森林基礎経済学
- ●森林基礎力学 ●森林基礎化学 ●森林測量学Ⅰ・Ⅱ
- ●森林測量学フィールド実習 ●樹木学実習 など

森林科学科の４分野の専門を、講義・実習・実験で学びます

専門科目
- ●育林学 ●森林計画学 ●森林政策学 ●森林土木学 ●砂防工学 ●木材組織学
- ●森林資源利用学 ●森林遺伝育種学 ●森林保護学 ●育林学・森林立地環境学実習
- ●森林計測学実習 ●森林土木学実習 ●砂防工学実習 ●林産学実験 など

研究室配属

４年間かけて、森林・山・木材、それらと関わる人の暮らしについて、学びます

森林全般を総合的に見る力を養います

基軸科目（総合）
- ●森林科学総合実習
- ●卒業論文
- ●森林インターンシップ など

1年次 → 2年次 → 3年次 → 4年次

専門科目

基軸科目(導入)：森林科学論Ⅰ、森林科学論Ⅱ、国際森林科学論、農学部コア実習(演習林実習)ほか
専門基礎科目：森林基礎生物学、森林基礎経済学、森林基礎力学、森林基礎化学、森林測量学Ⅰ・Ⅱ、森林測量学フィールド実習ほか
専門科目：育林学、森林計画学、森林政策学、森林土木学、砂防工学、木材組織学、森林資源利用学ほか
基軸科目(総合)：森林科学総合実習、卒業論文、森林インターンシップなど

資格・免許

- ● 測量士補
- ● 林業架線作業主任者免許
- ● JABEE認定による修習技術者（技術士補と同等）
- ● 高等学校教諭一種免許状（農業）
- ● 1級・2級造園施工管理技術士
- ● 樹木医補

授業クローズUP!

育林学 | 大久保 達弘 教授

22世紀の森林の姿をデザインし、それに向けた実践的な森づくりの技法を学びます

森林は大切に取り扱うと末永く利用できる再生可能な自然資源です。森林を育てるには農地と違ってふつう水や肥料を与えず自然力に頼ります。しかし時に自然で不足する森林の再生力を人間が補うことで、森の恵みを後世まで利活用することができます。「育林学」の基本的な考え方は、本来森林が持っている再生力に関する生態や立地環境（土壌など）の知識と、その条件を達成するために必要な経済性を加味した“総合技術学”で、広い見識から“森づくり”のあり方を学びます。

この講義の到達目標は、森林の育成に関わる一連の森林管理技術、具体的には、森林の代がわり（更新）、森林の仕立て（造林）、森林の手入れ（保育）（下刈り、除伐、つるきり、枝打ち、間伐）の意義、方法について学修します。講義の進め方は、関連分野を含めた参考文献を紹介した上で、教科書の解説を他の表現に置き換えながら講義を行います。実際の森林の構造や更新のしくみ、国内外における森林の取り扱いについては画像や映像をもとに理解を深めます。また毎回の講義終了時には学んだ内容、質問や疑問点、講義の進め方・感想などについてリアクションペーパーに書き込んで提出してもらい、次週にコメントを添えて返却します。最後に学習上の助言として、森林は多様で複雑な樹種構成となっていて観察が難しいので、さまざまな条件に応じて生育している森林の姿をよく観察してほしいこと、この講義が林業としての森林の持続的管理のみならず、生物多様性や地球環境変動など全球規模での森林課題につながることを学んでほしいと思います。

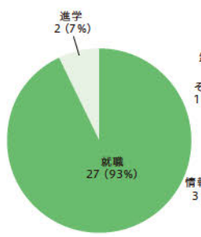
SEMINAR 3年生から始まるゼミ紹介

研究室名	所属	
森林生態学・育林学研究室	育林学分野	大久保 達弘 教授 逢沢 峰昭 准教授
森林政策学研究室	森林社会科学分野	山本 美穂 教授 林 宇一 助教
森林計画学研究室	森林社会科学分野	松英 恵吾 准教授
森林工学研究室	森林工学分野	有賀 一広 教授
森林資源利用学研究室	林産学分野	横田 信三 教授
木材材料学研究室	林産学分野	石栗 太 准教授
演習林研究室	農学部附属演習林	飯塚 和也 教授 大島 潤一 准教授

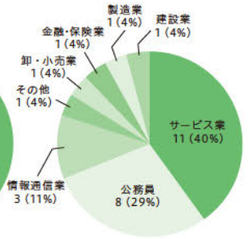
卒業後の進路

2020年度卒業者の就職状況
（卒業生：29名／就職希望者：27名／就職者：27名）

● 進路状況（29名）



● 産業別就職状況（27名）



● 主な就職先　林野庁、県庁、市役所、国土防災技術、住友林業緑化、三井物産フォレスト、コンチネンタルホーム、日比谷アメニス、レンゴー、全国森林組合連合会、双日建材

学部附属施設 **附属農場**

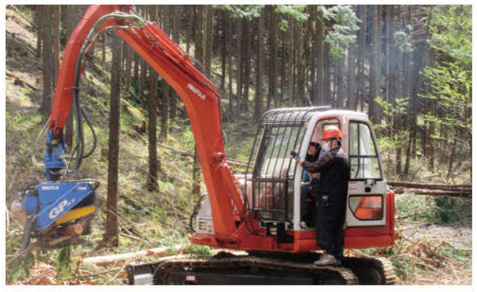
日本一広大な農場で、最先端のフィールド教育と研究を実践する

附属農場は、全国一を誇る総面積101haほどの広大な敷地に、コメ（水稲）を栽培する水田、麦・大豆・ソバなどを栽培する普通畑、ハクサイ・ダイコン・ニンジン・ゴボウなどの野菜畑、ブドウ・ニホンナシ・リンゴ・クリなどの果樹園、花卉類や果菜類を栽培する温室、ウシの飼料を栽培する飼料畑、ウシが自由に過ごせる広大な放牧草地（約60ha）などがあります。また、乳用牛（ホルスタイン種）、肉用牛（黒毛和種）およびヒツジを約30頭ずつ飼養管理しています。そして、これらの栽培・飼養管理を担当する作物、園芸、畜産、機械・土地利用の4分野が協力して、生産性の向上や省力化・効率化、AI や分子生物学・発生工学を取り入れた先端的栽培・飼養管理、環境保全型・循環型システムの構築を目指した農場運営を実践するとともに、農業生産工程管理（GAP）の取り組みにも力を入れています。得られた生産物、例えば国立大学法人として初めて品種登録された水稲「ゆうだい21」は、美味しいお米として各方面で話題です。牛乳やチーズ等の「純牧シリーズ」も、放牧を活かした風味豊かな乳製品として人気を集めています。

農学部へ入学すると、全員がこの充実した教育研究環境を生かしたフィールド実習や農産物を用いた加工実習を、「農学部コア実習」で学びます。また全学部の学生が履修できる基盤教育科目として、「食と生命のフィールド実践演習」も開講されています。さらに、教育関係共同利用拠点の認定農場として、首都圏を中心とした他大学と連携した教育カリキュラムや、公募型の実習も実施しています。

附属農場は、農場に拠点を置く植物・動物・機械関係の4研究室を中心に、農学部や工学部の教員により、基礎から応用まで様々な研究の場としても活用されています。農場の研究室には、学部生や博士前期・後期課程の大学院生が多く在籍しており、「ゆうだい21の効率的栽培法」、「トマトやタマネギなど野菜の生産性と品質向上に向けた基盤的研究」、「放牧を活用した乳牛の飼養管理」、「ウシの顕微授精に関する研究」、「非接触型のイチゴ容器の開発」などの多様な研究を実施し、その成果を地域や世界に発信しています。

学部附属施設 **附属演習林** | 船生演習林 | 日光演習林



森林と人間との多様で持続的な相互関係に関する科学の実践フィールド

農学部附属演習林は、標高260～600mのヒノキ・スギの林業地域に設定されている船生演習林（538ha）及び日光国立公園内の標高1,390～1,970mに位置し、天然林としては主にミズナラ、シラカンバ、コメツガなど、人工林ではカラマツなどが生育している太郎山地区と戦場ヶ原地区の2地区から構成される日光演習林（208ha）からなる教育研究施設です。

2つの演習林は、気候・地形・地質などの立地環境条件や森林の成長過程が異なり、多様な森林生態系を有しています。この特徴を生かし、森林に関する基礎的・応用的な調査・研究が行われ、学生が実習・実験を通じて森林を対象としたサイエンスの総合的な体系の理解を深める実践フィールドとして、活用されています。特に船生演習林では、現在も直営の素材生産を続けており、林業における施業・管理技術の研究・教育の場として活用され、保有している高性能林業機械の操作を行う森林工学実習など様々な学生実習を実施しています。

農学部附属演習林は、「緑の循環認証会議（SGEC）」森林管理認証を取得し、森林管理認証の取得により持続的保全管理に基づく体験的教育を通じて、森林・林業に関する専門家の育成、新たな森林管理論と高度な実践的技術の普及、最新情報の発信によって社会に貢献します。

大学院

深い教養を基に、高度な専門知識・技術、思考力と実践力を身につけ、未来へ貢献する

より高度な知識・技術の修得を希望する方のために、宇都宮大学大学院に博士前期課程（地域創生科学研究科）・教職大学院の課程（教育学研究科）・博士後期課程（地域創生科学研究科）を設置しているほか、東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程にも進学することができます。

主に想定される進学の流れ

学部
- 地域デザイン科学部
- 国際学部
- 共同教育学部
- 工学部
- 農学部

→ **大学院（博士前期課程）**
- 地域創生科学研究科

→ **大学院（博士後期課程）**
- 地域創生科学研究科
- 東京農工大学大学院 連合農学研究科（宇都宮大学、茨城大学、東京農工大学の3大学で構成）

→ **大学院（教職大学院の課程）**
- 教育学研究科

地域創生科学研究科

“持続可能で豊かな地域社会の創生”と“社会デザインとイノベーションの創造”

【博士前期課程】

本学では、既存の修士課程を再編し、分野横断・学際的な1研究科2専攻体制である地域創生科学研究科修士課程を2019年4月に設置しました。2021年4月に修士課程を博士前期課程へ変更しています。地域創生科学研究科の理念は、「21世紀の課題を解決して持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために、社会デザインとイノベーションの創造を支える高度な人材を育成するとともに、STI for SDGsに資する特長的で強みのある研究を推進する。」ことにあります。現代社会には多様化・複雑化した課題が多く存在し、従来の単独の学術分野による解決には限界があります。地域創生科学研究科では、専門領域の障壁を低くして境界領域・学際領域の学術を発展させ、社会デザインとイノベーションに関する高度な専門知識・技術、さらに、学際的な幅広い思考力と実践力を備えて主体的に行動できる高度専門職業人を育成します。

STI for SDGs：持続可能な開発目標（SDGｓ）に掲げられている各目標やターゲットを達成するための科学技術イノベーション

【博士後期課程】

博士後期課程では、さらに専門性を高めるとともに、境界領域や学際領域の知識・技術も活用した学際的思考力が養成される分野横断・学際的な教育研究指導体制のもと、STI for SDGsに適した専門深化を実現のため、1研究科1専攻へと2021年4月に改編しました。

社会デザイン科学専攻
入学定員 77名
（文理融合・分野融合による学際領域）

地域・国・世界の発展・創生を支える教育研究の推進
- コミュニティデザイン学プログラム
- 農業・農村経済学プログラム
- 建築学プログラム
- 土木工学プログラム
- 農業土木学プログラム
- グローバル・エリアスタディーズプログラム
- 多文化共生学プログラム
- 地域人間発達支援学プログラム

工農総合科学専攻
入学定員 258名
（工農融合による学際領域）

地域イノベーションの創造を支える教育研究の推進
- 光工学プログラム
- 分子農学プログラム
- 物質環境化学プログラム
- 農芸化学プログラム
- 機械知能工学プログラム
- 情報電気電子システム工学プログラム
- 農業生産環境保全学プログラム
- 森林生産保全学プログラム

先端融合科学専攻
入学定員 25名

「社会デザインの創造」と「イノベーションの創造」に関する教育研究
- オプティクスバイオデザインプログラム
- 先端工学システムデザインプログラム
- グローバル地域デザインプログラム

取得可能な学位

社会デザイン科学専攻	修士（学術）、修士（農学）、修士（工学）、修士（国際学）
工農総合科学専攻	修士（農学）、修士（工学）、修士（光工学）、修士（分子農学）
先端融合科学専攻	博士（学術）、博士（農学）、博士（工学）、博士（光工学）、博士（国際学）

大学院

宇都宮大学大学院に進学して研究を進めている先輩たちは、どんな考えでどんな研究テーマに取り組んでいるのでしょうか。
博士前期課程・博士後期課程で学ぶ大学院生3名を紹介します。

AIとの融合による高性能MRIの実用化で医療現場の期待に応えたい

大内 翔平　Ouchi Shohei

工学研究科　博士課程　システム創成工学専攻２年
宇都宮大学大学院工学研究科博士前期課程情報システム科学専攻修了
宇都宮大学工学部情報工学科卒業
小山工業高等専門学校出身

なぜ進学を？

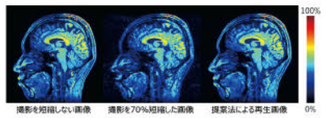
学部４年次で研究室に配属されたとき、研究室ではAI（人工知能）を使った研究を立ち上げ、その最初のテーマを任せてもらえることになりました。いつかAIの研究に携わりたいと思っていたので、このテーマを自分の手で軌道に乗せて研究室オリジナルの手法を提案することを目標に、博士前期課程でも研究を続け、日々新しい発見があることが面白くなり、博士課程への進学に至りました。

どのような研究を？

体内の画像診断装置であるMRIとAIの融合による、撮影時間の高速化と画像の高品質化に関する研究を行っています。MRIの撮影にかかる時間を高速化できれば、撮影時の息止め時間の短縮や、安静状態が難しい幼児や高齢者の撮影、MRIによる診断の機会向上が見込まれます。
時間短縮によって画像に生じた乱れを数理学的に取り除く一般的な高速化法では、画像処理に時間がかかります。私は、AIの導入によって迅速かつ効果的に画像の乱れを取り除く方法について研究を進めています。研究の結果、撮影時間を通常より70%短縮した場合でも、短縮しない場合と同程度の画像が従来法よりも大幅に短い処理時間で得られるようになりました。

社会にどう生かされる？

近年ではAIによる病変検出の研究も盛んなので、本研究の発展は撮影から診断までを一括で行うAIの登場への一助になり、医療従事者と患者の双方に大きなインパクトをもたらすと考えています。私自身の今後としては、このテーマをできるところまで自身の手で発展させていきたいです。また、医用画像処理は当然のこと、情報系の幅広い知識を習得するように心がけ、いずれはこの分野に興味を持った人をサポートできるようになりたいと思っています。



令和３年度日本学術振興会特別研究員（DC2）に採用

紛争地域の被害者補償やサポートに関する問題を探究する

福原 玲於茄　Fukuhara Reona

地域創生科学研究科　博士前期課程
社会デザイン科学専攻　グローバル・エリアスタディーズプログラム1年
宇都宮大学国際学部国際学科卒業
栃木県立大田原女子高等学校出身

なぜ進学を？

学部４年次から紛争被害者の権利について研究しています。研究室の仲間と一緒に赤十字国際委員会（ICRC）主催の国際人道法模擬裁判やロールプレイ大会への参加、ゼミ合宿でオランダ・ハーグにある国際刑事裁判所（ICC）への訪問、本学での野口元郎前ICC被害者信託基金理事長によるご講演等の機会を通じ、被害者補償や国際刑事法への関心が高まったため進学しました。

どのような研究を？

紛争の影響を受けた人々への補償やサポートの実施が平和な社会をつくるための重要なステップになりますが、実際には補償を享受できず、不安定な生活を送っている人々がいるという現状があります。私は、紛争の影響を受けたあらゆる人々が補償を受け取ることができる包括的な被害者補償を実現するための研究に取り組んでいます。

大学院で学びたいことは？

将来は、紛争の被害者支援に携わる仕事に就き、国際社会に貢献したいと考えており、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）でのインターンの経験から、特に国連機関や法務に関する仕事に関心があります。紛争被害者の生活支援や補償に携わる現場で活躍する実務家を目指し、大学院ではより高度な専門知識を身につけたいです。指導教員である藤井広重先生には、研究や専門的な知識はもちろん、研究に取り組む姿勢や心構えもご指導いただいており、将来自分がどのように働きたいか、どんな人でありたいかを考えることができます。当事者の境遇や気持ちを想像し、助けになりたいという想いや姿勢は、これからの研究や仕事をする中で忘れずに生きていきたいし、当事者の声を反映させた研究成果を積み重ねていきたいと考えています。

ゼミ合宿でオランダ・ハーグにある国際司法裁判所（ICJ）を訪問

「樹木一本」の調査研究から「森林全体」の環境改善をめざす

中島 芳　Nakajima Kaoru

地域創生科学研究科　修士課程
工農総合科学専攻　森林生産保全学プログラム２年
宇都宮大学農学部森林科学科卒業
埼玉県 栄東高等学校出身

どのような研究を？

東日本大震災の福島原発事故によって、放射能汚染を受けた森林のモニタリングをしています。特に、森林の樹木一本一本がどれくらいの汚染を受けているのかを解明するために、現地調査と実験を織り交ぜながら木の内部の汚染濃度の測定を進めています。木の種類によって性質も様々であるため、多様な種での調査が求められています。

そのテーマを選んだ理由は？

所属する森林生態・育林学研究室では、継続的に福島原発事故による森林の放射能汚染について調査してきましたが、私が樹木そのものに対する汚染調査を研究対象にすることで、土壌、葉、林床植生などのデータとつなぎ合わせ、森林の網羅的な放射能モニタリングが可能になるのではないかと考えました。また、森林という大きなスケールよりも樹木という小さなスケールでの研究に面白さを感じていたということも理由です。最近の日本では木造建築への関心も高まっていて、用いられる木材の安全性を見極めることも重要だと感じていますが、私の研究はその指標の一つとして役立つと考えています。同様の研究を行っている人が少ないこともあり、大学院では研究の質を高め、発展させていけるよう真摯に取り組んでいます。

研究・調査の進め方は？

主に、2018年に採取したブナとイヌブナを細かく砕き、放射性物質である放射性セシウムの濃度をゲルマニウム半導体検出器で測定しています。木の種類ごとの「放射性物質が中心に集中しやすい」、「ほとんどが樹皮に残ったまま」といった傾向を見極めたり、樹木の放射性セシウム量を算出したりします。また、日本森林学会等で研究成果を発表する機会があることも励みになります。指導教員の大久保達弘先生からは、放射能汚染のメカニズムや特性、解析手法等と併せ、多様な形式での発表手法もご指導いただきました。将来は、ここで学んだことを生かし、林業、森林行政等における諸課題を一つでも多く解決して日本の森林環境の改善に役立ちたいと思っています。

cheers you up

キミへ のエール

大内 翔平

私は研究を始めた当初、「未知の問題に取り組むなんて、自分にはできないのではないか」と思っていました。しかし、日々研究をしていると、たとえ小さなことでも何かしらの発見があり、疑問が生じて、解決したくなります。これを繰り返していたら、新しいアイデアに辿り着きました。教科書にない問題の答えを探すのは、すでに明かされた答えを探すよりも時間がかかりますが、とても面白く、もっと続けたいと思ったため今に至ります。皆さんもぜひ、自分の興味のある分野を究めてみてください。

cheers you up

キミへ のエール

福原 玲於茄

「研究」と聞くと、とても難しくて複雑なイメージを持つかもしれません。確かに複雑で、途中で迷ってしまうことが私にもあります。それでも、「誰かの役に立ちたい」という気持ちが研究をする際には大切なのではないかと思っています。だからこそ、その研究が評価されれば、誰かの役に立てたことが実感できるので本当に喜ばしいことです。高校生の皆さんにはぜひ、社会に対する自分なりの問題意識や、誰かのためにこうしたい、という思いをもって大学に入り、自身の興味分野を深めて欲しいと思っています。

cheers you up

キミへ のエール

中島 芳

もしあなたが大学に進学したい、就職したいと思うとき、その理由は様々だと思います。高校で好きなことが見つかった、将来就職するために必要だから、自分のやりたいことが見つからないからとりあえず進学…なんて方もいるかもしれません。皆さんの理由がどうであれ、どのような状況でも楽しく生きるためには必要なことがあります。それは「いま自分が何をしたくて、何をするべきなのか」を考えることです。どんな些細なことでも構いません。自分から動き出す主体性と、自分の人生のクオリティを自分で上げる努力が必要ではないでしょうか。そして、皆さんが悔いの無い人生を過ごせることを願っています。

※ 2021年4月の大学院改組に伴い、地域創生科学研究科修士課程は博士前期課程になりました。
また、2020年度で国際学研究科及び工学研究科博士課程の学生募集を停止し、2021年4月から地域創生科学研究科博士後期課程になりました。

ウダイカイワイマップ

ちょうどいい規模感と距離感の宇大界隈マップです！

都会と田舎の良さがほどよく混じり合う栃木県。そのほぼ中央に位置する宇都宮市に宇都宮大学はあります。2つのキャンパス間の距離も近く、そして、東京へ山へ海へ、ほどよい位置にあり、周囲に落ちついた住宅地が広がる大学界隈をイラストで紹介します。

ゲレンデや温泉へ

県の北部には、日光と並ぶ観光地・那須高原や、スキー場や温泉がいくつも！栃木県外から進学する人も友達や家族が遊びに来たら案内できる観光地がたくさん！

農学部附属演習林

宇都宮大学から北西へ車で50分ほどの塩谷町の船生演習林、車で90分ほどの日光国立演習林があります。（→詳細記事 P74）

教育・実習施設 日光自然ふれあいハウス

日光国立自然公園の湿原「戦場ヶ原」に隣接した学生と教職員が利用できる宿泊可能な施設です。

東京まで電車1本で！

JR宇都宮駅から在来線快速で東京駅まで約90分。新宿まで約100分。ライブや展覧会巡りなどアクティブに動く宇大生には大助かりです！

農学部附属農場

車で約30分の距離に、日本一広大な農場の景色が広がります。秋には一般にも解放される「農場フェスティバル」も開かれます。

太平洋へ！

海なし県の栃木ですが、キャンパスから東へ車を走らせたら、約70分（北関東自動車道も使用）で茨城県の大洗町のビーチへ！

●キャンパス内の地図については宇都宮大学のホームページ「キャンパスマップ」を。

●キャンパスへの交通アクセスについては、P111を。

イラスト｜吉永健留　教育学部（美術教育専攻）卒業生

CAMPUS LIFE FEATURE

宇大生の走り方

大学生活ってどんな感じ？
自由な時間が増えるってホント？
週末や夏休みは、みんな何をしてるの？
４年間ってどんな風に進んでいくんだろう…

新しい扉が開く大学生活には、不安や疑問もあるよね。
歩いたり、立ち止まったり、走り続けたり、スキップしたり…、
そんな宇大生の、365日×４年間のリアルを伝えます！

HOW TO RUN, HOW TO WALK.

宇大生の走り方｜目次

- ウダイカイワイマップ｜キャンパスはどんな町にある？ P78
- みずから動く宇大生の７つのカタチ｜主体的な活動 P81
- 主体的な活動の拠点、学びの空間｜ラーニング・コモンズ P84
- 好きなことにとことん熱中！｜サークル活動 P85
- 走ったり歩いたり、立ち止まったり｜宇大生の４年間 P88

大学生活のサポート情報とキーワードも満載◎

協力｜「やりたいことをカタチに！」実行委員会、「宇大生の走り方」プレゼンテーターの皆さん、C.C.S（宇都宮大学生協学生委員会）、COC＋学生広報スタッフ「しーたす！」編集部、ほか多くの在学生のみなさん｜所属や学年、活動内容は、取材時のものです。

01

ひとりの学生のアイデアから
自主的にチームが発足！

やりたいことをカタチに！ 実行委員会

どんなこと考えて、どんなことをしているの？学部と学年の境を超えてシェアする場をつくる！

「うちの大学って、けっこう個性的でユニークな活動している学生が多いけど、知り合える機会がないよね？　じゃあ自分たちでつくっちゃおう！」という発想で、2016年に立ちあがった、学生による学生のためのトークイベントがあります。「面白い宇大生を知る」→「やりたいことをカタチに」→「宇大生の走り方」と名前を変えながら、トークやワークショップを５回開催。学内外でいろんな活動をしている宇大生が、各回５名ほどプレゼントークをして、その後参加者とグループにわかれてあれこれ語り合うスタイル。地域の方や先生が聞きに来てくれることも！　企画と運営を行う「やりたいことをカタチに！実行委員会」の大野センパイは「自分から積極的に動いている人の姿を見て何かを感じ取り、何かにチャレンジしたい！と考え始めるきっかけになってるし、参加者同士もつながって、プレゼンターの活動に参加したり新しいことを一緒に始めたり、出会いの場としても育ってます」と語ります。

プレゼンターも、実行委員が中心になって自薦他薦で決めていきます。スライドを使ったプレゼントークも、それぞれの個性やキャラが出ていて、充実の内容です。

実行委員のセンパイからキミへ！

大野 智成さん
教育学部学校教育教員養成課程４年
（栃木県立宇都宮北高等学校 出身）

金敷 奈穂さん
農学部農業環境工学科３年
（栃木県立真岡女子高等学校 出身）

宇大に来たら、専門以外にも関心を広げてたくさん経験をつもう。「わくわくしてきたー」という感覚を大切に！

宇大はキャンパス間も近いので、学部問わず知り合いの知り合いからネットワークが作りやすいと思います！

吉澤 潮さん
地域デザイン科学部
コミュニティデザイン学科３年
（埼玉県 開智未来高等学校 出身）

私たちが、みずから動く宇大生のいろんな活動を紹介します！

主体的な活動
VOLUNTARY ACTIVITY

KEEP MOVING!

02 学生＆社会人混成で学びの場づくり
KAMAGAWA POCKET

**地域に飛び出して
先輩たちが作った拠点で
学びと実践をアップデート！**

日本各地で増えている、空き家をリノベーションして地域活性化の拠点にしようという取り組み。行政やNPO法人などが主導する例が多いようですが、宇都宮市の中心市街地には、宇大生が自主的に築60年の空き家を改修して作った、まちづくりの拠点 KAMAGAWA POCKET（通称KP）があります。2013年、当時、宇大の大学院で建築意匠を専攻し、中心市街地の空き家や空き地の研究に取り組んでいた中村周さん（現在は都内の設計事務所勤務・週末は宇都宮で活動）が、「いっそのこと、自分が中心市街地に住んでみよう」と、友人たちに呼びかけて築60年の空き家をリノベーションして、住居兼アトリエ、イベントスペースを作ったものです。今も、住居部分には3代目となる建築を学ぶ学生が住み、中村さんと後輩や地域の方たちで、さまざまなクリエイティブな活動を生み出しています。その1つである、街の景観を考える連続レクチャー＆ワークショップの講座などを通して、市民の方たちとも協働する拠点に育っています。

①②KPの前を流れる釜川の源流地帯で開催した自然体験ワークショップ。③KP近くで2例目として改修中のビルを利用して開催した「デザインを通してまちの将来ビジョンを考える講座」で中間プレゼンの様子。④KPのイベントスペース。

03 授業の受講生が自主勉強会を開き、サークルへ！
UIPJ／宇都宮大学 国際平和と司法研究会

**紛争の解決策は？
国際平和の構築は？
学生みずからアカデミックな
議論の場をつくる！**

UIPJ（Utsunomiya International Peace and Justice）は、国際学部の授業「国際人権論」「多文化共生基礎E（国際法）」を受講した2年生が中心となって自主的に立ち上げた研究会で、大学公認サークルとなり活動を続けています。メンバーそれぞれの研究や調査活動の成果、学外で参加するセミナーなどの報告を持ち寄り意見交換する勉強会を行うほか、さまざまな視点から意見交換を行う場をつくるために、外部からゲスト講師を招いての公開研究会も主催しています。2018年度には、顧問の国際学部の藤井広重助教の研究室と共催で、シンポジウム「文民の保護とは何か―コンゴ民主共和国と国連PKO―」を開催。基調講演をお願いした内閣府国際平和協力本部事務局の北丸薫子さんへの依頼や打ち合わせも、代表の福原玲於茄さんを中心に学生が行い、基調講演のあとに3つの班に分かれて行った研究発表の準備などを通してアカデミックな学びを深めました。

①基調講演と学生の研究発表のあとは、講演者の北丸さんや国際学部の清水奈名子准教授や学生からコメントを。②③会場で配布されるレジュメや研究発表のスライドも勉強会を重ねてブラッシュアップ。④学内外からの参加で大講義室が埋まりました。

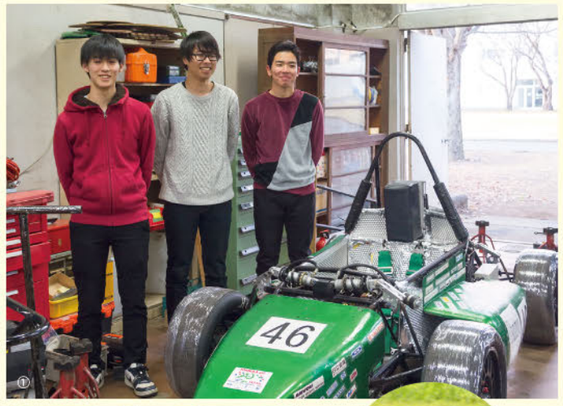
7 Activities
CAMPUS LIFE FEATURE

やりたいことが見えてきたら、前を向いて走り始めてみる！

みずから動く宇大生の7つのカタチ

04 工学部の学生プロジェクトを自主運営
UUFD／宇都宮大学 フォーミュラデザイナーズ

**自主性、創造性、
マネジメント力を磨きながら
全日本学生フォーミュラ大会に出場！**



①写真左の大石達也さん（工学部電子電気工学科2年）は、排気や燃料の担当。中央の稲葉さんは、ブレーキ・駆動系の担当。右の石井裕也さん（工学部電気電子工学科2年）は、吸気の担当。②③設計も走行もチーム一丸となって！

05 ボランティアから始まる地域社会参画
NPO法人でインターン体験

**イベント運営も
ラジオのパーソナリティも
一歩踏み出して体験すると、
次の扉が開いてくる！**

地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科2年の宮坂真耶さんは、宇都宮のコミュニティラジオ局「ミヤラジ」の番組で1年生の1月から2年生の12月までの1年間、パーソナリティを務めました。番組を提供する宇都宮市のNPO法人のインターン生としての活動の1つです。生活困窮者や介護問題などに関心を寄せる宮坂さんは、勉強や中山間地での地域活動を行うサークル、アルバイトなどに加えて、インターン生として、アメリカ発祥のフードバンク活動（生活困窮者への食糧支援）のイベント運営に参加したり、ラジオの番組では、ゲストを招いて福祉や環境の領域で県内各地で動いている人の話をコメンテイターの方たちとともに聞き、その内容をNPO法人のウェブでレポート。「どんな時もまず相手の存在を大切に」「自分だからこそできることが、きっと誰にでもある」という気づきを得たと言います。

① NPO法人とちぎボランティアネットワーク提供「みんながけっぷちラジオ」オンエア中。②国際学部2年の稲川星さんもミキサーとして活躍。③同じ学科の佐藤綾香さん（前列左から2番目）もインターン生として参加。イベントには宇大生の参加が多くて心強かったそう。

UUFDは、大学生のF1レースとも評され、国内はもとよりアジアからも100を超える大学チームが出場する「学生フォーミュラ日本大会」に参加している学生団体。工学部の学生が中心となり、教職員から指導を受けながら、レーシングカーの構想から設計、製作までを行い、大会に参加しています。2019年度（UF-17）のプロジェクトリーダー、稲葉祐介さん（工学部機械システム工学科3年）によると、スポンサーを探して資金を集め、チーム一丸となって車両の製作からレースでの走行までを学生主体で行うので、好成績をおさめたときの達成感は他では味わえないものだそうです。スポンサー企業からは、資金、パーツ、テスト場所の提供などのご支援をいただき、大学と企業との連携も学生主体で作り出す、ものづくりの総合力を鍛えられる活動です。

06

ビジネスコンテストで最優秀賞
在学中に起業へ！

株式会社アグクル

消費者の「食」と生産者の「農」を発酵食品でなめらかに繋ぎたい

①

農学部農業経済学科４年の小泉泰英さんは、４年生に進級した5月に「株式会社アグクル」を立ち上げ、10月には米こうじを使った発酵調味料を発売しました。閉店したスーパーの建物を借りて事務所兼工場を整えて製造販売を行っています。塩麹や醤油麹は、肉料理の下調理や野菜の和え物など、様々に使われていますが、小泉さんは「小さな子どもでも安心して口にできるこうじの商品」をコンセプトに商品開発を進めてきました。３年生の冬には、とちぎアントレプレナーコンテストで最優秀賞を受賞して弾みがつき、先生や先輩起業家の助言を受けながら事業化を進めてきました。「食や農の領域に存在している社会課題をギャップとして捉え、そこに事業を興すことで、ギャップを平らにして、なめらかなアグリカルチャーを醸す！」こんな理念をもった小泉さんと仲間たちの挑戦はまだまだ続きます。

②

③

①「おりぜ」と名付けられた「あまこうじ」「しおこうじ」「しょうゆこうじ」は宇都宮市の「ふるさと納税起業家支援事業」にも採択されました。②③社員の佐藤綾香さん（左：地域デザイン科学部２年）皆川美咲さん（農学部４年）と。

2021 年はプロジェクトメンバーのみで宇都宮のオリオンスクエアでキャンドルを灯し、参加者はそれぞれ自宅で灯したキャンドルを SNS に投稿することでつながりました。

07

東日本大震災の記憶のために
栃木でできることを

ともしびプロジェクト

この場所だからできること見えること想いを集めて未来へつなぐ行動を

東日本大震災の記憶を風化させないために全国各地でキャンドルやろうそくを灯す「ともしびプロジェクト」が行われています。震災から10年の節目となる 2021年に栃木で行われたこのプロジェクトでは、地域創生科学研究科修士課程の岩木智史さんや課外活動団体のUP (宇大生プロジェクト) も運営の中枢を担っていました。 2013年から毎年３月11日に東北へ想いを込めてキャンドルを灯してきましたが、2021年はコロナ禍の中で、初めてリモートでの「ともしびプロジェクト」を実施しました。2020 年11月には県内高校で、２月には Youtube で震災当事者を講師にオンライン講演会を実施、そして３月11日当日には岩木さんもトークセッションに登壇。栃木で育ち、震災も栃木で経験しましたが、この地にいるからこそ見えること、感じることがあると運営メンバーで共有しています。活動する中で出会った人それぞれの想いを尊重していきながら、これからも活動を続けたいと話しました。

LEARNING COMMONS

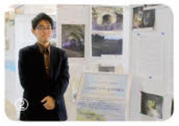
主体的な活動の拠点、学びの空間
ラーニング・コモンズ

峰キャンパス５号館１階・２階・３階

１階は24時間オープン！いつでも集まって、とことん話ができるぼくらのベースキャンプ

①

模造紙や付箋、マジックが常備されているので、思い立ったらすぐミーティングができちゃいます


②

峰キャンパス５号館に、自主的な学習や活動の拠点となるラーニング・コモンズがあります。「秋にイベントをやりたいのだけど、協力してくれない？」「じゃあ、コモンズで！５コマ目終わってから集まらない？」…という感じで、いつでも気軽に使えます。ここが活動の基点となって、また次の新しい学びや活動につながっていく…。宇大生のベースキャンプのような場所（写真①）。大勢が行き交う通路沿いには「コモンズ・ギャラリー」もあります。授業の成果物やサークルの作品展示はもちろん、利用申し込みをして個人活動の作品紹介も！ 国際学部１年の菊池蓮さんは、高校時代に取り組んだ八丈島の戦争の記録をもとにポスター展示を行いました（写真②）。学生スタッフに気軽に相談できる「おはなし処」も（写真③）開設！（→関連記事 P28）

③

宇都宮大学では、ラーニング・コモンズの他にも様々な学習場所が備えられ、課題制作や自主学習などの場として学生たちに活用されています。
なお、学生スタッフは、ラーニング・コモンズのみに常駐しています。

CIRCLE

SPECIAL ARTICLE

好きなことにとことん熱中！
趣味も関心も向上心もまるごと仲間と共有できる！
多種多彩な宇大の公認サークル紹介

高校までの経験を生かす人もいれば、大学入学を機に新しいことにチャレンジする人も意外と多いんです！
メジャー派もマニアック派もきっと居場所が見つかる宇大のサークル活動を紹介します！

滑空部

To the Sky!

鬼怒川滑空場からグライダーで空へ！

OBや地域の人との繋がりを大切に

滑空部2018年度代表｜浦橋 誠さん
（地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科３年　茨城県 水城高等学校 出身）

宇大の滑空部の創設は 1953 年で60年を越える歴史があって、OB の方たちとの繋がりが深く何かとサポートしていただいています。1965 年から鬼怒川滑空場を拠点にするようになり、宿泊所として東芦沼地区の公民館をお借りするようになりました。20年程前までは東大や日大のグライダー部もそこで寝泊まりをして鬼怒川滑空場で活動をしていたので、多い時期では百数十名の学生が交互に公民館へ出入りし、学生たちのために公民館にお風呂を設置してくださったという話も聞いています。この地区には羽黒山神社の「梵天祭」という秋祭りがあって、お世話になっている公民館の館長さんから、若手が少ないので協力してもらえないか？という話があって、13、４年前からは祭りに参加するようになっています。
滑空部の活動で最も魅力的だと感じるのは、自分の手で自由に空を飛び回ることができることです。初めは教官に操縦の仕方を手取り足取り教えてもらいますが、いずれは一人のグライダーパイロットとして自分で考え、自分の力だけで飛ばなければなりません。そのために覚えること、勉強しなければならないことは数多くありますが、初めてひとりで空を舞ったときの達成感は今でも覚えています。また、グライダーを飛ばすためには仲間との協力が欠かせません。集中して活動に取り組むために合宿も多く、そのため部員は家族のようでありとても居心地のよい部活です。

④

取材日の食事当番｜岩谷 岳斗さん
（工学部 電気電子工学科１年　秋田県立能代高等学校 出身）

入部してからまだ１年たっていないので、今はまだ教官さんと飛んでます。ひとりで飛ぶには、まだ時間がかかるかな。サークルの運営が予想以上にしっかりとしていて驚きました。活動日は、当番が公民館に残って食事を作って滑空場に運びます。これまでの食事の記録ファイルもしっかり残って受け継がれています。今日は、豚汁と回鍋肉を作っています。梵天祭の前なので、隣の部屋では餅も作っていて賑やかですよね。自分が住んでいた地元では、小学生の頃までは秋祭りの神輿を担いでいたけど、だんだん担ぎ手が少なくなって、中学生になった時には祭が終わってしまって残念でした。ここでは、地域の人に滑空部が期待されているから楽しみです！

①

②

③

⑤

⑥

⑦

①③④ OB も現役も性別も学部も学年も関係なく、チームワークで１機を飛ばす。 ⑤住宅地の上も飛ぶ。「シューっと音がすると、お！今日もやってるな！って空を見上げてるよ」と自治会長さん。 ②上空から鬼怒川河川敷と日光連山を（カメラマンも飛びました！）⑥公民館で食事作り ⑦梵天祭の準備にも参加。自治会の人と餅を丸めます。⑧羽黒山梵天祭。梵天と呼ばれる長い竹に房をつけたものを多人数で山道を担いで上がり山頂の神社に奉納します。

⑧

2つ3つ掛持ちは宇大生の常識!? 一生の友だちづくりもサークルで!?

CIRCLE ACTIVITIES

馬術部

7頭の馬と、大会や祭りに参加！

農学部 農業環境工学科3年｜酒井 優圭さん

峰キャンパスに隣接する馬場で活動しています。毎日の馬たちの世話はもちろん、競技の練習を重ねて馬術大会に出場し、地域のお祭りにも参加しています。馬は、とても温厚で優しい生き物なんですよ。動物が好きな人、新しいことを始めたい人、刺激的な毎日を送りたい人にはぴったりの部活です。ぜひ一度馬に会いに来てください！

サッカー部

Band Stand うたう会

アカペラサークル U-MIC

さーくる箏

バレーボール部

D-friends

UU-PRAS

広報活動を本気で楽しむ！

農学部森林科学科2年｜中平 恵さん

UU-PRASは、大学広報の学生スタッフとして集まり、今はサークルとして、学生目線で宇大を伝える活動をしています。年に3回、フリーペーパー「うーたす！」を制作したり、大学の広報誌『UUnow』の制作に参加したり！ 企画、取材、撮影、編集、執筆、そしてデザイン・レイアウトまで…タイヘンなこともありますが、なんとかチームワークでこなしています！

日本舞踊サークル

フライングディスク部

てぃーだ太鼓

多種多彩な宇大の公認サークル紹介

スポーツ

陸上競技部・サッカー部・硬式野球部・硬式テニス部・ソフトテニス部・バレーボール部・卓球部・バスケットボール部・バドミントン部・柔道部・剣道部・合気道部・弓道部・器械体操部・ハンドボール部・水泳部・準硬式野球部・軟式野球部・フライングディスク部・山岳部・ワンダーフォーゲル部・滑空部・馬術部　自転車愛好会・ソフトボール同好会・プロレス研究会・doocle（ダンス）・基礎スキー・スノーボードサークル・釣猿・Q-TA（卓球）・クライミングサークル・Esfera（フットサル）・バドミントン同好会・極真空手同好会・MINT（テニス）・F.C.MAZZA（サッカー）・ バレーボール同好会・SUP-RASH（バスケットボール）・Fumble（ドッジボール）

音楽／芸能

混声合唱団・管弦楽団・マンドリンクラブ・てぃーだ太鼓（沖縄創作エイサー）・フォークギター同好会・現代音楽研究会・日本舞踊サークル・ブルース＆ロック同好会・軽音楽研究会（ビッグバンドでのジャズ演奏）・Band Standうたう会・アカペラサークルU-MiC・ウクレレサークル・さーくる箏

国際関係／国際貢献

Resource Network（南インドの女性支援、フェアトレード）・ナムチャイ（タイの子供達に絵本を贈る会）・UIPJ（宇都宮大学国際平和と司法研究会→P82）・TABLE FOR TWO 宇都宮（発展途上国の飢餓問題への支援）・宇大BEST（国際交流サークル）・宇都宮大学国際学生交流会

地域活動

さとびと（茂木町で棚田保全活動）・D -friends（福島県南会津郡布沢地区で地域住民と活性化活動）・ほんわか大木須♪（那須烏山地区での自然観察、和蜂飼育・採蜜）・あいあい食堂

そのほか文化系

生物研究会・園芸研究会・探鳥会・天文星座研究会・ネイチャーフレンド（小中学生へ自然観察会や環境教育）・ちゅう食研究会（虫や野草の観察・調理の研究）・囲碁部・手話を学ぶ会・漫画研究会・写真部・美術研究会・演劇研究会・E.S.S.(英会話研究会)・心理学研究会・TRPG同好会（テーブルトークロールプレイングゲーム）・LOMO（リサイクル活動）・HOLIC（フリーペーパーの発行）・おおるり（教員採用試験勉強会）・華道部・現代視覚文化研究会・レッド・レンジャー（献血啓発活動）・裏千家茶道・競技かるた同好会・にじみや（セクシャルマイノリティの居場所づくり）・宇大人狼会・couturier（手芸サークル）・ものづくり研究会・将棋部・保護猫サークル・Action宇大・ハナダの杜（ポケモンサークル）・声優研究会・新入生歓迎／学祭実行委員会・C.C.S（宇都宮大学生協学生委員会）・ECHO（宇都宮大学環境改善学生サポーター）・UP（宇大生プロジェクト）・UU-PRAS（宇都宮大学広報学生スタッフ）・宇～太LOVE委員会・音楽・アニメーション作成サークルUCG・東方宇大禄・宇都宮大学附属図書館 図書館サポーター・IN STYLE・ミステリー研究会・プロ野球同好会・坂道同好会ほか

Topics 01

キャンパスライフを支える企画運営にも活躍！

学務部と協力してキャンパス内の「エコ」活動を推進しているECHO、宇都宮大学生協と協働するC.C.S、利用学生参加型の図書館作りを進める附属図書館で活動する図書館サポーターなど、宇大では、さまざまなシーンで学生の活躍が目立ちます！

図書館サポーターは、オススメ本の紹介コーナー制作や読書会の企画運営などを行っています。

C.C.S（宇都宮大学生協学生委員会）は、新入生のための歓迎イベントや生協利用に関するいろんなイベントも企画運営しています。

Topics 02

新入生の皆さんを迎える春には…

入学式などの学内イベントでは、勧誘活動だけでなく、あちらこちらでサークルが大活躍！

「宇～太LOVE委員会」と一緒に、宇大に棲む妖精「宇～太」にもキャンパス内で出会えます！

1年
FIRST YEAR

4 years
CAMPUS LIFE FEATURE

歩いたり 立ち止まったり ダッシュしたり。 宇大生の4年間

宇大用語辞典付き！

宇大での４年間は、
どんなふうに時間が流れて、
みんなどんな日々を過ごしているの？
１年生から４年生まで、
先輩たちがキャンパスライフの
あれこれを伝えます！

宇大の印象、入学前と変わった？

大学って、テストやレポートが想像していたより大変！ 中学校や高校より勉強しているかも？ 宇大での生活は本当に充実していて楽しいです。国際学部は、様々な地域や国の人と交流できて様々な考えの人達がいて刺激になります。あと峰キャンパスは、秋の紅葉がキレイだけど、たくさん落ちる銀杏 が臭いです！笑（服部）

印象は変わりましたね。最初来たときはあまり広くないという印象を持っていたけど、大学生活に慣れてくると、それぞれの建物もそれなりに近いところにあるのでちょうどいい広さの大学だなと思うようになりました。（保坂）

中澤 美紀さん *Nakazawa Miki*
地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科
栃木県立栃木女子高等学校 出身 | 自宅から電車通学

サークル
C.C.S. てぃーだ太鼓
アルバイト
夏休みから地元の映画館で週1回、チケット販売やってます！接客や電話の取り方など勉強になりますね。
志望動機
まちづくりのプロを養成する学部だと知って。公務員になって地元で働きたいと思っています！

保坂 憲紀さん *Hosaka Kazuki*
農学部学農業環境工学科
千葉県立船橋高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル
C.C.S. ESS
アルバイト
そろそろ始めようと思っているところです。
志望動機
環境や生態系とのつながりを考えた農業を学びたいと思っていて、宇大には、農学と工学を兼ねた学科があると知って農業環境工学科を選びました。

岡崎 颯斗さん *Okazaki Hayato*
工学部情報工学科
山形県立山形中央高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル
C.C.S.
アルバイト
GW 明けから近所のコンビニで。長い時で8時間くらい働くので働くことの大変さがわかって、親に感謝！
志望動機
これからの時代は情報だ！と考えて宇大で情報を学びたくて！

吉田 理紗さん *Yoshida Risa*
教育学部学校教育教員養成課程
福島県 私立日本大学東北高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル
C.C.S.
アルバイト
４月から週１回、塾講師をしています。教え子の成績が上がると嬉しいですね。
志望動機
教師を志す私がしっかり学べて、福島の自宅にも気軽に帰れる距離の大学だから。

服部 花菜さん *Hattori Kana*
国際学部国際学科
栃木県立栃木翔南高等学校 出身 | 自宅から電車通学

サークル
C.C.S.
アルバイト
２年生になったら始めたいと思ってます！何がいいかな～。
志望動機
観光関係の仕事に憧れていて、いろんなことを学び視野を広げたいと考えたので。それから中国語を学びたかったから。

お昼は、どこで？

週に学食４日、コンビニ１日という感じで食べています。（保坂）

ほとんど母が作ってくれるお弁当。たまに友達と外食をしたり学食で食べたり。（中澤）

ほとんど学食、混んでいるときは近くのショッピングモールへ。（岡崎）

週に学食3回、弁当かコンビニ２回という感じ。火曜日は、みんなでお弁当を食べる日です。（服部）

毎日学食です！（吉田）

大学生になって、できるようになったことは？

料理ができるようになって、今では趣味に！ 和食洋食なんでも作りますよ。実家に帰ると家族に必ず作ってあげます。（吉田）

他人に対して自分の意見を堂々と言えるようになった。（服部）

自分で考え、行動すること。（中澤）

自然と部屋の掃除や片付けもできるようになりましたね。一人暮らしすると意識が今までとはやっぱり違いますよね。…人にもよりますけど！笑（保坂）

料理を少し覚えた。オムライス、ムニエル、炒飯は作れるぞー！（岡崎）

宇大用語辞典 *uu.term dictionary*

1【銀杏】
ぎんなん。熟すと独特な臭いが！ 峰キャンパス正門を入ったメインストリートイチョウ並木は、秋にたくさんの銀杏を落としてくれます。黄金の景色の中、散歩がてら拾いにくるご近所の方や、鼻をつまみながら踏まないようにステップを踏む学生の姿が…。

2【さくらフェスタ】
桜の名所、陽東キャンパスで工学部が中心になって４月初めの週末に開催している地域との交流イベント。サイエンスカフェや実験体験など家族で楽しめるお祭りです。

3【空きコマ】
例えば１コマ目と３コマ目の授業を履修した場合、埋まらない２コマ目を先輩たちは「空きコマ」と呼んでいます。次の時間の予習をしたり、アパートが近い先輩はたまった家事をしに帰ったり、ダッシュでカラオケに行って歌ってくる！というアクティブ派も。

どんな１年間？ *Annual Schedule*

4月	●陽東キャンパス「さくらフェスタ」 ●9日 前期授業開始	4月 1年生TOEICテスト（EPUUのクラス分け） 入学式 健康診断 オリエンテーション
5月		
6月		
7月	●前期定期試験	7月 オープンキャンパス 8月 1・2年生 TOEIC テスト
8月	●7日 夏季休業開始	
9月	●30日 夏季休業終了	
10月	●1日 後期授業開始	10月 キャリアフェスティバル 保護者ガイダンス
11月	●22日 開学記念日 ●大学祭	
12月	●25日 冬季休業開始	
1月	●4日 冬季休業終了 ●1、2年生 TOEIC テスト	
2月	●後期定期試験 ●9日 春季休業開始	
3月	●25日 学位記授与式	

※年度や状況により、変更される場合があります。

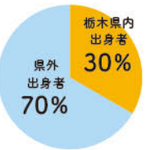
Good luck!

大学では、高校生の頃より時間に余裕が生まれるので、自分の時間をどう使うかが、とっても大切！高校生のうちに、スケジュール管理もうまくなるように頑張って～！

みんなどこから？ *Where are you from?*

出身高校の所在地は、学年や学部によって違いがありますが、全学部の平均は、右の円グラフのようになっています。

北海道から沖縄まで、ほぼすべての都道府県から宇大へ！行ったことがない地域の話を聞けたり、長期休みに友達の実家を訪ね歩く旅をしたり。大学では、友だちを通して新しい世界も広がります。



授業の時間割は？ *The class schedule*

私の１年前期の時間割です。授業をとっていない空きコマは、予習や課題に取組んだり、おしゃべりしたり。最近は、友だちとトランプにハマってます！

大学の時間割は自分で作ります。まず学年や学部で決められた必修授業を入れ、空いたコマに、卒業までに取得すべき科目数（単位）を考えながら、選択科目の中から関心があるものを選んで履修登録をします。

地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科1年前期　中澤センパイの時間割

	月	火	水	木	金
1コマ 8:40-10:10	Integrated English ⅠB	新入生セミナー	環境と生物化学	経済学概論	
2コマ 10:20-11:50			高齢者福祉入門	公共政策入門	地域デザイン学序論A
3コマ 12:40-14:10		人間と社会			データサイエンス入門
4コマ 14:20-15:50	スポーツと健康	Integrated English ⅠA	実践宇都宮のまちづくり	地域社会総論	Integrated English ⅠA
5コマ 16:00-17:30			実験心理学入門	前半：地域コミュニケーション演習 後半：地域の姿と課題Ⅰ	

サポート
SUPPORT

宇大のキャンパスライフサポート

生活も学び方も交友関係も大きく環境が変わる大学生活。
ここでは、いろんな視点からのサポートの仕組みや施設を紹介します！

住む　学生寮

宇大には、個室で自炊タイプの４つの学生寮があります。「雷鳴寮（36名）」「陽東寮（80名）」「第１寮（36名）」が男子寮、「第２寮（44名）」が女子寮です。寄宿料は月額で 17,000 円（雷鳴寮と陽東寮）、7,000円（第１寮と第２寮）、入寮時に入居一時金 30,000 円が必要です。2022 年４月から入寮できる最新設備を備えた安心安全の女子寮（103名, 寄宿料未定）を建築中です。キャンパス周辺のアパートは、１K～1DKの学生向けの物件が豊富で、家賃相場は月額平均 35,000 円です。

学び　総合メディア基盤センター

どちらのキャンパスにもあり、構内での wifi 環境の整備と情報提供や、授業がないときに学生が自由に使えるパソコン室などの環境を整えています。
また、wifiが使えるエリアを拡大中です。

学び　宇都宮大学附属図書館

峰キャンパスに本館が、陽東キャンパスに分館があり、合わせて蔵書は65万冊以上。パソコン室やグループ学習用の部屋もあります。学内のネットワークに接続しているパソコンからは、海外の電子ジャーナル約6,200タイトルを読むこともできます。

健康　保健管理センター

どちらのキャンパスにもあり、心身の不調や怪我などのケアはもちろん、定期健康診断をもとにした健康管理、講演会・研修会などの健康教育も行われています。自由に使える体脂肪計や血圧計、マッサージチェアもあります。

活動　学生ボランティア支援室

大学生になったらボランティア活動をしてみたい！震災や豪雨の被災地で活動したい！ そんな学生のサポートを行う相談窓口です。登録した学生へのボランティア活動機会の情報提供から、機材などの貸し出し、ボランティア活動証明書の発行まで、さまざまな支援を行っています。

相談　学生なんでも相談窓口

修学や履修に関すること、人間関係のこと、アルバイト先でのトラブルや人権に関することなど、２つのキャンパスそれぞれに「なんでも」相談できる窓口があり、少しでも解決に近づくようにサポートを行っています。

- キャリアサポート
  → キャリアセンター（P102）
- 留学や国際交流サポート
  → 留学生・国際交流センター（P20）
- 自主活動やアクティブラーニングのサポート
  → ラーニング・コモンズ（P28/P84）

宇大生のキャンパスライフをまるごとサポート

宇都宮大学生活協同組合
峰キャンパス店・陽東キャンパス店

購買書籍部＆サービスカウンター

お菓子やパン
お弁当
書籍
文房具
資格取得のための講座や各種検定試験の受付
住まいの紹介
家具・家電類
JR 券や航空券の手配
国内旅行や海外旅行手配
通学用の自転車やバスカード
自動車教習所の申込み
パソコン
教科書
宅急便

あんなことやこんなことも
頼りになります！

宇大オリジナルグッズも買えます！

グッズや附属農場の加工品なども販売されています。
帰省のお土産に人気！

学生食堂

500円で栄養バランス良く
ガッツリ食べられる！

宇大用語辞典　uu.term dictionary

1【単位パン】
たんいぱん。都内の大学で試験期間中の「単位も売って欲しい」という学生の要望に応えて（？）生まれた、首都圏の大学生協で販売される、「単位」の焼印ありのクリームパン。宇大生協でも期間限定で取り扱い中。今年は？

2【宇～大】
う～た。宇都宮大学を見守り、学生たちを密かに応援している妖精です。ちょっとシュールな顔をしてますが、ゆるキャラというわけではなく妖精なものですから。

売店
ちょっと嬉しい
スタッフさんに心配されて…
長く行かないと
割引価格で取り寄せ！
読みたい本も
雑誌をみたいときに便利◎
小腹が空いたとき、
ほかにもある！
おすすめポイントを、ぼくたちC.C.S.の先輩から！
（人が多い時間帯は見つかりにくい）
研究室からの一時逃亡先です！笑
期間限定メニューが嬉しい！
巻いて食べられる！
自分でソフトクリームを
暑い夏！
学食

2年
SECOND YEAR

授業後や週末の過ごし方は？

２年前期は週の前半に授業が多かったので、月曜日はバイトは入れず勉強の日と決めてました。バイトは、火水で夕方から1時くらいまで、金土は夕方から朝まで！木曜がサークルの日ですね。週末は、宇都宮のユニオン通りで古着屋巡りをしたり、ネットで映画を見たりしてます！

農学部農業環境工学科2年前期　犬丸センパイの時間割

	月	火	水	木	金
1コマ 8:40-10:10	計測法	土壌物理学			
2コマ 10:20-11:50	水質環境工学	農村計画論	地域社会学	流体力学	
3コマ 12:40-14:10	Advanced English	森林生態学	熱帯農学	田園生態工学演習	
4コマ 14:20-15:50		農業経済学			
5コマ 16:00-17:30	PC 処理				

犬丸センパイは…

1年の夏休み
マレーシアへ2週間のボランティアツアーに参加
道路を作ったり戦争体験者の方の話を聞いたり家畜の屠殺場を訪れたり竹の家に寝泊まりしたり…。

2年に進級する春休み
タイ・カンボジア・ベトナムを初めてのひとり旅で横断

2年の夏休み
インド横断ひとり旅
満員電車に乗車して 1500km を 24 時間で移動。さらにラクダで砂漠まで移動して砂漠泊。ガンジス川にも入りました。バラナシで恐喝にあうも、無事に逃走！
+フィリピンへ2週間のボランティアツアーに参加

Spring & Summer Vacation

春休み 夏休みは何してる？

渡邉センパイは…

2年に進級する春休み
2週間の海外ビジネスインターンでベトナムへ！
ベトナムで新規事業の企画を自分たちで考えて立ち上げるというプログラムで、大変だったけど結果を出せたときの感動は忘れられません。

2年の夏休み
山梨県の丹波村で村おこし企画の合宿に参加
３泊４日で活性化につながる企画を考えるイベントです。なんと！僕以外は全員山梨県民という完全アウエー状態でしたが、今でも丹波村とは関わりを持って新しい取り組みを検討中です。

授業後や週末の過ごし方は？

これまでは埼玉の実家から片道1時間半かけて通っていたけど、3年にあがったら一人暮らしの予定なので、時間の使い方も変わりそう。週末は、長期インターンをしている会社の仕事やイベントで東京に行くことも多いし、授業の課題レポートに取り組む日もあるので、完全にフリーな日は月に1回あるかないか…。忙しいのは充実してるってことです！

専門の学びを生かすためにも、いまのうちに、広く海外に出ていきます！

犬丸 一海さん　Inumaru Kazumi
農学部農業環境工学科
札幌市立札幌藻岩高等学校 出身｜アパート暮らし

サークル
あべっちFCなどサッカーやフットサルのサークルを複数掛け持ち

アルバイト
１年の５月から居酒屋でバイト中。週末の忙しい時は、目の前のことをスピーディにどう処理していくか？という情報処理の視点でも鍛えられてます！

日本の地域でも海外でも、専門につながる学びや活動へ！

渡邉 大誠さん　Watanabe Taisei
地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科
埼玉県 春日部高等学校 出身｜実家から電車通学

サークル歴や自主活動
スポーツ系や地域系のサークルを掛け持ちしながら、学科の教授や地域の方達と宇都宮のまちづくりゲームを作る団体「SIM みや 2030」にも参加。宇都宮の未来を考えながら楽しめるゲームシナリオ考案中！

アルバイト
地元で塾講師＋不定期でイベントスタッフの派遣バイトも！

部活、バイト、理系の勉強、
全体を見通す力がつきました

塚田 悠太さん *Tsukada Yuta*

工学部機械システム工学科
大阪府立桃の木高校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
サッカー部 副主将。練習は週4日。火曜、水曜、金曜は19時から。土曜又は日曜は試合。1年生からレギュラーに。2年生のときには、学祭サークルにも入り、大学祭に向けて外部との交渉役を果たしました。複数のサークルに入ると活動の幅が広がります！

アルバイト歴
1年生の頃からアパレルで働いています。社会人と関わることで社会のルールや仕事のあり方を学ぶことができました。バイトはやった方がいいと思います！

自分と向き合って、
将来の自分の理想像を
見つけるための経験を

福田 春奈さん *Fukuda Haruna*

教育学部学校教育教員養成課程教科実技系
栃木県 國學院栃木高等学校 出身 | 実家から車通学

サークル歴や自主活動
学外のNPO法人（東京支部）に所属して、障がいボランティアキャンプなどに参加しています。個人活動として、フリースクールや長野県にあるイエナスクールでのボランティアも体験。

アルバイト歴
ビュッフェレストランのキッチンのバイトと、決まった曜日と時間じゃなくて、空いている時にいろんな職種を体験できる派遣のバイトをやってます。夏はバスケの大会のビールの売り子、冬はスキーグッズ販売など。結婚式場のバイトでは幸せな気分に♡

東京・首都圏、
東日本も、
ほどよい近さ！

学科の友人と都内の建築系の展覧会に行って、あれこれ話して学びあうことも！

好きなバンドのライブで都内へ～
インターン活動で神奈川へ。

We are THE TOMATOES!

他の大学の音楽女子とも繋がって活動中！

速水 秀太さん *Hayami Shuta*

地域デザイン科学部建築都市デザイン学科
東京都 国立東京工業大学附属科学技術高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
軽音サークル Band Stand うたう会、UU-PRAS（フリーペーパー「うーたす！」のデザインと装丁担当。
サークル外のバンド活動も。

アルバイト歴
1年の頃は結婚式場で。2年前期からは塾講師。結婚式場のバイトでは飲食・サービス業界の大変さが身にしみて分かったので、それからは自分がお客さんの立場の時には、スタッフの人に優しくふるまうようになりました！笑

木津 英美里さん *Kizu Emiri*

地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科
栃木県立宇都宮東高等学校 出身
実家から自転車通学

サークル歴や自主活動
現代音楽研究会、自主バンド活動 THE TOMATOES など。音楽活動以外にも、高校生に勉強場所を提供するカフェ「スタディカフェぺんしる」を立ち上げて代表を務めたり、県内の高校生と一緒に企画運営する「とちぎハイスクールフェスティバル」の 2018 実行委員長も。

アルバイト歴
ケーキ屋さん、コンビニ、派遣バイトで短期工場勤務など

宇賀神 藍さん *Ugajin Ai*

国際学部国際文化学科
東京都 国本女子高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
個人で THE TOMATOES などの音楽活動を展開中。近くの町で中学生や高校生に楽器演奏を教えたり、宇都宮の中心市街地でまちづくりを学び考える拠点 KAMAGAWA POCKET（→ P82）の活動に参加したり！

アルバイト歴
アパレル店、懐石料理屋さん、レコード屋さん、パン屋さん。パン屋さんは、大好きなビートルズの曲名から名付けられた名前のお店で彼らの世界観に浸りながら働けて、長く続けてます！

WHAT ARE YOU DOING?

週末や
長期休みは
何してる？

塚田センパイは…

1年生の頃から、定期的にチャリ旅をしています！主にサッカー部の仲間と4人で、宇都宮から箱根、仙台、熱海へロードバイクに乗って行き観光など楽しんでいます。最近はチャリで富士山を1周しました！

福田センパイは…

3年にあがる春休みは、2週間のベトナムでのビジネスインターンに参加。夏休みは、障がいボランティアキャンプで北海道へ。24時間体制で障がいのある方たちと過ごすキャンプでは、その厳しさと楽しさを実感。大学内の勉強だけではわからなかった経験ができました。

木津センパイは…

週末は、バイトで貯めたお金で好きなバンドのライブに東京へ！ 長期休みは、バイトやサークル活動がメインで、その合間に県内外への旅行。3年の夏休みは、神奈川県のコミュニティカフェを運営している会社で2週間のインターンも体験しました。

宇賀神センパイは…

ゆっくり目覚めてギターを弾いて、喫茶店でコーヒー飲みながらぼーっと過ごせる休日を大切にしています。
木津さんも一緒に東日本の女子大生連合軍的な（笑）バンド活動もしてるんですが、大学の長期休みは、離れている友だちと一緒に活動もできるのでいいですね！

速水センパイは…

週末は、建築の課題制作やバンド練習が優先で、何もない時は、カフェや美術館めぐりや、ライブに行ったり。長期休みは、東京まで出かけて展覧会や美術館巡りをゆっくり楽しみます。

空きコマは、何してる？

昼間は、料理が好きなので家に帰って自炊をしています。課題やサークルのバンド練習をやることも。建築は3年の後期でも意外と時間割が埋まりますが、隔週の講義もあるので見た目ほどハードではないですよー。

地域デザイン科学部建築都市デザイン学科3年後期　速水センパイの時間割

	月	火	水	木	金
1コマ 8:40-10:10					建築計画学 IV
2コマ 10:20-11:50			設備工学 III	地域環境エネルギー計画	建築デザイン
3コマ 12:40-14:10	建築地域設計製図	建築生産（隔週）	建築法規（隔週）	建築史 III / 建築環境実験	土質基礎工学
4コマ 14:20-15:50					
5コマ 16:00-17:30		地域プロジェクト演習		高齢者防災論	

4年
FOURTH YEAR

専門分野で、思う存分、そして何より楽しく学びを深めることができました。

織田 光さん *Oda Hikaru*
農学部森林科学科
東京都立町田高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
探鳥会、ワンダーフォーゲル部で登山やラフティング、パラグライダー、スキーなど。

専門での研究や卒論のテーマ
森林生態学・育林学研究室に所属して、どの様な仕組みで森林が世代交代しているかについて、県内と山形のブナ林に調査区を設けていて、5年に1度植生の調査を行なうことで森林の仕組みの解明に取り組んでいます。卒業研究では、鳥類に対して影響を与えている環境要因を明らかにすることを目的として、農学部の船生演習林にある人工林以外の森林の鳥類の多様性について調査し、まとめました。
就職内定先 | 山梨県庁

笑顔や成長を間近で見ることの喜びを感じながら、子どもと一緒に学んでいきたい。

柳 好恵さん *Yanagi Yoshie*
教育学部学校教育教員養成課程
教科理系数学専攻
栃木県立真岡女子高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
陸上部。高校はスポーツとは無縁の生活だったけど、小中で少しやっていた陸上の世界へ。中距離（800m / 1500m）で4年間走り続け、4年次には教員採用試験の勉強と両立して練習、関東インカレには1秒足りずに出場できなかったけど、一番記録を伸ばした1年でした。3年次には主将も。

専門での研究や卒論のテーマ
算数・数学教育の研究室に所属して「算数的表現力を育成するための教師の役割」を卒論のテーマに、先行研究を分析しながら、実際に授業実践も行いながら研究を進めました。
就職内定先 | 栃木県教員

多角的に物事を見る視点と批評的な視点。宇大で培った財産です。

葛原 南美さん *Kuzuhara Minami*
国際学部国際社会学科
青森県立弘前中央高等学校 出身
3年まで大学寮→妹とアパート暮らし

サークル歴や自主活動
インドと国際協力サークル・リソース・ネットワーク、福島の原発事故後に立ち上がった Fnnnp.jr（福島乳幼児妊産婦ニーズ支援プロジェクト）」、学外では、フェアトレード祭りを運営する実行委員会にも参加。

専門での研究や卒論のテーマ
グローバル教育ゼミで、教育や人権、多様性について学びました。卒論は、セクハラや性暴力について、
被害者からの聞き取り調査をもとに、被害者の心理や社会制度の不備について考察をまとめました。2017年の#Meetoo運動や友人からの被害のカミングアウトを受けて、他人事ではないと考えたから。
就職内定先 | NHK

少し先の未来が人に優しく豊かなものになるように。ITで、そんなサービスをつくりたい。

志村 雄基さん *Shimura Yuki*
工学部機械システム工学科
岩手県立不来方高等学校 出身 | アパート暮らし

サークル歴や自主活動
サッカーやフットサルのサークルに所属しながら、趣味が高じて料理教室を開催したり、1年次から都内を中心にインターンシップを体験。課題解決型インターンシップやカンボジアでのインターン体験も。

専門での研究や卒論のテーマ
計算心理工学研究室に所属して、人工知能を用いて自動的にSNSから情報を抽出する手法を、県内サービスを運営している企業と共同研究を行っています。卒論タイトルは「自然言語処理を用いたソーシャル・ネットワーキング・サービスにおける情報抽出手法に関する基礎研究」。
就職内定先 | サイバーエージェント

センパイ4人に聞きました

I asked my senior

宇大4年間を良かった！どんなでの振り返って、と思えるのはこと？

織田センパイ

学び編

1位 学科の実習
座学で学んだことを船生と日光の演習林で体験しながら理解を深められたこと！

2位 学科の授業
もともと興味のあった森林生態学以外に林業に関することを広く深く勉強できたこと！

3位 研究室
森林の生態学について深く学べた。森林での調査はとても楽しいものでした！

生活編

1位 旅行
社会人になる前に行きたい場所（白神山地・奄美大島など）に行けたこと。もっといろいろな所に行きたかった～（笑）

2位 部活動
会長を務めた探鳥会ではグループをまとめる行動力やコミュニケーション力をつけることができました。

3位 アルバイト
登山が好きなのでアウトドアショップで3年間バイトしていました。登山グッズの知識を付けることができ、接客をすることでコミュ障を克服することができました。

柳センパイ

学び編

1位 卒業研究・ゼミの時間
自分の持っている知識を最大限に発揮し、算数や数学だけではなく、様々な知識や実体験を結び付けて、先生やもう一人のゼミ生と討論するのはとても楽しかった！

2位 学科の実習
初めて実際に教壇に一人でたち、授業を繰り広げることの責任と重圧を経験した時には、足の震えが止まらなかったのを今でも覚えている。失敗もするなかで、どのように関わりあったらいいのか考え、成長することができたと思う。

生活編

1位 部活の主将
人との関わりの中で多様な考え方があることを学び、リーダーとして試行錯誤しつつ成長したと思う。

2位 1年次のラーメン屋でのバイト
飲食業界でバイトを体験したことで、普段食事に行く場合にも、裏側で働いている人のことを考え、感謝できるようになった。

3位 学校ボランティア体験
さまざまな子どもと関わることができたし、現場の先生方の声も聴くことができた。

葛原センパイ

学び編

1位 授業でのグループワーク
多くの授業で、4～6名で話し合いや発表が課せられたので、チームマネジメントやファシリテートを学べた。

2位 卒業論文での聞き取り調査ワーク
セクハラや性暴力など辛い体験の聞き取りは、「傾聴」についても考えるきっかけになった。

3位 プレゼンテーション
レポートや活動報告などを他の学生達の前で発表して、伝え方やプレゼンの練習になった。

生活編

1位 国際系サークル
代表を務め、サークルの仲間やインドの支援先とのやりとりを通して人との付き合い方を学べた。

2位 5か月のインド留学
一人で異国の地に飛び込むことで、身体的・心理的にも強くなれた！

3位 さまざまなアルバイト
大学内だけでは出会えない様々な人と出会い、触れ合うことが出来た。

志村センパイ

学び編

1位 四力の学び
機械科ならではの学問である四力（熱力学、流体力学、材料力学、機械力学）を学んだことは大きな財産。

2位 単位取得
効率的な単位の取り方を試行錯誤しながら実践したこと！

3位 主体的に参加できる授業
学生の主体性を大切にする講義を通して、意見を正しくわかりやすく主張する力と異なる意見を受け入れる柔軟性や視野の広さを養えた。

生活編

1位 アルバイト
飲食店で2年間働いたことで、調理や盛り付け方はもちろん、気づきが多く、観察力も身についたと思う。

2位 海外ひとり旅
オーストラリア3ヶ月の一人旅で、国境を超えるだけで多種多様な価値観があるということを学んだ。

3位 インターン
3年の秋から毎週東京に通い、IT系企業で職場体験。学生でも甘やかされない環境で自己形成の大きな糧に！

HOW DID YOU CHANGE?

入学して成長したことは？

自分のことをよく考えられるようになった！

どうありたいのか、将来どうしたいのか…、考えるようになって、幸せだと思うことや好きなことに費やす時間をつくる努力ができるようになった。ただ不満を貯めていた昔との変化は大きい！

……渡邉センパイ

視野がぐっと広がった！

学内外を問わず、授業でも活動でも、いろんな人と関わることができたので、ものごとや社会への視野が広がって、自分の成長に繋がっていると思います。受験勉強では、苦手な教科も勉強しないといけないけれど、今思えば、そういうことも自分の強みになっていると思えるので、高校生のみなさんも頑張って！

……木津センパイ

人に優しいところだよ～！

先生が学生の指導に熱心で、常に寄り添ってくれる方が多いんです。学生も情に厚い人が多く、真面目なんだけど面白くって…、マンモス校ではない、ほどよい田舎だからかな、助け合い精神も強めです！

……福田センパイ

自分の経験だけでは不十分だと考えられるようになったこと！

授業や部活などを通して、人と関わったり本を読んだりする中で、自分の考えは一意見に過ぎず、さまざまな経験や考えを持つ人が多くいることを知った。広い視野が持てたり、一度立ち止まって考えられるようになったことが、４年間での一番の成長だと思う。大学は、自分で動き出せば、見える世界や生き方がどんどん変わる場所です。

……柳センパイ

宇大って、どんなところ？

刺激をもらえて楽しい！

学生が日本各地や海外から来ていて、いろんな人に出会えます！特に自分は留学生の友達から考え方や語学力など刺激を受けることが多くあります。優しくて面白い人がいっぱいいるのも宇大のいいところです！

……塚田センパイ

対人的な苦手意識を克服！

高校までは、人前に出ることも苦手でしたが、授業やサークル、アルバイトを通して、コミュニケーション力も身につき、他者と積極的に関わりながら行動することができるようになったこと。社会人になるにあたって、大きな自信になっています。

……織田センパイ

2年／3年／4年
ALL GRADES

学科での縦のつながりがとても強い！

他の大学との交流もあって面白い！東京まで電車1本で行ける立地もイイ！どこもそうだと思うけど学生の意識はピンキリ。ハングリーな人は伸びる環境だと思う。

……犬丸センパイ

魅力や機能がコンパクトに集約！

だから、居心地も良くて活動しやすいと思います。北関東最大の都市のキャンパスだけど、四季の自然も豊かです。ラーニング・コモンズや製図室など24時間解放の部屋もあって、仲間と一緒に夜通し作業に打ち込めるので心強いですね。

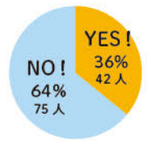
……速水センパイ

在学生117人に聞きました！宇大ってどんなところ？

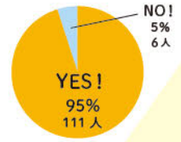
宇都宮大学 COC＋学生広報スタッフ「しーたす！」編集部が聞きました！
117名のアンケート回答からピックアップ！

○JR宇都宮駅から歩ける距離 ○学生も申請して車通学できる ○多種多様な変なサークルが多い ○農場からの野菜や果物の出張販売がありがたい ○フレンドリー！留学生多い！ ○英語のシアタールームがあるのがスゴイ！ネイティブの先生と1対1で話せるクリニックもスゴイ！ ○国際インターンが盛ん ○良くも悪くも狭い ○グリーンステージのお昼のライブが楽しい ○芝生があってスポーツしたりのんびりできる ○自転車が多くて駐輪場不足？ ○農業系サークルがたくさんある ○バイトで稼いだお金を使うところがあんまり無いからお金が貯まりやすい ○図書館の雰囲気が良い ○いろんなことをやりたい野心家にオススメな大学。雑草魂が育つ ○地域の人との関わりが多い

Q 第1志望でしたか？



Q 宇大に来て良かったですか？



宇大は、入学後の満足度が高いんです！

多様性が大切にされる大学！

どんなあなたでも受け入れてくれる、認めてくれる、先生や友人に出会えると思います。日常的に、社会問題について自分の考えを話しても「意識高い～」と敬遠されることなく、真剣に議論してくれる友人も多くいたし、学生思いの先生も多くて、成長の機会を多くいただけました！

……葛原センパイ

とても穏やか。そして個性も豊か。

高校の頃のように通勤通学ラッシュに揉まれることもなく、自転車さえあればどこでも行けるし、キャンパスでスケボーしていて、それだけで楽しくなっちゃうような居場所があって友だちもできるところ。特に国際学部は先生も友だちも個性が強く面白い！

……宇賀神センパイ

自主性を尊重する自由な校風

学問をとことん追求できる場所だと思います。しかし、自由がゆえに何もしなかったら、そのまま4年間があっという間に過ぎ去ってしまいます。後輩のみんなも、井の中の蛙にならず限界を決めないで、色々なことに挑戦し、色々な世界を見にいってほしい！　チャレンジあるのみです。現状維持は、ある意味「後退」なので、どんどんトライして欲しいと思います。

……志村センパイ

宇都宮大学の卒業生から、キミへ

01
Obara Kazuma

interview with 3 graduates

世界に自覚的に目を開き、
その成り立ちを読み解いていく。
自分の殻を破ってくれる人たちとの
出会いをベースに
意志的に自分の人生をつくっていこう。

2018年秋に埼玉県東松山市「原爆の図 丸木美術館」で開催された「小原一真写真展 Exposure/Everlasting」の関連トークイベント「写真の力が匿らいだ時代の写真表現とは何か？」より。

2009年 国際学部国際社会学科 卒業

写真家、ジャーナリスト

小原 一真

Profile

小原 一真｜1985年岩手県盛岡市生まれ。2009年宇都宮大学国際学部卒業後に就職した金融会社を東日本大震災が起きた2011年3月に退職し、本格的に写真を撮り始める。2015年にロンドン芸術大学大学院修士課程を修了。フォトジャーナリストとしての活動の他に、講演や写真集制作のワークショップをヨーロッパ各国やオーストラリア、日本などで展開。写真集に「Reset Beyond Fukushima」（スイス・ラースミュラー出版社、2012年）、「silent histories」（スペイン・Editorial RM、2014年）「Exposure」（スペイン・Editorial RM、2017/18年）がある。
http://kazumaobara.com

国際学部を卒業して10年。 小原一真さんは、フォトジャーナリストとして、大阪に日本の拠点を置きながらヨーロッパやアジアなどで精力的に取材活動や発表の場を持ち続けています。写真集としてのデビュー作は、3.11以降の原発作業員の実態を捉えた『Reset Beyond Fukushima』。事故後初めて原発内部で撮影された小原さんの写真は、欧米のメディアにも多数掲載されました。それから撮影の仕事が増えた小原さんは、世に認められる一方で、自分の中では、福島や日本の未来のことや表現としての写真をどう考えていけばいいかということなど、 命題を多く抱えるようになったと言います。そして、2015年には、これからの表現を考えるために、チェルノブイリに向かいます。1986年に発生した原発事故の数ヶ月後に、原発から100キロのキエフで生まれた女性のインタビューと写真で構成した『Exposure』を発表。撮影には、事故現場近くで見つかり縁あって小原さんの手に渡った1990年代の古いフィルムを使用しました。被爆したフィルムで撮影した、母の胎内で被爆し目には見えにくい障害を抱えた女性のポートレイトは、2016年に世界報道写真コンテストの「人物」部門で1位を受賞。また、大阪大空襲など戦禍に遭い障害を抱えた子どもたちの戦後をテーマに、いまは高齢になられた方々へインタビューと撮影を重ねて2014年に制作した『Silent Histories』は、同年の米TIME誌や、パリフォトのフォトブックアワードなどに選出されるなど、国際的にも高い評価を受けています。小原さんは一貫して、核、戦争、移民などのテーマにおいて「見えにくいもの」や「世界が忘れていこうとしているもの」に光をあてています。小原さんの活動のルーツを大学時代に探るお話を伺いました。

泣けない自分が、出発点だった

中学生の時に、広島の平和祈念式典に参加しました。盛岡市内のいくつかの中学校の生徒会メンバーが集まって10名くらいで。もう記憶も薄らいでいますが、今でも強烈に覚えていることは、被爆した方の体験談を聞いても心が動かなかったということなんです。ものすごく遠いところの話をしているような印象を受けて…。泣いている女の子もいたんですけど、僕には響かなかった。それで自分は大丈夫なのだろうかと思ったことを覚えている。悲惨なことで心が動かされるべき話はたくさんあると思うのですが、心が動かされない感覚みたいなことも自分の中で自覚しておくことも大切だと思っていて。共感しようとすることや共感したふりをすることは、すごく簡単。でも、本当に共感しているかわからないまま共感した気になると、いろいろな問題をはらんでくる。共感した気にならないで、では、自分なりに共感できるラインはどこなのだろう？と、そこを探すことのほうが、むしろ大切だと思うんです。この体験は、今の取材の考え方にも繋がっています。「きっとこのポイントで人の心が動くだろう」みたいな想像ができる場合に、それがそういう悲惨な話とかを聞いても人の心が動かなかった場合に、それは何故か？という疑問から始まり、もしくは、心が本当に動く話というのは何なのだろうか？と掘り下げて、突き詰めながらインタビューをしていくことが多いです。

宇都宮大学の推薦入試で写真家になることを決意

2001年に9.11（アメリカ同時多発テロ）があって、高校生の時にイラク戦争が始まりました。そんな社会情勢もあったし、祖父の後を継いで獣医になった父親が、本当は国際関係の仕事に就きたかったらしく「世界を見ろ！」的な会話が家庭内でも多くて…。そんな影響もあって、部活でサッカーの練習に明け暮れながら、いつも外の世界に目が向いている、そんな高校生でした。中学生の頃も、自転車で秋田まで旅行に行ったり、わざわざ15kmぐらい先の高校を選んだり、とにかく、どこか遠くに行きたかったんですよ。なにかすごく鬱憤がたまっていたんです、高校時代から。結局、狭い田舎では周りの人は世界情勢や戦争と平和のことなんか全然考えていないし、いろいろな人に触れる機会があるわけでもないし、すごくフラストレーションがたまっていたんだと思います。宇大の国際学部を受けたのは、国際と名がつく学部はわかりやすくて可能性も感じたし…。ただ、あまりテスト勉強というものをしていなかったので、推薦で頑張ろうと。その推薦入試の課題のテーマが「戦争をなくすことは可能か？」だったんです。図書館に通い戦争関連の本を読み漁りました。その時に、イラク戦争に関する本で見た写真…、劣化ウラン弾の影響があって無脳症で生まれた赤ちゃんの写真とか、日本も加担していた戦争だったのでショックも受けたんですが、同時に知らないことを教えてくれる写真が持つ力を感じて、フォトジャーナリストという職業を意識し始めたんです。

大学をベースキャンプに、世界を回る

入学してすぐにカメラを買って、宇都宮のカメラ店でアルバイトも始めたんです。1年の夏休みには、メキシコのストリートチルドレンを支援するNGOを回るスタディツアーに1週間参加して、その後は3週間ほどバックパッカーでメキシコ国内を回りました。1年間休学して、アフリカやインドに行きました。知り合いのつてを辿ってケニアにホームステイして、スラム地区に入って映像を撮影したり。エイズ孤児の支援をしているNGOのプログラムでウガンダで学校を作るワークショップに参加して、それからインドに回りました。いまも宇大にあるのかな、インドのケララ州で女性の自立と子供達の支援を行う学生団体（サークル・リソースネットワーク）。僕たちの2つ上の先輩達が立ち上げた団体なんですけど、その活動の撮影もしてきました。国際学部の友人達は、休みになると、みんな世界に出て行って、戻ってきたら、どうだった？と報告しあう。ケニアで撮った映像は、大学会館の部屋を借りて自分で自主上映会を企画しましたし、メキシコでの映像は、表象文化論の授業で発表しました。先生からも先輩からも、もちろん同級生からも…、すごく刺激を受ける環境でしたね。

世界にどうコミットするか、悩んだ時期も

実は、アフリカやインドを回った後、自分の中で、ジャーナリズムで世界にコミットしていくことへの迷いが出てきたんです。気疲れしていたのもあると思うんですけど、表現や報道ではなくて、リアルな部分での変化をおこす道もあるだろうと。ケニアでずっと撮っていたスラムの子どもたちの問題も、結局、経済が与える影響というのがものすごく大きい。当たり前なんですけど。そういうところの構造を変えていく仕事に進むのもいいんじゃないかという思考になっていって。それで渋谷のIT企業でインターンをしたり、産業社会学のゼミで学んだり。それで一旦は、金融系の会社に就職したんですが、東日本大震災を機に退職予定を前倒しにして、写真の道に進んだという経緯があります。
国際学部のよさって、幅の広さではないでしょうか。授業にもいろいろな選択肢があって。産業社会学も日本の国土の成り立ちから、なぜここにこの道路が走っていて、なぜここが発展していて、なぜさいたまに副都心があるのか…。そういう話をずっとやっていて、すごくおもしろかったですね。いまの自分の取材と、そこからの考察も、いわば社会、世界の成り立ちを考えているわけで。学問として学んだことが、一見繋がっていないように見えても、その積み重ねというのは、なにかしら今の思考にもちろん影響しています。

リアルなコミュニケーションがすべての基盤

それから留学生の友人たちと、とことん飲んで語り合う時間をたくさんもっていたことも、今に繋がっています。2017年からは、第二次世界大戦で日本軍が連合国やアジア人の捕虜の強制労働で建設していた、タイとミャンマーを結ぶ「泰緬鉄道」について取材を始めていますが、韓国にいくときに泊めてもらっているのが、留学生だった友人の家です。卒業以来、ただSNSで繋がっているだけの関係なんですが、連絡を取るとすぐに昔のような関係に戻れて、僕の取材もすごく応援してくれています。やはり大学での人との出会いは財産。自分の殻を破ってくれる人との出会いが多いです。宇大は、観光で訪れないような地域から一流の留学生たちが来ていて多様性がすごかったし、彼らはとてもクレバーだった。歴史的な背景とか対立とか抜きにして、バイアスがかかる前に、1対1のいい関係を築いておく。それに勝る財産はないです。
国際学部で学ぶと、国際問題解決のためのいろいろな言葉が出てきます。でも知識を得る前に、いろいろな国の人と対話できる土壌があって、アクティブな学生もたくさんいるから、刺激を与えあって、より外に出て行きやすくなり、それがつまりは学術的なものに還元されていくのだと思うのです。リアルなコミュニケーション抜きに、国際問題がどうだとか国際協力がどうだとか言ったって、非常に地に足がついていない発想しかできないですし、何のために、誰のためにやっているのかみたいな話で、いろいろなものを掛け間違いますよね。
国際学部って、カテゴライズとしてすごくざっくりしているので、ここに入ったら、ここに就職できるというところも見えにくい。学部で学んだことと、あまり関係がない職業に就いたら、国際協力を学んできたのに自分は何もしていないみたいな気持ちになるかもしれない。でも、人と出会って学び合うことの偉大さって計り知れないと思うので。そういうことができる環境で学んで、その先になにがあるかは人それぞれなんだろうけど、少なくとも、どんな仕事に就こうが、何かの問題とか事象に対して、「自覚的」であることができるようになると思うんですよね。社会人になって、いろいろな問題に対して目が開かれた状況で、その問題に対して自覚的であるということは、とても大切なことだと思います。

02
Hamada Aki

interview with 3 graduates

宇都宮大学で学んだ
研究の姿勢や組み立て方は、
新しいものを生み出していく
今の仕事の基盤です。

2017年 農学部 応用生命化学科 卒業

株式会社ブルボン 勤務
浜田 亜紀

Profile
浜田 亜紀｜1994年栃木県大田原市生まれ。現在の所属は、第一製品開発部ビスケット開発課。在学中は、新聞販売店や冠婚葬祭のほか飲食業界など数種類のアルバイトを経験しながら、キャリアセンターの学生団体「JUST」での活動や、サークル「虫食研究会」で昆虫レシピを仲間と研究するなど、充実した日々を過ごす。写真は、新潟県柏崎市にあるブルボン本社ロビーにて。

調査から企画、検証までを任されて、日々奮闘中です

小学生の頃から好きだった料理。高校生の頃から憧れていた化学の研究。大学で学んだ何度も繰り返して検証していく実験…。今までの私の点と点が繋がった延長線上で、お菓子の製品開発の仕事をしています。製品開発はまず、消費者がどういうお菓子を求めているのかといった情報収集を行い、市場調査の結果を基に企画を立てます。そこから試作を行い、モニター調査を繰り返し何度も改良を重ねます。さらに、品質確保のために工場での生産にも立ち会います。発売後は、お客さまからのご意見などを、リニューアルに活かしていきます。この全行程を任されて新商品を生み出していくことは、大変ですがとてもやりがいのある仕事です。
進路を考え始めたのは高校２年の時で、自分の進路に迷っていた中で、まず、私が好きなことは何かを考えました。小学生の頃から料理を作っていましたし、図工や理科の実験も好きだったので、何かを作り出すことが私には向いているように思いました。ちょうどその頃、バイオという言葉が話題になったことや、下村脩先生のノーベル化学賞受賞の報道を見聞きし、研究に興味を持ちました。全国のいろいろな大学の学部学科や研究室を調べ、複数の候補の中から宇都宮大学に研究者を育てるためのカリキュラムを組んだ学科（農学部応用生命化学科）が新設されることを知り、とても魅力的に思えて受験を決めました。
３年生で研究室に所属してからは、フグの遺伝子を調べる研究に取り組みました。フグは攻撃的な生き物で、他のフグに鋭い歯で噛みつくことがあり、噛まれた部分から雑菌が入って死んでしまうことが多くあります。実際に熊本県の天草地方の養殖場で、従業員の方たちにお話を聞くと、その対策として歯を切る作業を出荷までに３度も行っているとのことでした。飼育するフグの数は万単位であるため、多大な労力を要します。これを軽減できないかと考え、温厚なフグを選択的に繁殖させることを目指しました。トラフグの中でも比較的温厚なフグがいることがわかっていたため、研究では温厚なフグと攻撃的なフグとで遺伝子の配列が違うという仮説を立てました。配列の違いを発見し、温厚なフグを繁殖させられればお互い傷つけることなく、死んでしまうフグの数も減らせるのではないかと思ったからです。なかなか有意差を見いだせず、その兆しが見えてきたところでの卒業となりましたが、現在は後輩が引き継いで研究をしています。
研究はすぐに答えが出るものではなく、何度も修正しながら実験を繰り返す地道な積み重ねですが、今の仕事でも、試作品を作る際に原料を組みあわせる比率を決めたり、何種類もの原料の中からより良いものを選択し改良を重ねる過程で、大学で学んだ検証方法の考え方などが活かせています。まだまだ学ぶべきことは多いですが、先輩たちに教わることや、原料に関する論文を読むことで知識を深め、より良い製品を作り、ヒット商品を生み出せるよう仕事に励んでいきたいです。

03
Higashiguchi Takeshi

interview with 3 graduates

大学に入って、
好きなことも、極めたいことも、
新しい出会いの中で、どんどん変わる。
それでオッケーです！

Profile
東口 武史｜1973年 宮崎県宮崎市生まれ。レーザー技術の応用をテーマにした研究者。宇都宮大学大学院修了後、宮崎大学工学部の助手を経て現職。工学部や大学院で、電気磁気学レーザー工学の講義を担当。大学生の頃は、同級生の影響でスキーにハマり、冬のスキー費用を稼ぐために、夏場は海辺の企業の保養所に泊まり込んで働くなどしていた。

2001年 宇都宮大学大学院工学研究科博士後期課程
物性工学専攻修了

宇都宮大学 工学部 教授
東口 武史

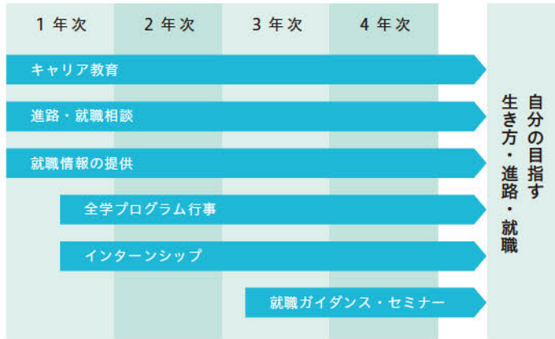
文系？理系？型や枠にとらわれず視野を広げて

私は宮崎で生まれ育って、高校生の頃から九州を出たいと思っていて、希望や条件などに合う宇都宮大学を受験しました。ただ、志望大を決める直前まで、「書道」か「電気」か、進路を迷っていたんですよ。
小学校１年の秋から、行くともらえるお菓子に釣られて習字を習い始めました。賞とは無縁ながらもずっと続けていたら、中3の時に、いきなり金賞を取っちゃったんです。ずっとお手本通りに楷書で書いていたんだけど、その時は、４世紀の中国の政治家で書家でもあった王羲之の「十七帖」をお題にもらいました。草書なので、きちっと綺麗に書かないで崩してよくて、型通りにやるのが苦手な僕には合っていたようです。高校では、漢詩を行草書でガーッと書いて作品を作ることにハマっていました。インターハイの文化部版、高校総文の県代表になったり、書道展で全国２位になったり、勉強そっちのけで書道三昧の高校時代でした。
その一方で、小学校の低学年で、はんだごてを使ったり、電磁石を巻いてベルを作ったりするような子どもでした。というのも、父親が高校の物理教師で、自分で教材や実験装置を工夫して作っていたので、いろんな道具や、出たばかりのマイコンの部品とかが転がっている家だったんです。電車も好きでしたから電気を学びたいという考えもあって、高校では理系のクラスで学びながら、書道も続けていたわけです。大学受験の時の入り口は電車だったんですけど、４年次に研究室に配属されて、さあこれから専門を学ぶぞ！という時は、当時の新しい分野、ハードディスクなどの磁性材料に関心が向いていました。入学して、いろんな先生や先輩や同級生との出会いがあって、新しい技術や学問との出会いがあって、視野が広がっているので、当然、興味関心の対象も変わってくるんです。それからプラズマやレーザーに出会って、大学院では、その２つの研究に没頭していました。
大学に入って、好きなことに出会ったら、専門の勉強以外でも、それをどんどん膨らませていけばいいと思います。宇都宮大学の入学式で、たまたま隣に座った同級生が農学部生で、彼は大学でそれまで無縁だった考古学のサークルに入って、発掘の土堀りに熱中して、その話ばっかりしていましたね。「丁寧に箒で払いながら掘ってくからなかなか進まないんだ」って。大学時代ってお金はないけど時間は作れるから、効率重視の生き方は、社会人になってから考えればいいと思うんです。のんびりゆっくり考える時間があっていいし、答えが出なくていいかもしれない。それから、受験科目に合わせて文系か理系かとか、自分の興味関心を狭めないで欲しいですね。オックスフォード大学に短期留学していた時のことですが、物理の研究所のメンバーとお昼を食べる時、彼らの会話は、ほとんど文系的な内容でした。専門を掘り下げながらも、広く視野はもてるように…。研究者としても教育者としても、そんな環境づくりを大切にしていきたいと考えています。

キャリア教育・就職支援

一人ひとりと向き合う手厚いサポート

宇都宮大学は、全学年を対象としたキャリア教育と就職支援を行う「キャリアセンター」と、共同教育学部はもちろん、全学部において教職を目指す学生への支援を行う「教職センター」が中心となって、進路選択・就職活動をサポートしています。ここでは、右図のように、1年次から学生のみなさんが主体的に自らの卒業後の進路を切り拓いていく支援を行う「キャリアセンター」のプログラムを紹介します。



キャリア教育

学生の皆さんが変化する社会のなかで未来を切り拓く知力と行動力を持ち、社会人、職業人として自立して新しい時代に自分らしく生き、働くことができることを目指して1年生から受講できるキャリア創造科目を開講しています。2021年度に開校した科目の一例を紹介します。

人間と社会

働くことを考え進路を選択する時に基本となる産業・企業の動向、雇用・労働の実態と問題、働く者を守る仕組み等について最新の情報を提供し学びを深めていきます。そのなかで社会と自分の関わりを考える手がかりを得ることができる基礎的なキャリア科目です。

キャリアデザイン

講義の他に企業等で働いている方の講話や自己理解のための演習、グループワークなどさまざまな体験を通じて、職業や企業の理解、働くことや自分についての理解を深め、大学生としてやるべきことを考え、将来に向けて具体的なキャリアプランを描いていきます。

起業の実際と理論

～アントレプレナーシップ（起業家精神）の養成～

この授業では、起業でも企業でも必要な力である「アントレプレナーシップ（起業家精神）」の養成を目指しています。講義の他に起業家・経営者との対話もあり、授業の中でビジネスプランを作成し発表します。具体的な起業のプロセスや意識などを聞くことで「起業」について考えるきっかけをつかんで下さい。

そのほかに「キャリア入門～自分を育てる～」「実践企業人材論」「先輩に学ぶ」など

就職支援

個別相談や就職ガイダンス・セミナーの実施、就職情報の提供などの就職支援を一体的に行っています。多角的にキャリアを考える機会を提供し、皆さんが自分らしい生き方を切り拓いていくための支援をしています。

進路・就職相談・個別就職支援

「将来について考えたい」「自分に向いている職業は？」など、キャリアアドバイザーに毎日相談できる体制が整っています。
また、学生一人ひとりの状況に応じた相談や求人開拓、求人紹介など、きめ細やかな就職支援を行っています。

就職情報の提供

求人・セミナー情報等は UU Career Navi（就職支援システム）で、公務員・教員等の募集案内、就職関連雑誌等はキャリア・カフェや両キャンパス図書館において、情報を提供しています。

インターンシップ

●職場体験型インターンシップ
企業や官公庁など、実際の職場で仕事を体験します。社員と同じような分野で働く中で、企業・仕事・働くことを理解するものです。

●課題発見・解決型インターンシップ
地域社会の職業人と関わり合いながら、組織が抱える課題に対し、学生がチームとなり具体的な提案を行っていく実践型のインターンシップです。職業意識、チームワーク、課題解決力、主体性、チャレンジ精神、組織理解・他己理解・・・これから社会で活躍する上で必要な力を身につけます。

キャリアフェスティバル

働く意義や社会で求められる力、社会が今どう動いているのか、業界をリードする企業から聞いてみよう。

毎年秋に開催されるキャリアフェスティバルは、宇大独自のイベントで、全学年を対象とした、キャリア教育プログラムのひとつです。産業界や企業が不透明なグローバル社会の中で、どのような経営戦略の下に進もうとしているのか、どのような人材を求めているのか。今後の学生の将来を取り巻く環境や業界・企業の動向・考え方を学ぶ機会を提供しています。

（2019年度）

就職ガイダンス・セミナー

「就活ってどう進めるの？」「筆記試験とは？」就活に関するさまざまな疑問を解決するため、ガイダンスやセミナーを行っています。また、大学内に企業や官公庁を招いて「学内合同企業・公務員等説明会」を実施しています。

- 就職ガイダンス「就職活動スケジュール＆活動準備」
- 就職ガイダンス「業界・企業・職種研究法」
- 就職ガイダンス「エントリーシートの書き方」
- 就職ガイダンス「面接対策の基礎―面接官の視点を知る―」
- 就活生のためのビジネスマナー講座　●自己分析・理解セミナー
- 学内合同企業・公務員等説明会
- 公務員面接対策　●教員採用対策セミナー
- 筆記試験対策講座　●職務・性格適性テスト
- 外国人留学生のための就職セミナー

仲間と情報交換して先輩の体験談を聞ける環境があります

内定をもらった先輩が後輩をサポート！

宇大就活応援団
JUST
(Job hunting Udai support Team)

JUSTとは、後輩の就職活動をサポートしている内定者の団体です。これから就活を経験する学生の相談に応じたり、就職イベントを企画・実施したり、体験記を作成して、後輩に自らの就職活動の体験を伝えたり…。身近な先輩なのでちょっとした疑問でも聞きやすい、先輩の生の声がとてもためになる、とイベントや冊子は大好評です。

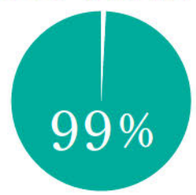
学生同士で気軽に情報交換できる！

キャリア・カフェ

将来について考えたい学生や就職活動をしている学生たちが集まる場所です。学生同士がコーヒーなどを飲みながら情報交換をしたり、就職関連図書や資料を自由に見ることもできます。キャリアアドバイザーによる各種ミニセミナーや、JUST主催の就活講座を開催しています。

■キャリアセンター
（就職・キャリア支援センターと大学教育推進支援室の総称です。）
http://www.career.utsunomiya-u.ac.jp/
■教職センター
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php

令和2年度 就職率



入試情報

宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み，専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を持っている人
4. 自主的に学ぶ姿勢と，論理的で柔軟な思考能力を持つ人

選抜日程や試験内容、およびインターネット出願について

右ページでご案内する「入学者選抜要項」または、選抜ごとの「学生募集要項」をご確認ください。

選抜に関するお問い合わせ

アドミッションセンター事務室　TEL:028-649-5112

*高校等で、学生募集要項をまとめてご要望の場合は、こちらへお問い合わせください。

受験生応援サイト

最新の情報は、ホームページでもご確認いただけます。

受験生応援サイトURL
https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/

学生募集要項等のご案内

学生募集に関する詳細は、下記の要項をご覧ください。

募集要項名	請求方法等	要項の公表予定時期
入学者選抜要項	テレメール ⇒ (1)へ　モバっちょ ⇒ (2)へから請求してください。	7月上旬
一般選抜学生募集要項	インターネットによる公表及び出願受付のため、冊子の配布は行いません。学生募集要項は、本学入試情報ホームページ(URLは、左ページに記載)に掲載します。	10月上旬
学校推薦型選抜学生募集要項		9月中旬
帰国生選抜学生募集要項	テレメールから請求してください。⇒ (1)へ	10月下旬
社会人選抜学生募集要項		
外国人生徒選抜学生募集要項		
総合型選抜学生募集要項		7月中旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項		10月下旬
地域デザイン科学部第3年次編入学学生募集要項	テレメールから請求してください。⇒ (1)へ 大学へ郵便で請求することもできます。	4月下旬
国際学部第3年次編入学学生募集要項		7月下旬
工学部第3年次編入学学生募集要項		4月下旬
農学部第3年次編入学学生募集要項		5月中旬

(1) テレメールで請求する場合

①右記に電話してください。　IP電話 050-8601-0101

(※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。)

※インターネットからも請求できます(https://telemail.jp)

QRコード対応端末であれば右記コードを読み取ってください。

テレメール

「テレメール」QRコード

②資料請求番号(6桁)を入力してください。

③あとは音声ガイダンスに従ってください。

※資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます(17時30分までの受付は当日配送)。ただし、郵送開始日までの請求は予約受付となります。送料の支払い方法は、資料に同封されます。

④上記請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター

050-8601-0102 (9:30～18:00)

資料名	資料請求番号
入学者選抜要項	581470
入学者選抜要項＋大学案内	561450
帰国生選抜学生募集要項	950690
社会人選抜学生募集要項	950700
外国人生徒選抜学生募集要項	950680
総合型選抜学生募集要項	597100
私費外国人留学生選抜学生募集要項	587910
地域デザイン科学部第3年次編入学学生募集要項	623250
国際学部第3年次編入学学生募集要項	541480
工学部第3年次編入学学生募集要項	581490
農学部第3年次編入学学生募集要項	541490

送料・手数料が必要です。

(2) モバっちょで請求する場合

①携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求ページへアクセスしてください。

あとは請求ページのガイダンスに従ってください。

「モバっちょ」QRコード

②料金の支払い方法

●請求時払い／携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。(別途手数料が必要です)

携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。
その場合はコンビニ後払いを選択してください。

●後払い／資料到着後、コンビニでお支払いください。(別途手数料が必要です)

③取扱資料名

資料名	送料・手数料が必要です。
入学者選抜要項＋大学案内	

④上記請求方法についてのお問い合わせ先：大学情報センター株式会社

モバっちょカスタマーセンター　050-3540-5005 (平日10:00～18:00)

(3) 大学へ郵便で請求する場合(各学部第3年次編入学学生募集要項のみ)

請求方法は、各学部第3年次編入学学生募集要項の配布時期になりましたら、本学入試情報ホームページ(URLは、左ページに記載)でご案内します。

入学者選抜実施結果

一般選抜状況（前期日程）　平成31年度～令和3年度

学部	学科・課程等	令和3（2021）年度						令和2（2020）年度						平成31（2019）年度					
		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	35	85	2.4	80	2.3	38	35	81	2.3	76	2.2	37	35	96	2.7	93	2.7	39
	建築都市デザイン学科	39	61	1.6	61	1.6	45	39	93	2.4	88	2.3	41	35	102	2.9	95	2.7	42
	社会基盤デザイン学科	25	47	1.9	47	1.9	31	25	42	1.7	41	1.6	27	23	60	2.6	58	2.5	26
国際学部	国際学科	40	90	2.3	89	2.2	56	40	144	3.6	137	3.4	55	40	140	3.5	139	3.5	52
共同教育学部	学校教育教員養成課程 教育人間科学系	24	43	1.8	43	1.8	25	24	52	2.2	50	2.1	29	26	66	2.5	62	2.4	28
	人文社会系	35	97	2.8	95	2.7	39	35	56	1.6	53	1.5	39	33	90	2.7	86	2.6	38
	自然科学系	34	57	1.7	57	1.7	37	34	44	1.3	43	1.3	37	32	51	1.6	49	1.5	35
	芸術・生活・健康系	25	98	3.9	94	3.8	29	25	96	3.8	90	3.6	29	26	82	3.2	78	3.0	28
工学部	基盤工学科	235	373	1.6	371	1.6	284	232	447	1.9	434	1.9	284	232	477	2.1	460	2.0	293
農学部	生物資源科学科	45	60	1.3	58	1.3	48	44	75	1.7	74	1.7	47	44	141	3.2	131	3.0	52
	応用生命化学科	22	48	2.2	48	2.2	28	22	50	2.3	44	2.0	28	22	62	2.8	59	2.7	28
	農業環境工学科	23	30	1.3	29	1.3	27	23	45	2.0	44	1.9	32	23	92	4.0	86	3.7	33
	農業経済学科	27	45	1.7	45	1.7	31	27	77	2.9	75	2.8	32	27	102	3.8	99	3.7	34
	森林科学科	24	39	1.6	37	1.5	28	24	71	3.0	63	2.6	28	24	34	1.4	32	1.3	30

※共同教育学部は、令和２年度に教育学部から改組。併せて、学校教育・特別支援教育系、教科文系、教科理系、教科実技系から教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系へ改編。

一般選抜状況（後期日程）　平成31年度～令和3年度

学部	学科	令和3（2021）年度						令和2（2020）年度						平成31（2019）年度					
		募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	10	108	10.8	46	4.6	25	10	84	8.4	31	3.1	13	10	158	15.8	65	6.5	10
	建築都市デザイン学科	8	24	3.0	16	2.0	12	8	74	9.3	45	5.6	12	9	44	4.9	18	2.0	7
	社会基盤デザイン学科	10	15	1.5	7	0.7	6	10	66	6.6	40	4.0	14	12	92	7.7	44	3.7	12
工学部	基盤工学科	40	141	3.5	70	1.8	44	40	118	3.0	55	1.4	34	40	132	3.3	66	1.7	33
農学部	生物資源科学科	6	59	9.8	20	3.3	18	6	35	5.8	14	2.3	10	6	41	6.8	21	3.5	6
	応用生命化学科	3	14	4.7	4	1.3	3	3	15	5.0	6	2.0	3	3	11	3.7	8	2.7	5
	農業環境工学科	3	19	6.3	9	3.0	8	3	11	3.7	4	1.3	3	3	16	5.3	10	3.3	3
	農業経済学科	3	37	12.3	27	9.0	19	3	22	7.3	14	4.7	11	3	19	6.3	10	3.3	3

※国際学部、共同教育学部及び農学部森林科学科は、後期日程を実施していません。
※共同教育学部は、令和２年度に教育学部から改組。併せて、学校教育・特別支援教育系、教科文系、教科理系、教科実技系から教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系へ改編。

一般選抜（前期日程・後期日程）の成績情報（平成31年度～令和3年度）

令和３年度の本学の入学者選抜試験（前期日程・後期日程）合格者の成績は、下表のとおりです。

学部	学科・課程等	日程	令和3（2021）年度						令和2（2020）年度						平成31（2019）年度					
			大学入学共通テスト			共通テスト換算又は提出課題評価			大学入試センター試験			個別学力検査			大学入試センター試験			個別学力検査		
			配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点	配点	最高点	平均点
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	前期日程	900	706.5	647.0	400	311.0	282.6	900	701.0	638.4	400	320.0	291.5	900	728.6	653.8	400	312.7	253.1
		後期日程	900	756.5	670.7	課していない			900	696.0	664.5	300	300.0	244.9	900	717.2	688.4	300	285.0	241.0
	建築都市デザイン学科	前期日程	900	712.5	633.0	300	286.5	236.1	900	704.6	615.0	300	246.0	192.8	1000	790.7	706.2	400	388.0	289.4
		後期日程	900	719.5	654.3	課していない			900	746.4	714.4	課していない			1100	非公表		300	非公表	
	社会基盤デザイン学科	前期日程	900	688.0	612.4	500	423.5	360.7	900	639.8	585.1	500	395.0	279.0	900	646.4	592.3	500	374.5	305.7
		後期日程	900	非公表		課していない			900	737.0	664.7	課していない			900	626.8	605.1	300	282.0	254.0
国際学部	国際学科	前期日程	1000	838.5	749.0	800	687.7	634.1	1000	843.0	747.7	800	667.0	592.0	1000	818.0	766.4	800	646.0	576.8
共同教育学部	学校教育教員養成課程 教育人間科学系	前期日程	900	689.0	591.6	100	79.0	62.4	900	633.6	592.8	400	329.0	248.5	900	655.4	613.8	400	304.0	261.5
	人文社会系	前期日程	900	666.5	616.5	100	81.0	63.6	900	676.4	602.2	400	316.0	255.7	900	708.0	637.8	400	338.0	263.6
	自然科学系	前期日程	900	669.0	596.6	100	76.0	62.2	900	737.4	536.4	400	300.0	247.4	900	700.8	607.2	400	340.5	275.1
	芸術・生活・健康系	前期日程	700	493.5	452.1	100	84.0	64.0	700	507.8	453.9	500	409.0	327.5	700	539.4	486.9	500	412.0	372.6
工学部	基盤工学科	前期日程	900	688.5	606.6	500	462.0	355.7	900	721.2	587.8	500	450.6	307.0	900	709.4	605.3	500	435.5	322.1
		後期日程	900	769.0	675.5	課していない			900	733.6	673.4	課していない			900	753.8	706.1	課していない		
農学部	生物資源科学科	前期日程	900	717.5	624.6	300	252.8	209.0	900	698.4	616.0	300	275.0	230.3	900	739.4	632.9	300	279.0	239.1
		後期日程	1000	803.5	721.3	課していない			1000	844.5	661.9	課していない			1000	非公表		課していない		
	応用生命化学科	前期日程	900	723.0	656.0	300	272.0	234.4	900	712.4	624.7	300	271.5	207.4	900	726.0	644.8	300	264.0	217.7
		後期日程	1000	非公表		課していない			1000	非公表		課していない			1000	非公表		課していない		
	農業環境工学科	前期日程	900	682.0	583.7	100	86.8	72.0	900	643.4	568.1	300	224.1	173.0	900	694.6	598.4	300	239.1	191.1
		後期日程	900	非公表		課していない			900	非公表		課していない			900	非公表		課していない		
	農業経済学科	前期日程	900	698.5	616.5	100	87.5	73.5	900	641.6	594.8	300	255.0	223.0	900	680.6	621.3	300	252.0	200.5
		後期日程	900	719.0	615.2	課していない			900	713.0	609.9	課していない			900	非公表		課していない		
	森林科学科	前期日程	1000	753.5	671.5	300	291.0	264.6	1000	689.7	618.6	300	267.0	217.8	1000	754.6	622.2	300	251.0	191.6

※合格者が10人に満たない場合、個人を特定できるおそれがあるため、成績は「非公表」。
※国際学部、共同教育学部及び農学部森林科学科は、後期日程を実施していません。
※共同教育学部は、令和２年度に教育学部から改組。併せて、学校教育・特別支援教育系、教科文系、教科理系、教科実技系から教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系へ改編。
※令和３年度は、個別学力検査を中止し、大学入学共通テストの成績、出願書類、及び一部の学部が求める提出課題等を総合して合格者を決定しました。

学校推薦型選抜状況（平成31年度～令和3年度）

学校推薦型選抜Ⅰ

学部	選抜区分	学科等			令和3（2021）年度				令和2（2020）年度				平成31（2019）年度			
					募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数
国際学部	一般推薦	国際学科			36	108	3.0	36	36	112	3.1	36	36	113	3.1	36
共同教育学部	一般推薦（A）	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教育分野	2	11	5.5	2	2	11	5.5	3	3	22	7.3	4
				教育心理分野	2	12	6.0	3	2	9	4.5	3				
				特別支援教育分野	3	9	3.0	4	3	10	3.3	3	2	7	2.3	4
			人文社会系	国語分野	2	15	7.5	2	2	2	1.0	2	2	7	3.5	2
				社会分野	2	5	2.5	2	2	7	3.5	2	2	7	3.5	2
				英語分野	2	10	5.0	2	2	4	2.0	3	2	9	4.5	2
			自然科学系	数学分野	3	15	5.0	3	3	7	2.3	3	3	11	3.7	3
				理科分野	3	8	2.7	4	3	2	0.7	2	3	8	2.7	3
				技術分野	3	3	1.0	3	3	0	0	0	3	3	1.0	3
			芸術・生活・健康系	音楽分野	3	1	0.3	1	3	10	3.3	3	3	12	4.0	4
				美術分野	2	3	1.5	3	2	2	1.0	2	3	3	1.0	3
				保健体育分野	3	10	3.3	3	3	4	1.3	3	3	9	3.0	3
				家政分野	2	9	4.5	3	2	2	1.0	2	3	3	1.0	3
	一般推薦（B）	学校教育教員養成課程（全ての系・分野）			20	34	1.7	20	20	42	2.1	20	20	47	2.4	20
工学部	一般推薦	基盤工学科			35	100	2.9	39	35	84	2.4	40	35	93	2.7	41
	専門高校・総合学科推薦	基盤工学科			5	6	1.2	3	5	3	0.6	2	5	7	1.4	3
農学部	一般推薦	生物資源科学科			8	27	3.4	9	8	29	3.6	8	8	23	2.9	8
		応用生命化学科			7	23	3.3	8	7	25	3.6	8	7	18	2.6	7
		農業環境工学科			2	3	1.5	3	2	6	3.0	3	2	1	0.5	1
		農業経済学科			4	10	2.5	4	4	11	2.8	4	4	15	3.8	4
		森林科学科			3	15	5.0	3	3	13	4.3	3	3	8	2.7	3
	専門高校・農業関連学科推薦	生物資源科学科			4	4	1.0	4	4	7	1.8	4	4	9	2.3	4
		森林科学科			1	2	2.0	1	1	3	3.0	1	1	2	2.0	2
	専門高校・総合学科推薦	農業経済学科			2	4	2.0	3	2	4	2.0	2	2	4	2.0	2

※共同教育学部は、令和２年度に教育学部から改組。併せて、学校教育・特別支援教育系、教科文系、教科理系、教科実技系から教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系へ改編。
学校教育分野から教育分野及び教育心理分野へ、家庭分野から家政分野へ改編・改称。

学校推薦型選抜Ⅱ

学部	選抜区分	学科	令和3（2021）年度				令和2（2020）年度				平成31（2019）年度			
			募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数
農学部	一般推薦	農業環境工学科	2	2	1.0	1	2	5	2.5	1	2	5	2.5	1
		森林科学科	4	14	3.5	4	4	13	3.3	4	4	9	2.3	5
	専門高校・総合学科推薦	農業環境工学科	2	3	1.5	2	2	0	0	0	2	1	0.5	1

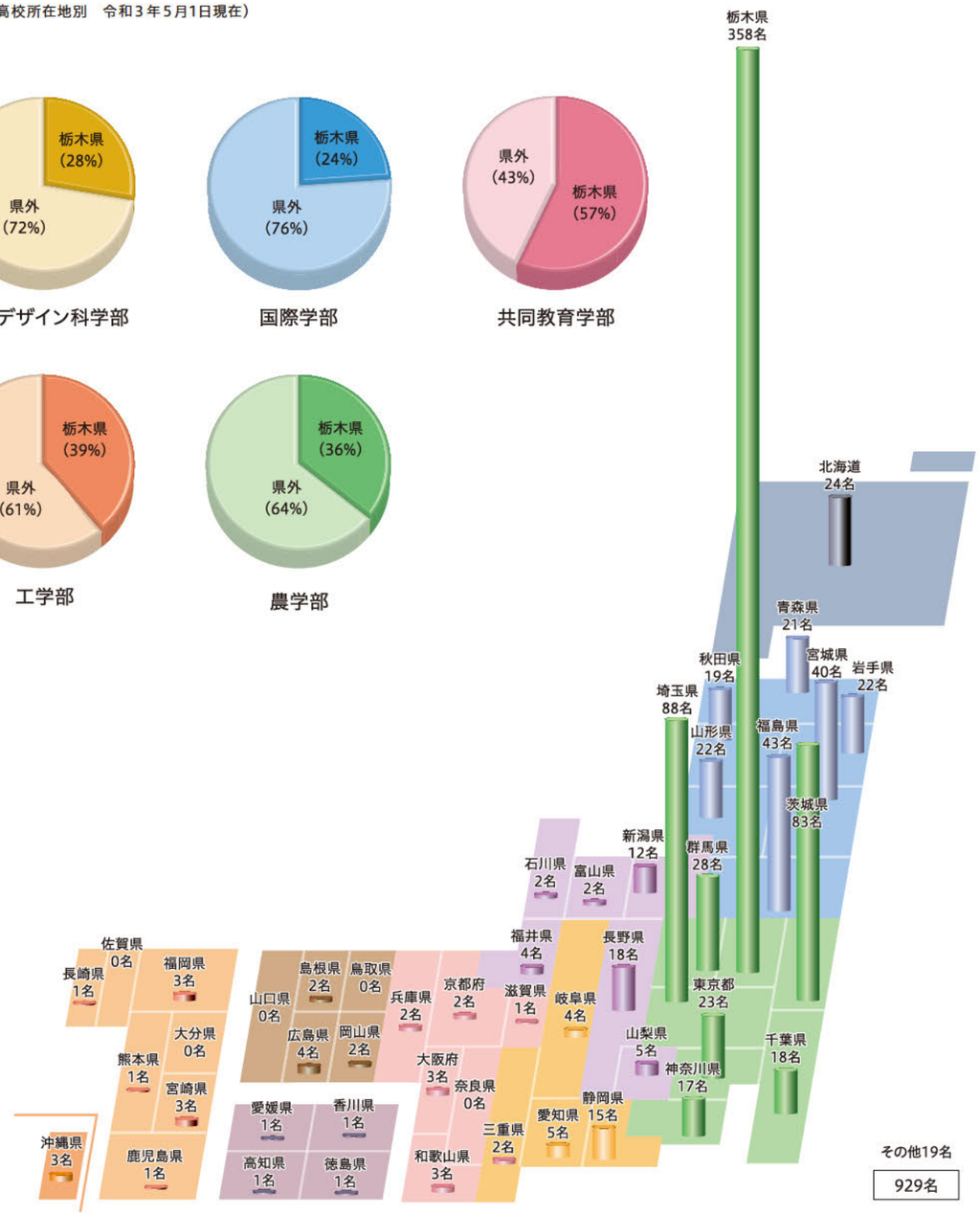
総合型選抜状況（平成31年度～令和3年度）

総合型選抜

学部	選抜区分	学科	令和3（2021）年度				令和2（2020）年度				平成31（2019）年度			
			募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数
地域デザイン科学部	一般選抜	コミュニティデザイン学科	5	17	3.4	5	5	11	2.2	5	5	19	3.8	5
		建築都市デザイン学科	3	18	6.0	4	3	15	5.0	4	6	7	1.2	6
		社会基盤デザイン学科	4	6	1.5	6	4	8	2.0	5	4	12	3.0	5
	専門高校選抜	社会基盤デザイン学科	1	1	1.0	0	1	0	0	0	1	3	3.0	1

令和３年度都道府県別入学者数

（出身高校所在地別　令和３年５月１日現在）



第３年次編入学試験について

本学では、短大や高等専門学校を卒業した方、一部の専門学校を修了した方、大学を卒業・中退した方が３年次に編入できる制度があります。
募集内容・時期が各学部によって異なりますので、募集要項を請求の上ご参照ください。

Academic Fees Scholarships

学費及び奨学金制度

入学料・授業料

宇都宮大学の入学料・授業料は、全学部同額です。

■令和３年度入学生 入学料・授業料

入学料	282,000円（入学時のみ）
授業料	年間 535,800円（半期 267,900 円）

※授業料の振替は、振替ごとに口座振替手数料がかかります。
※詳しくは、本学ホームページをご覧ください。
https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/tuition.php

入学料の免除・授業料の免除

■令和２年度以降の学部入学生については、国による修学支援新制度（非課税世帯とそれに準ずる世帯対象。給付奨学金と学費減免がセットになった制度）による免除が原則となります。特別事情（学資負担者死亡、被災）により大学が実施する免除に申請できる場合もあります。
その他、徴収猶予の制度があります。

■大学院生については、従来どおり大学で免除を実施します。

その他の学修費用

履修する授業により、教科書や実験・実習の教材の購入や、TOEIC 受験料が必要です。教材は、大学生協で購入することができます。
また、学修や課外活動における事故に備えて、学生教育研究災害傷害保険に加入していただきます。

■令和３年度

○TOEIC 受験料（学部１年生） 12,900円
○e-Learning等受講料（1年分） 3,960円
○学生教育研究災害傷害保険・
学生教育研究賠償責任保険（４年間分）
保険料 4,660 円

奨学金制度

■本学独自の奨学金として、地域の方のご寄附などにより支援されるものがあります。

宇都宮大学３C 基金 飯村チャレンジ奨学金	チャレンジ精神と夢にあふれる学生が学業に専念できるよう支援する奨学金です。特にボランティア活動に力を入れている学生を募集しています。月３万円を１年間給付します。
宇都宮大学３C 基金 関スポーツ奨学金	本学の課外活動団体に所属し、積極的にスポーツ活動に参加している者で、スポーツ活動と学業の両立のため、経済的支援が必要と認められる人が対象です。10万円を給付します。
宇都宮大学３C 基金 斎藤裕奨学金	理工系大学院生（日本国籍）を対象に、我が国の科学技術の発展を担う人材の育成を目的として、先導的な研究開発に意欲がある優秀な学生に奨学金を支給するものです。１件あたり年額 200万円を上限に支給します。
宇都宮大学３C 基金 入学応援奨学金	本学への入学を強く希望する高校生を後押しする奨学金です。 世帯収入400万円以下の栃木県内の高校３年生を対象に募集し、内定者を決定します。入学後に30万円を給付します。
宇都宮大学３C 基金 増山奨学金	私費外国人留学生の本学での学修・生活支援や、海外に留学する日本人の大学院生の学修・留学生活を支援します。 また、海外の優れた大学で研究や資料収集する場合は、学部学生も支援対象となります。
宇都宮大学３C 基金 留学奨励金チャレンジ活動支援	●本学が主催する海外派遣プログラム等（語学研修、インターンシップ等）のうち、経費支援のないもの（専門教育研究の一環としての演習、調査・研究、学会発表、研修旅行等を除く） ●学生が自ら計画した海外における活動（ボランティア、インターンシップ、私費留学等）に対し、経費支援（40,000 ～ 80,000円）を行います。
宇都宮大学成績優秀者表彰 （学業奨励奨学金）	向学心に燃え、学業成績、人物共に優れている者に対して、更なる勉学意欲向上に資することを目的に、10万円の奨学金を授与します。

■教育の機会均等を図り、社会に有用な人材を育成するため、人物、学業成績共に優秀でありながら経済的理由により修学困難な学生に対して、本人の願い出により選考の上、奨学金が貸与又は給付される制度があります。

日本学生支援機構奨学金	入学前に出身校で申し込む予約採用と、進学後に申し込む在学採用があります。 貸与型は、第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）があります。 給付型は、修学支援新制度（令和２年度開始）によるものです。
地方公共団体及び公益法人等	応募条件などは奨学金により異なります。

宇都宮大学公式 SNS

宇都宮大学公式 Facebook
https://www.facebook.com/udai.kouhou/

宇都宮大学公式 Twitter
https://twitter.com/uukouhou

宇都宮大学公式 Instagram
https://www.instagram.com/uurealdays/

宇都宮大学公式 Youtube
https://www.youtube.com/channel/UCO0by6oFj2qpF3g8siZ6wzw

アクセス ACCESS

JR宇都宮駅へのアクセス

東京・上野からは

◇JR東北新幹線
東京 ― 宇都宮
約50分

◇JR宇都宮線（快速）
上野 ― 宇都宮
約90分

仙台・山形からは

◇JR東北新幹線
仙台 ― 宇都宮
約80分

◇JR東北・山形新幹線
山形 ― 宇都宮
約120分

横浜からは

◇JR湘南新宿ライン（快速）で
横浜 ― 宇都宮
約140分

※乗り換えにかかる時間は含まれておりません。

JR宇都宮駅からの交通アクセス

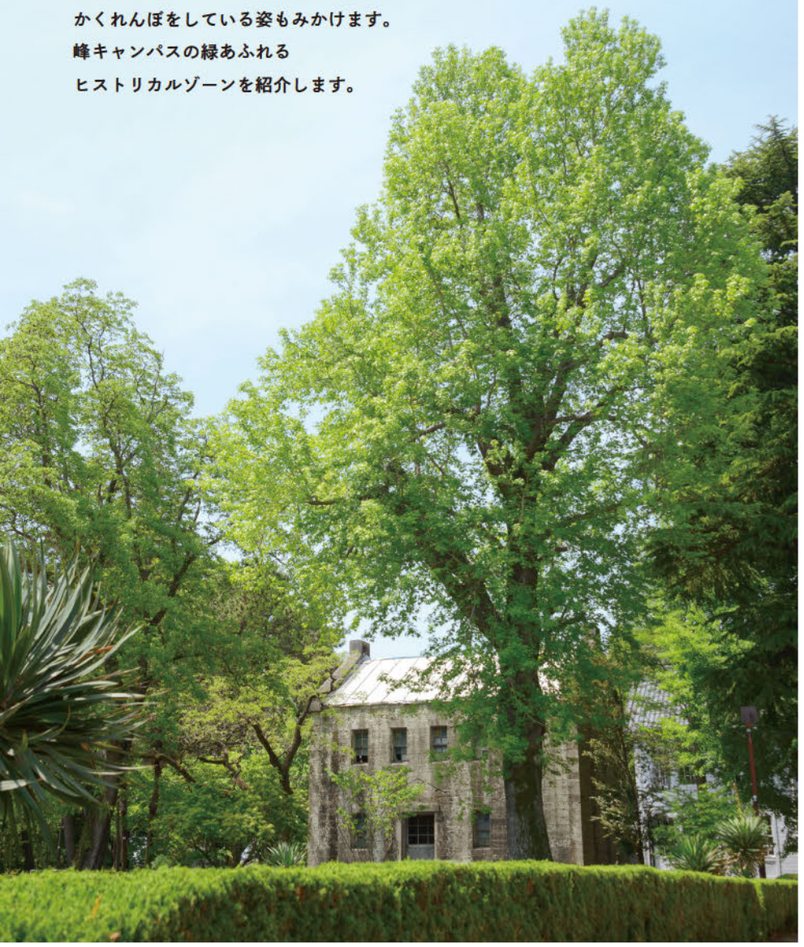
交通アクセス
バス　西口③⑭番乗り場
　　東口③番乗り場

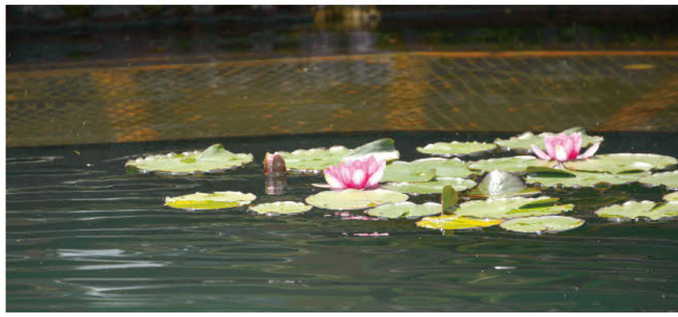
峰キャンパスまで約15分（2.2km）
陽東キャンパスまで約20分（4.2km）

UU.History

樹木と鳥が語る宇都宮大学

カッコウの声を聞きながら、
緑の木陰のベンチでお弁当を食べる昼休み。
100年近くも前に大先輩たちが作った庭園には地域の方も散歩に訪れ、
保育士さんに引率されてきた保育園の子どもたちが、
かくれんぼをしている姿もみかけます。
峰キャンパスの緑あふれる
ヒストリカルゾーンを紹介します。





宇都宮大学の歴史

宇都宮大学の誕生は1949年5月。栃木師範学校・栃木青年師範学校・宇都宮高等農林学校の旧制3校を包括して、学芸学部と農学部をもつ大学として発足しました。1964年には工学部が設置され、1966年には学芸学部が教育学部に改称されました。1994年に国際学部、2016年に地域デザイン科学部が誕生し、5学部と大学院をもつ総合大学となっています。

映画やドラマのロケ地にも

2017年に国の登録記念物（名勝地）として認定されたフランス式庭園は、農学部の前身である宇都宮高等農林学校の開校に際し、教職員が設計し、学生や地域の青年団の方々のご協力により、1926（大正15）年の秋に完成しました。写真Aは庭園の池を掘る作業、写真Bは隣接するイギリス式庭園での創立10周年の記念植樹の様子です。峰ヶ丘講堂は、1924（大正13）年に本学の前身の宇都宮高等農林学校の講堂として建てられました。大小の三角屋根や白い下見板張りの外観と装飾性が高い内部の造作が美しく、2017年に国の登録有形文化財（建造物）として登録され、庭園とともに、映画やドラマなどのロケ地としても多く利用されています。

夏のオープンキャンパスでは、庭園の中で樹木について学ぶ模擬授業も（写真C）行われ、サークル活動では、探鳥会が毎週金曜日の朝、庭園を中心に活動したり（写真D）、音楽系や演劇サークルが峰ヶ丘講堂でライブや公演（写真E）を行うなど、日々の学修や活動でも、大先輩たちが残してくれたエリアを活用しています。峰ヶ丘講堂は、地域の方も許可を得れば利用できるようになっています。

キャンパスの樹木と鳥

歴史があり自然も豊かなキャンパスには、実に多くの種類の樹木があります。正門を入ったメインストリートでは、カツラやイチョウが秋に見事な紅葉を見せてくれますし、庭園エリアや、峰キャンパスを一周する遊々歩道（1.5km）の木々には季節を問わずさまざまな鳥が訪れています。宇都宮大学探鳥会のメンバーが、これまでに確認してきた鳥は、約30種。キャンパスの中で声を聞いたり気配を感じたら、ぜひ鳥の姿を探してみてください。

アオサギ・アオジ・ウグイス・エナガ・オナガ・カケス・カッコウ・カルガモ・カワラヒワ・キジバト・コゲラ・シジュウカラ・シメ・ジョウビタキ・スズメ・セグロセキレイ・ダイサギ・チョウゲンボウ・ツグミ・ツバメ・ドバト・トビ・ハクセキレイ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・ヒバリ・ヒヨドリ・ムクドリ・メジロ・モズ

自分で描く未来に向かって
多様な学び、色々な出会いや経験を経て
自分の道を進んでください

皆さんの前には、無限の未来が広がっています。
未来への夢を抱いて大学の門を叩いた人も、
大学で自分の未来を描こうとしている人も、
自分の夢、自分の未来に向かって進んでください。

未来に向かい、夢を実現するためには、
様々な学びや出会い、社会との繋がりも必要になります。
皆さんが、「文理複眼」という多様な視点や「社会との共創」という概念にふれ、
いろいろな経験を積み、自らの夢、未来への道を進むことができるように、
宇都宮大学は、さまざまな取組みや環境を用意しています。

皆さんは、それらを遠慮なく、自由に活用し、
社会へ羽ばたき、未来に向かって進んでください。
宇都宮大学は、いつも皆さんとともにあり、
皆さんを全力で応援します。

宇都宮大学長
池田 宰

池田 宰　Ikeda Tsukasa
東京都江戸川区生まれ。父親の実家は石川県羽咋市。東京大学工学部工業化学科卒業後、同大大学院修士課程在学中、恩師の異動に伴い、東京工業大学に教務職員として奉職。恩師の研究や学生指導の姿勢に感銘を受け、大学教員としての志を得た。同大生命理工学部助手、広島大学工学部助教授を経て、2002年に宇都宮大学工学部教授に着任。工学部長・工学研究科長、理事・副学長を経て、2021年より学長に就任。研究領域は、人工酵素の構築から微生物コミュニケーションの制御技術の病原性対策や環境浄化への応用といった、化学と生物の融合分野。生物有機化学、超分子化学、生物工学、環境微生物学と、所属先の異動とともに幅を広げていった。趣味は模型、アニメ、鉄道と、こちらも幅広く、特に、年少の頃から乗り続けている自転車は栃木県の環境のよさも手伝って、ストレス解消と体力維持も兼ねて楽しんでいる。趣味の世界を通じても、地域との共創を築いている。

国立大学法人
宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

〒321-8505　栃木県宇都宮市峰町350
Tel:028-649-8649
Fax:028-649-5026
https://www.utsunomiya-u.ac.jp